

千鷲IV遺跡（第2次調査）

—東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書1—

2019.3

岩手県宮古市教育委員会

千鷲IV遺跡（第2次調査）

—東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書 1—



2019.3

岩手県宮古市教育委員会

序 文

東日本大震災後には罹災者のための災害公営住宅の建設、あるいは自己住宅の再建に伴う発掘調査件数が増加しました。今回の調査はそのなかでも最も早い時期に行われた調査の一つです。

千鷲地区は、これまでの調査で縄文時代前期～中期（約六千年～四千年前）の多くの住居跡や土器が出土し、遺跡が濃密に分布する地域として知られていました。今回の調査で最初に見つかったのは、柱穴状の土坑群でした。中世～近世の建物跡と思われます。その次には、重茂地区では初めてのことで、千年ほど前の平安時代の住居跡が出土しました。炉跡や鉄製品を伴っており、鍛冶仕事をした跡かと思われます。その下からは縄文時代の貯蔵穴と思われる大きな土坑群跡が見つかりました。平成8年に同地区での調査で検出した住居跡とセットをなすものと考えられます。縄文時代から近世まで大きな流れをたどることができます。

最後になりましたが、野外での調査、資料の整理にあたり協力を頂きました関係者、各位に感謝申し上げ、これらの成果が広く活用されることを願って序文といたします。

宮古市教育委員会
教育長 伊藤 晃二

例 言

1. 本書は、平成 23 年度に実施した東日本大震災の罹災者の住宅再建に伴う緊急発掘調査事業の報告書である。
2. 調査の主体は宮古市教育委員会である。発掘調査は長谷川、阿部が担当し、本書の執筆、編集は阿部が担当した。
3. 遺構の平面座標は任意の座標である。調査区中央部を x 100、y 100 として設定したものである。
4. 高さは標高値をそのまま使用した。
5. 遺物の表現については下記のとおりとした。

須恵器



6. 写真図版 9 ~ 12 の遺物写真右下に付した番号は、図版番号-遺物番号を示す。
7. 土層観察に際しては、「新版標準土色帖」（1995 年後期版）を参考とした。土壌の固さについては、固、中、軟、密度については、密、中、疎の三段階で示した。
8. 出土した遺物、実測図、写真など調査に関わる資料は、宮古市教育委員会が一括して保管している。

目次

序文
例言
目次

1. 調査経過	1
1-1 調査に至る経過	
1-2 調査要旨	
1-3 調査体制	
2. 遺跡の立地環境	2
2-1 宮古市の立地	
2-2 遺跡の立地と周辺の遺跡	
3. 調査結果	7
3-1 基本層序	7
3-2 検出した遺構と遺物	7
a 小土坑群と掘立柱建物跡	7
b 竪穴住居跡	22
c 土坑跡	29
3-3 遺構外出土遺物	69
4. 調査のまとめ	85
写真図版	87
報告書抄録	101
宮古市埋蔵文化財調査報告書一覧	102

図版目次

第 1 図	位置図	3
第 2 図	地形分類図	4
第 3 図	遺跡周辺の地形	5
第 4 図	平成 8 年度 (1996) と平成 23 年度 (2011) の調査区	6
第 5 図	基本層序	8
第 6 図	小土坑群と焼土遺構	9・10
第 7 図	掘立柱建物跡、焼土遺構	11・12
第 8 図	掘立柱建物跡	13
第 9 図	掘立柱建物跡柱穴断面図	14
第 10 図	小土坑群断面図 (1)	15
第 11 図	小土坑群断面図 (2)	16
第 12 図	1 号、2 号焼土平・断面図	19
第 13 図	3 号～5 号焼土平・断面図	20
第 14 図	小土坑群出土遺物	21
第 15 図	1 号竪穴住居跡、p 110、p 111 土坑跡	23・24
第 16 図	1 号竪穴住居跡、p 110、p 111 土坑跡平・断面図	25
第 17 図	1 号竪穴住居跡カマド、1 号炉跡平・断面図	26
第 18 図	1 号竪穴住居跡、p 110、p 111 土坑跡出土遺物 (土器)	27
第 19 図	1 号竪穴住居跡出土遺物 (鉄製品、土製品)	28
第 20 図	土坑群平面図	31・32
第 21 図	1 号～8 号土坑跡平面図	34
第 22 図	1 号～8 号土坑跡断面図	35
第 23 図	1 号土坑跡出土遺物 (1)	37
第 24 図	1 号土坑跡出土遺物 (2)	38
第 25 図	1 号土坑跡出土遺物 (3)	39
第 26 図	1 号土坑跡出土遺物 (4)	40
第 27 図	1 号土坑跡出土遺物 (5)	41
第 28 図	2 号土坑跡出土遺物 (1)	42
第 29 図	2 号土坑跡出土遺物 (2)	43
第 30 図	2 号土坑跡出土遺物 (3)	44
第 31 図	2 号土坑跡出土遺物 (4)	45
第 32 図	2 号土坑跡出土遺物 (5)	46
第 33 図	3 号～7 号土坑跡出土遺物	47
第 34 図	7 号、8 号土坑跡出土遺物	48
第 35 図	9 号～13 号土坑跡平面図	50

第 36 図	9号～13号土坑跡断面図	51
第 37 図	13号土坑跡出土遺物	51
第 38 図	14号～23号土坑跡平面図	54
第 39 図	14号～23号土坑跡断面図	55
第 40 図	14号～20号土坑跡出土遺物	57
第 41 図	24号～27号土坑跡平面図	59
第 42 図	24号～27号土坑跡断面図	60
第 43 図	24号～27号土坑跡出土遺物	61
第 44 図	28号～35号土坑跡平面図	64
第 45 図	28号～35号土坑跡断面図	65
第 46 図	29号～32号土坑跡出土遺物	67
第 47 図	32号土坑跡出土遺物	68
第 48 図	東包含層の範囲	70
第 49 図	東包含層断面図	71
第 50 図	東包含層出土遺物 A 1 層 土器 (1)	72
第 51 図	東包含層出土遺物 A 1 層 土器 (2)	73
第 52 図	東包含層出土遺物 A 1 層 土器 (3)	74
第 53 図	東包含層出土遺物 A 1 層 土器 (4)	75
第 54 図	東包含層出土遺物 A 1 層 土器 (5)	76
第 55 図	東包含層出土遺物 B 1 層、B 2 層 土器	77
第 56 図	東包含層出土遺物 B 2 層、C 1 層 土器	78
第 57 図	東包含層出土遺物 A 1 層 石器 (1)	80
第 58 図	東包含層出土遺物 A 1 層 石器 (2)	81
第 59 図	東包含層出土遺物 A 1 層 石器 (3)	82
第 60 図	東包含層出土遺物 A 1 層 石器 (4)	83
第 61 図	東包含層出土遺物 A 1 層～C 1 層 石器	84

写真図版目次

写真図版 1	検出状況 (北から) 完掘状況 (北から)	89
写真図版 2	p 92 土坑跡 1号、2号焼土検出状況 1号焼土完掘状況 5号焼土検出状況 1号竪穴住居跡堆積状況	90

写真図版 3	91
1号竪穴住居跡完掘状況 1号竪穴住居跡カマド付近検出状況		
1号竪穴住居跡鉄製品出土状況 1号竪穴住居跡1号炉 p 110 土坑跡		
写真図版 4	92
1号土坑跡 2号土坑跡 4号土坑跡 5号土坑跡		
3号土坑跡 6号土坑跡 7号土坑跡 8号土坑跡		
写真図版 5	93
9号土坑跡 11号→10号土坑跡 11号→10号土坑跡 12号土坑跡		
13号(p 52)土坑跡 14号、15号土坑跡 17号土坑跡 19号土坑跡		
写真図版 6	94
23号土坑跡 20号土坑跡 21号土坑跡 22号土坑跡		
24号土坑跡 25号土坑跡 26号土坑跡 27号土坑跡		
写真図版 7	95
28号土坑跡 30号土坑跡 29号土坑跡 29号土坑跡		
31号土坑跡 32号土坑跡 33号土坑跡 34号土坑跡		
写真図版 8	96
東包含層の範囲 東包含層堆積状況		
写真図版 9	97
出土遺物(銭貨、土師器、土製品、鉄製品)、土器		
写真図版 10	98
出土遺物 土器		
写真図版 11	99
出土遺物 土器		
写真図版 12	100
出土遺物 土器 石器		

1. 調査経過

1-1 調査に至る経過

千鷲IV遺跡発掘調査（第2次調査）は重茂地区千鷲において実施された津波罹災者による個人住宅建築関係の緊急調査である。平成23年3月11日東日本大震災大津波の発災後、市内では津波罹災者より高台移転による住宅再建の動きが高まり、宮古市教育委員会（以下、市教委）では5月より個人住宅建築に伴う埋蔵文化財調査に対応することとなった。同年8月、周知の埋蔵文化財包蔵地である千鷲IV遺跡内において罹災した個人による住宅再建の計画を知ることとなった市教委文化課は、現地確認により試掘調査を実施する必要があると判断し、双方協議した結果、9月に試掘調査を実施することとなった。試掘調査の結果、竪穴住居跡などの遺構を確認したことから発掘調査が必要となり、翌10月から着手に至った。発掘調査は11月28日をもって終了した。

市教委には平成23年9月1日付けで原因者より、文化財保護法第93条第1項の規定による埋蔵文化財発掘届出書が提出され、市教委は9月6日付けで岩手県教育委員会に進達している。これに対し、岩手県教育委員会からは工事着手前に試掘調査が必要とする旨の通知があり、市教委はこれを原因者へ伝達している。なお、市教委は平成23年10月3日付けで文化財保護法第99条第1項の規定により埋蔵文化財発掘調査の実施を報告している。

1-2 調査要旨

遺跡名 千鷲IV遺跡 遺跡コードLG75-0248
調査地点 宮古市字重茂第12地割40番地他
調査面積 508㎡（調査対象面積 1000㎡）
調査期間 試掘調査 平成23年9月7日～9月16日
本調査 平成23年10月3日～11月28日
資料整理 平成24年1月5日～3月29日
平成29年4月11日～平成30年3月29日
平成30年4月9日～平成30年11月30日
検出遺構・遺物 掘立柱建物跡（中世以降）、竪穴住居跡 1棟（平安時代）、大形土坑跡 32基（縄文時代中期末～後期）
銭貨（中世）、土師器、羽口、鉄製品、縄文土器、石器

1-3 調査体制

調査主体 宮古市教育委員会 教育長 佐々木 敏夫（平成23年度から平成25年7月）
伊藤 晃二（平成25年8月～）

調査総括 高橋 憲太郎 文化課 文化課長（平成27年度～）
事務担当 鎌田 祐二 “ 文化課副主幹（平成27年度～）
調査員 布谷 義彦 文化課 主査
安原 誠 “ 主任文化財調査員
長谷川 真 “ 主任文化財調査員（調査担当）
江口 邦泰 “ 主任調査員
阿部 豊 “ 埋蔵文化財発掘調査員（調査・報告書担当）
鹿島 直樹 “ 埋蔵文化財発掘調査員
赤沼 みちる “ 埋蔵文化財調査員

調査の実施にあたり次の各位から多大の協力を頂きました。記して感謝申し上げます。（敬称略）

<野外調査>

伊藤 勝夫、木村 洋一、木村 常男、佐々木 亨、佐々木 富幸、田中 俊光、鳥居 義文、小松 義一、在原 正利、三田地 健、前川 和幸、宝代地 宏二、村木 幹子、山崎 日日雄、山崎 英男

<資料整理>

木村 洋一、佐々木 亨、小成 鷹介、中村 明子、村木 幹子、佐々木 厚子、崎尾 由美子、鳴海 美雪、島山 憲子、松本 理恵

2. 遺跡の立地環境

2-1 宮古市の立地

宮古市は三陸海岸のほぼ中央に位置する。本州の最東端にあたる重茂半島は北東に向って太平洋に突出し、その西側に宮古湾が形成される。宮古湾には東から閉伊川、南から津軽石川が流入する。市の大部分は丘陵と山地で占められ、平地は両河川の流域と湾岸に形成され、市街地はその平坦地に築かれている。

宮古市は平成 17 年に北の田老町、西の新里村合併、さらに平成 22 年には内陸部の川井村と合併し、海岸線は北に延び、山地は西に大きく広がった。合併以前は、遺跡の調査はもっぱら河川流域の丘陵、湾岸で行われてきたが、広く西側の山地まで含まれることになる。

2-2 遺跡の立地環境

重茂半島は、その大部分が十二神山山地（標高 731 m）の山塊で占められ、周辺部に形成された丘陵地（鮎ヶ崎丘陵）は断崖をなす海岸線が囲まれる。十二神山山地の尾根は半島先端に延びて、半島を二分する。遺跡の大半が宮古湾岸、鮎ヶ崎丘陵の扇状地、緩斜面に位置する。

半島に分布する遺跡は四区域に大別される。

第一区は、半島西側の宮古湾に面した小堀内、赤前地区である。奈良、平安時代の住居跡、製鉄遺構などが出土している。

第二区は、半島先端部である堺ノ神、大程地区である。調査例は少ないが、縄文時代中期の土坑跡、前期、早期の土器、中世の銭貨などが出土している。

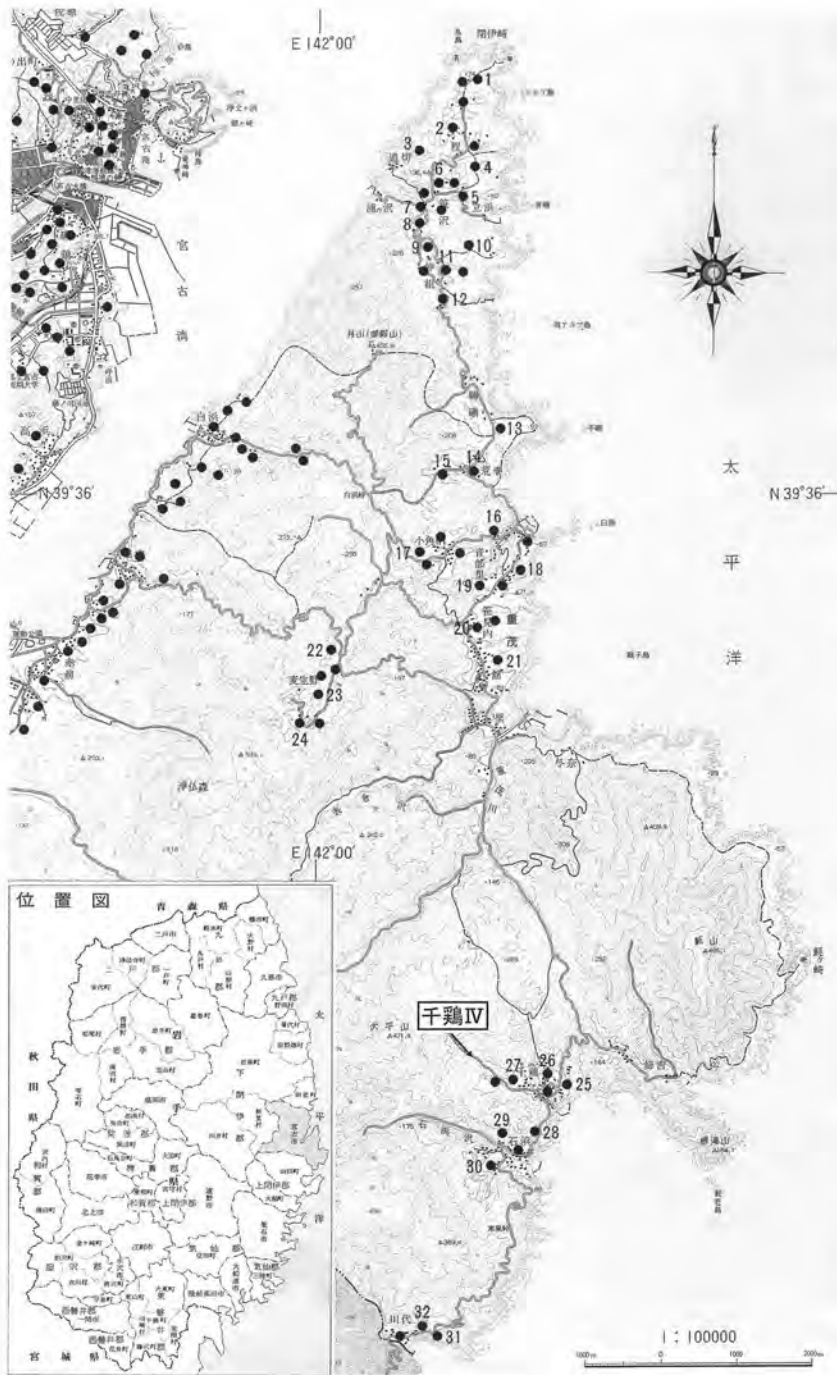
第三区は、半島中央部の麦生野、館地区である。重茂遺跡群など大規模な遺跡が存在する。遺跡の主体は縄文時代であるが、震災後の調査で古代の住居跡などの報告例がある。

第四区は今回の調査区にあたる千鶏、川代地区である。十二神山山地が東に張出し、本州最東端の地を形成している。その南側の付け根の小湾が千鶏漁港である。

今回の調査区について（第 4 図）

千鶏地区ではこれまでの湾岸、丘陵での調査で縄文時代前期、中期の遺構、遺物が確認され、濃密な遺跡包蔵地であることが知られていた。千鶏Ⅳ遺跡は漁港を見下ろす山麓に位置する。

平成 8 年の調査区は東西に長く、ほぼ真ん中を沢筋で二分されている。西は山麓の平坦地で、東は山地の傾斜が続いている。西側では弥生、縄文時代の住居跡が重複し、東側では遺物包含層のみ検出という結果であった。今回の調査区は東側の調査区、平成 8 年の報告書で A 区とした調査区の北側である。

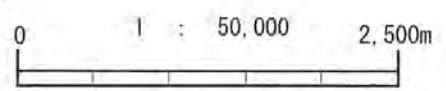


番号	遺構コード	遺跡名称
1	LG25 - 2211	大浜 I
2	LG25 - 2187	大程 I
3	LG35 - 0113	追切
4	LG35 - 0230	大程 III
5	LG35 - 0179	立浜
6	LG35 - 0155	笹沢 III
7	LG35 - 0184	笹沢 I
8	LG35 - 1123	加村
9	LG35 - 1144	赤なしが沢
10	LG35 - 1240	仲組 I
11	LG35 - 1177	仲組 III
12	LG35 - 2117	堺ノ神
13	LG45 - 0247	鶴磯
14	LG45 - 1222	荒巻 I
15	LG45 - 1137	荒巻 II
16	LG45 - 2225	音部大下
17	LG45 - 2154	小角柄 IV
18	LG45 - 2268	音部谷地頭 II
19	LG45 - 2294	音部追磯
20	LG55 - 0242	笹見内 I
21	LG55 - 0284	重茂館遺跡群
22	LG55 - 0083	麦生野 I
23	LG55 - 1052	麦生野 IV
24	LG54 - 1379	麦生野 VI
25	LG75 - 0354	千鷲 I
26	LG75 - 0332	千鷲 III
27	LG75 - 0248	千鷲 IV
28	LG75 - 1311	千鷲 VI川向
29	LG75 - 1227	石浜 II
30	LG75 - 1264	石浜 III
31	LG85 - 0188	川代 I
32	LG85 - 0176	川代 II

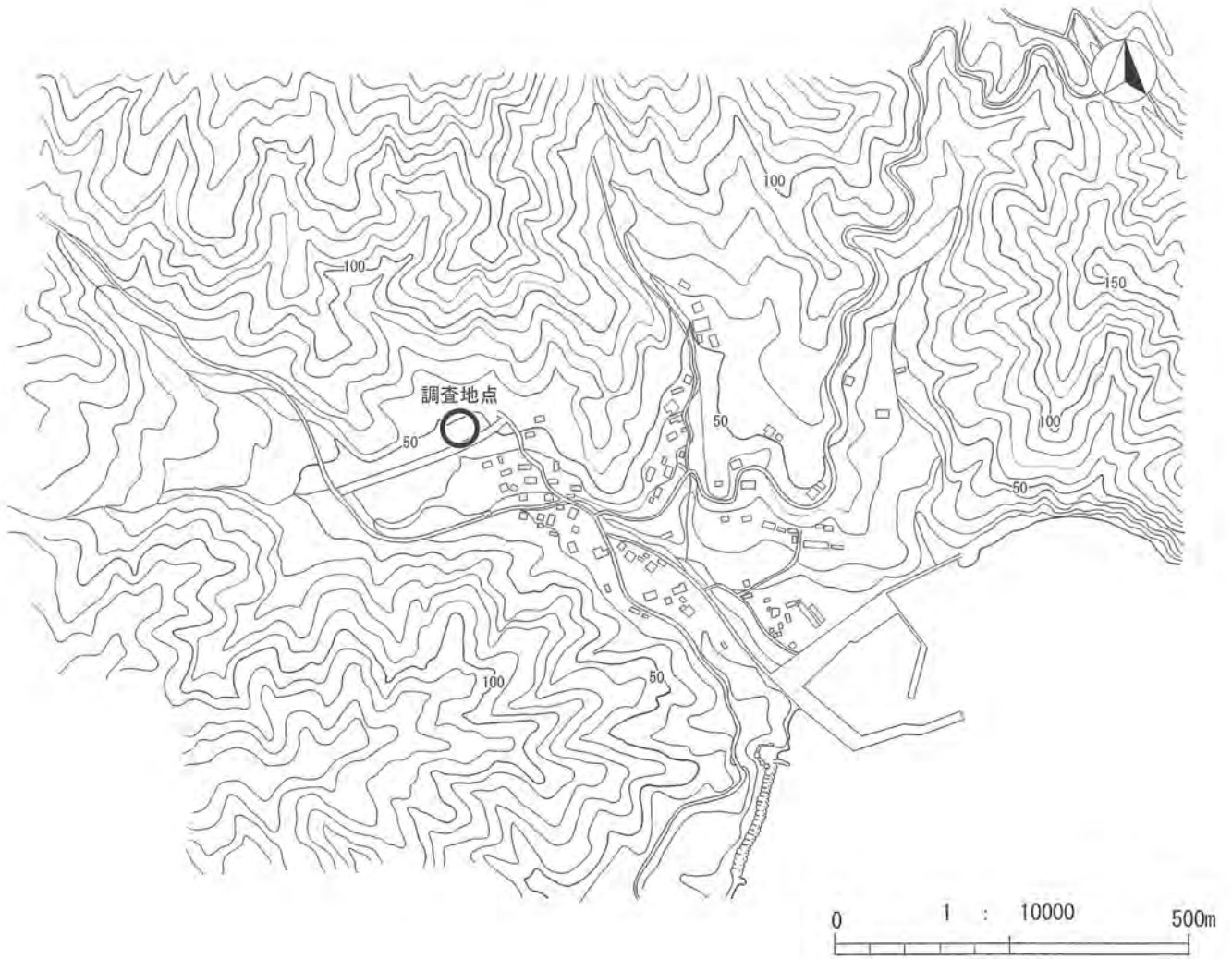
第1図 位置図



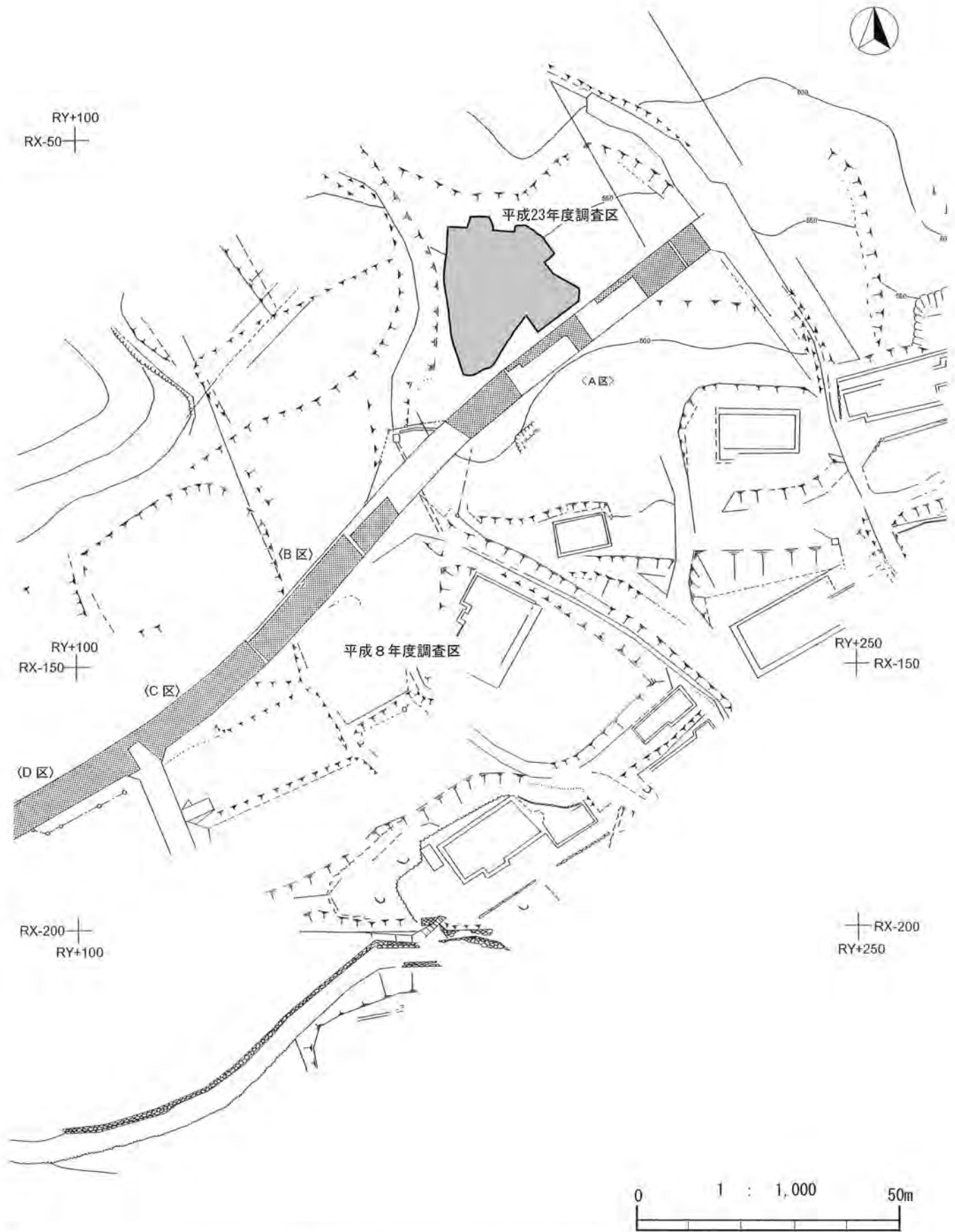
- | | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------|----------------|
| M_I 大起伏山地 | H_I 丘陵地 I | G_{III} 砂礫段丘 III | P 谷底平野及び
氾濫平野 | C 人工改変地 |
| M_m 中起伏山地 | H_{II} 丘陵地 II | R_I 岩石段丘 | CP 海底平野及び
三角洲 | 崖 |
| M_s 小起伏山地 | G_I 砂礫段丘 I | F 扇状地 | SP
Dr 浜及び河原 | |
| P_d 山麓及び他の
斜面地 | G_{II} 砂礫段丘 II | F_I 崖錐性扇状地 | R_b 磯 | |



第2図 地形分類図



第3図 遺跡周辺の地形



第4図 平成8年度（1996）と平成23年度（2011）の調査区

3. 調査の結果

3-1 基本層序 (第5図)

基本層序は2層に分かれる。

- I層 調査区全域に堆積する軟質の褐色土である。
- II層 調査区西側に堆積する軟質の暗褐色土である。

3-2 検出した遺構、遺物

a 小土坑群と焼土遺構

小土坑群と掘立柱建物跡 (第6～11図)

調査区の中央部、やや傾斜が緩くなった辺りに集中する。形状は、細長い柱穴状のものと広く浅く掘りくぼめたものに分かれるが、大半が柱穴状の土坑跡である。

土坑の規模、配置から3棟の建物跡を想定した(第8図)。

- 1号掘立柱建物跡 2間×1間 (2.3 m + 2.3 m × 1.2 m)
- 2号掘立柱建物跡 1間×1間 (2.1 m × 2.0 m)
- 3号掘立柱建物跡 2間×2間 (1.5 m + 4.2 m × 1.7 m + 1.5 m)

建物跡に伴う削平面、溝跡などは検出していない。

焼土遺構

焼土遺構は4カ所で検出している。

1号焼土 (第12図)

土坑群の中央、やや南側に位置する。不整長方形に掘り込み、北側に石を据えている。石の表面と周辺部が焼けているので焼土遺構とした。規模は南北1.3 m、幅50 cm、深さ25 cmを測る。3層に大別され、A1層は固い粘土層である。C1層には多量の炭が含まれていた。

遺物は出土していない。

2号焼土 (第12図)

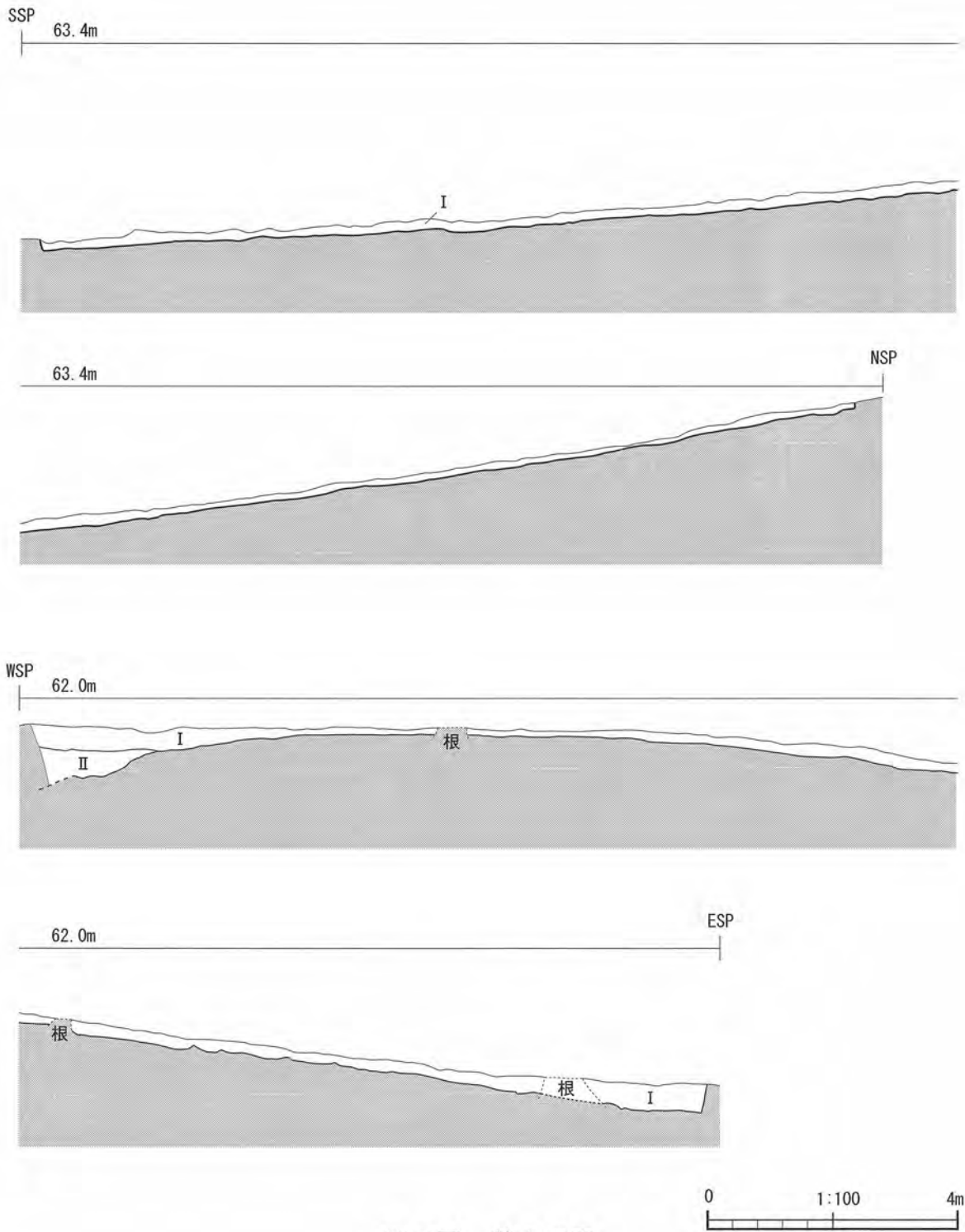
2号焼土の北側に位置する。平面形は円形を呈し、規模は径25 cmである。2層に分層され、k1層があまり焼き締まっていない焼土層である。掘りくぼめた小土坑の最上層であるが、炉跡とは断定し難い。遺物は出土していない。

3号焼土 (第13図)

調査区南西部に位置する。平面形は楕円形、規模は40 cm × 30 cmである。単層で焼土層k1は薄く、あまり焼き締まっていない。遺物は出土していない。

4号焼土 (第13図)

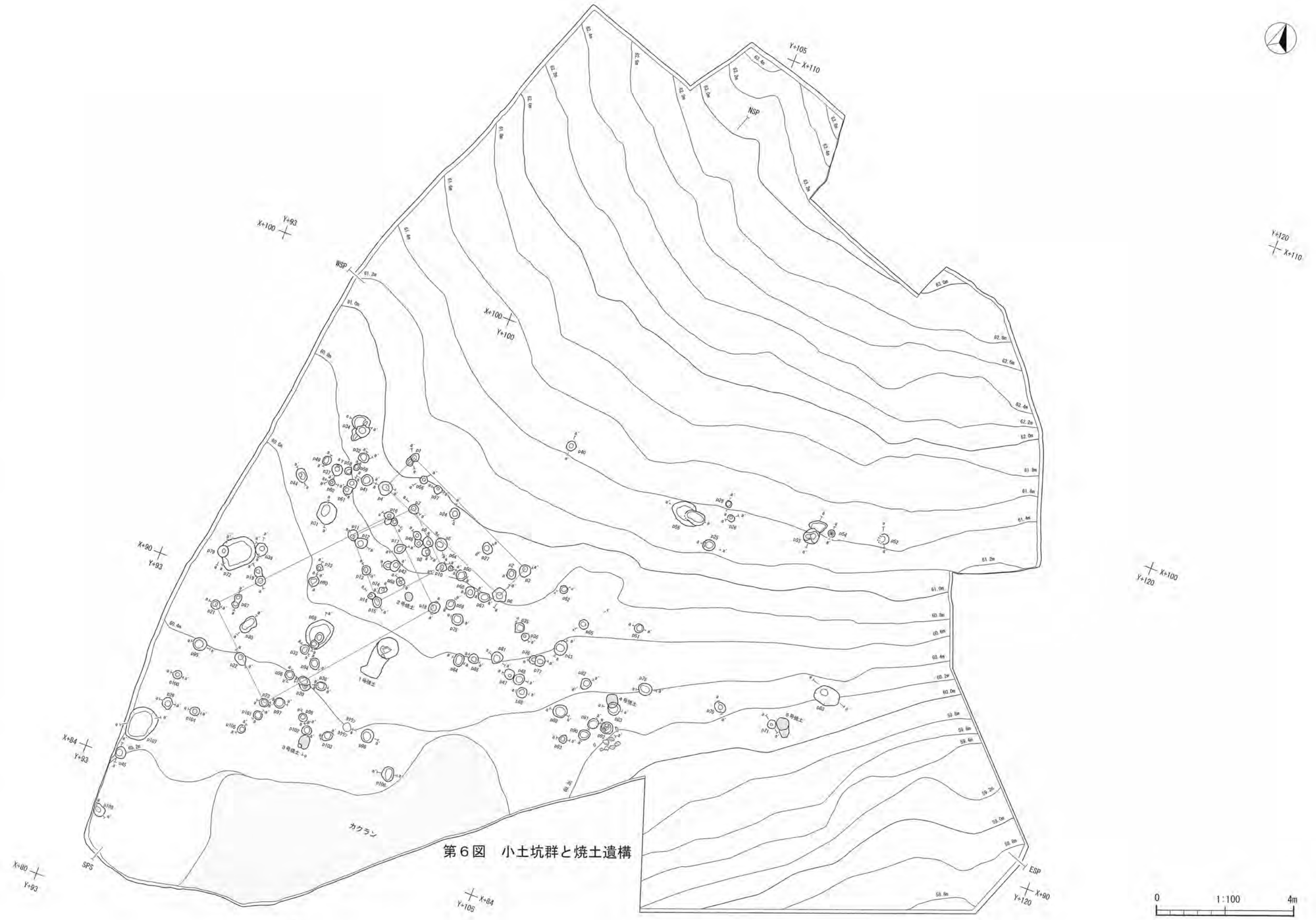
調査区南側の中央に位置する。平面形は不整楕円形、規模は40 cm × 30 cmである。単層で焼土層k1は薄く、あまり焼き締まってはいない。遺物は出土していない。



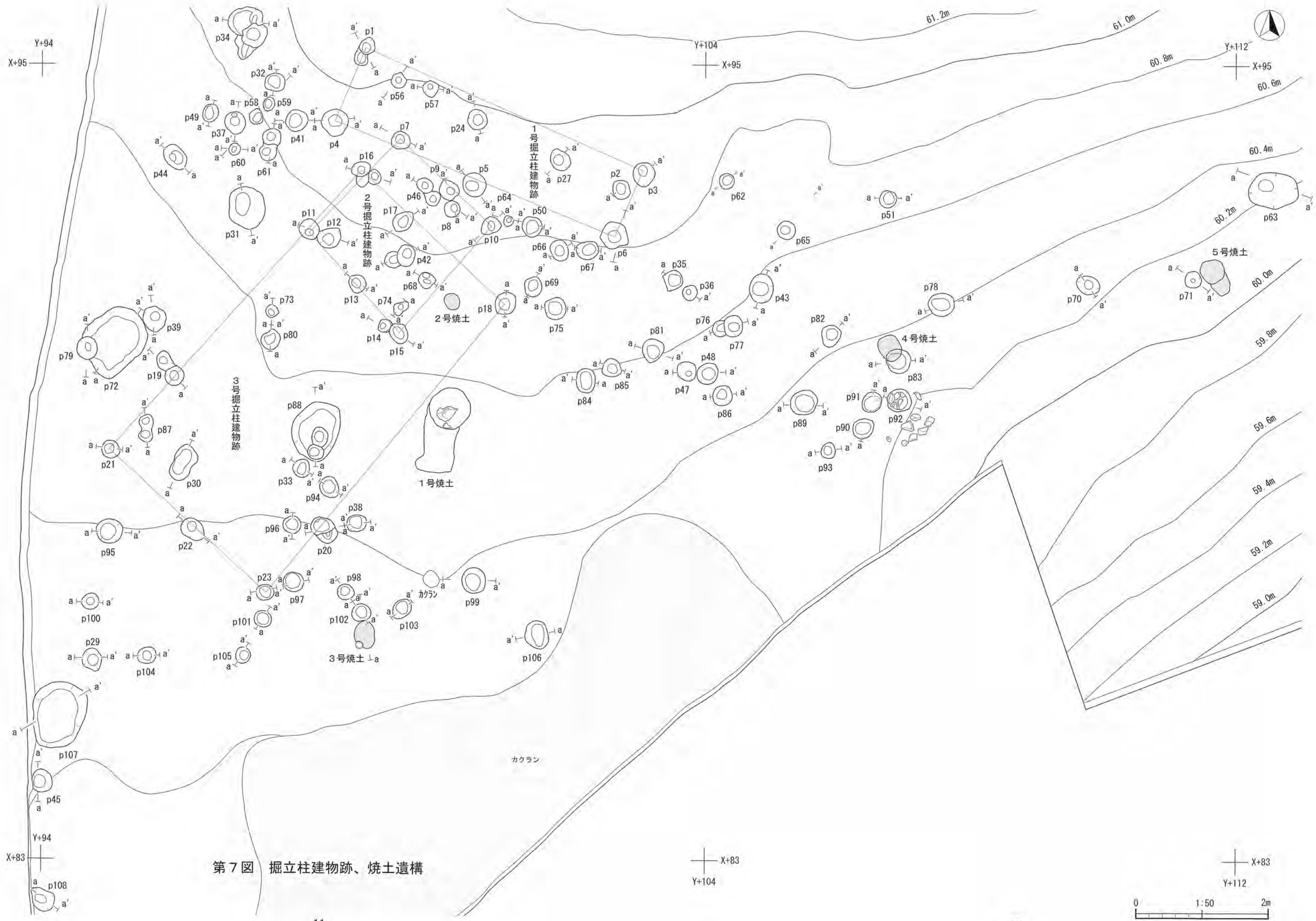
第5図 基本層序

基本層序

層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
I	10YR4/4 砂壤土 粘なし	10YR4/6 砂壤土 塊 1%	中～軟	中	塊	
II	10YR3/4 砂壤土 粘なし	10YR4/4 砂壤土 塊 2%	中～軟	中	塊	



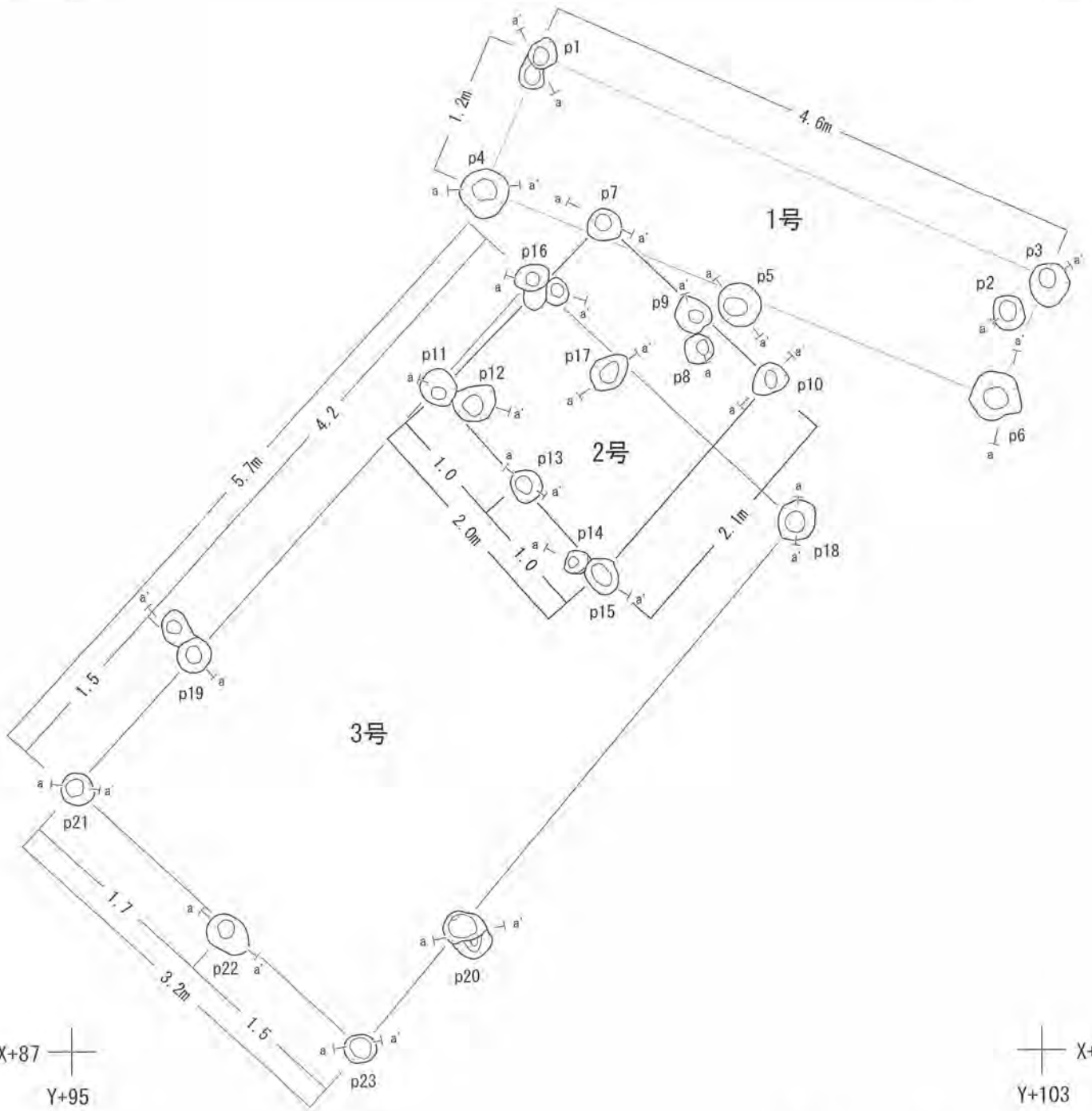
第6図 小土坑群と焼土遺構



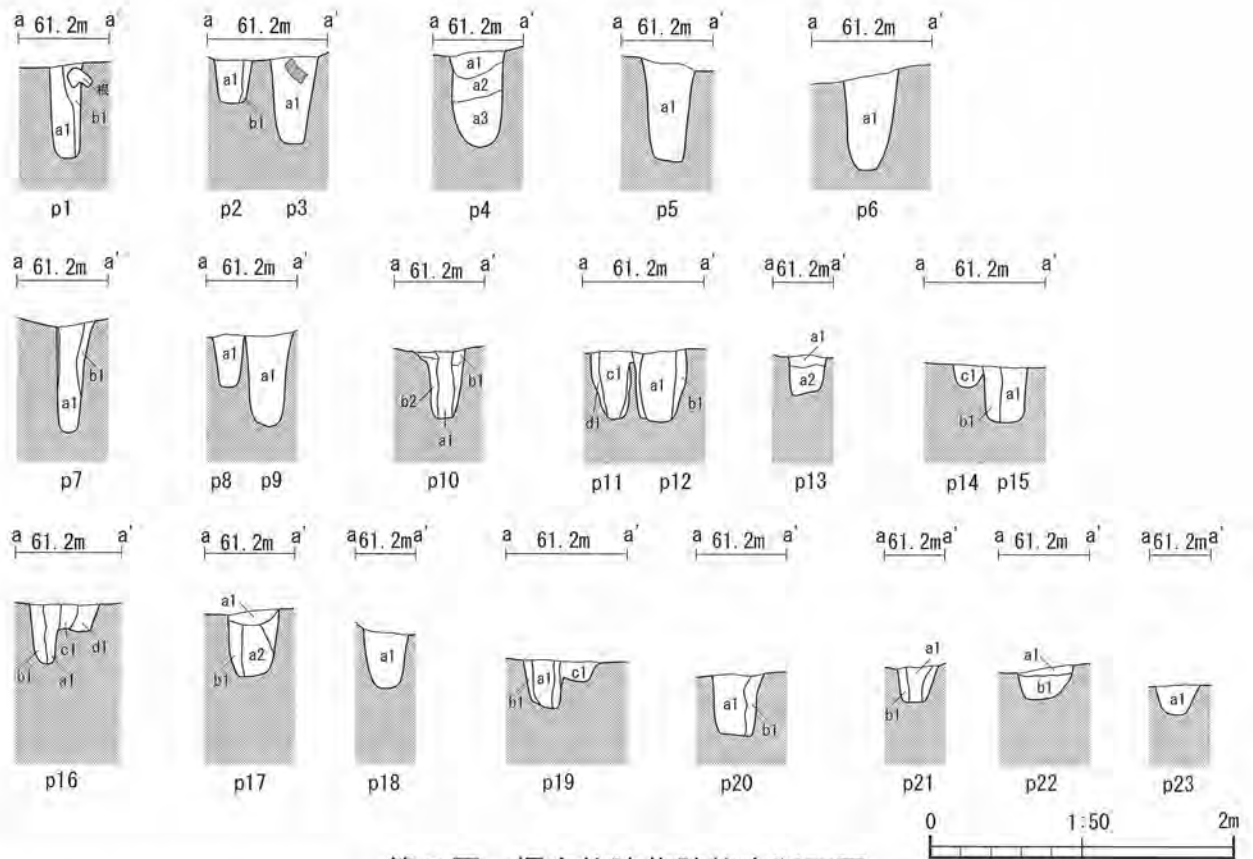
第7図 掘立柱建物跡、烧土遺構

Y+95
X+96

Y+103
X+96



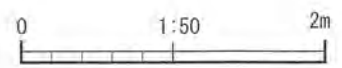
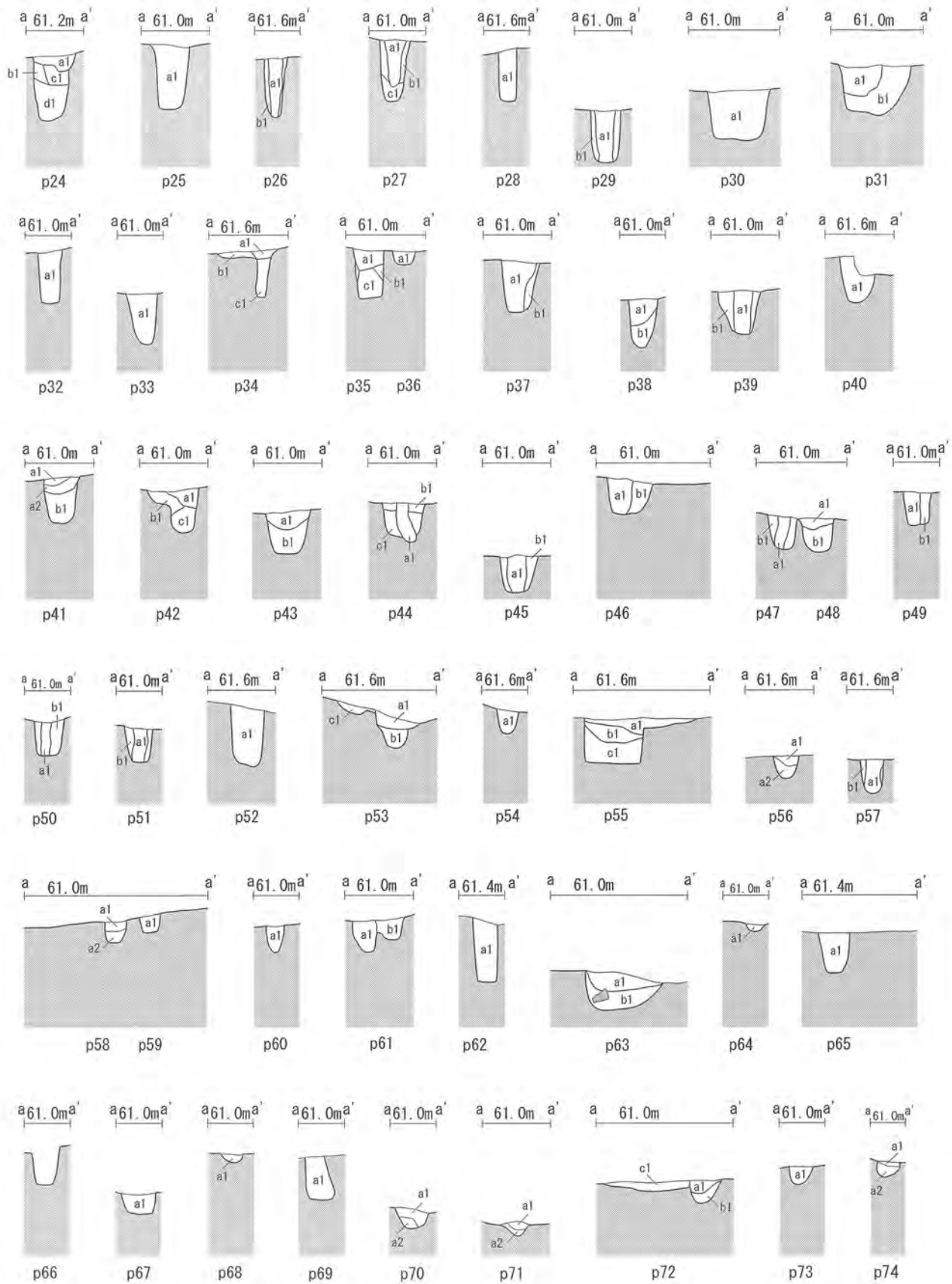
第8图 掘立柱建物跡



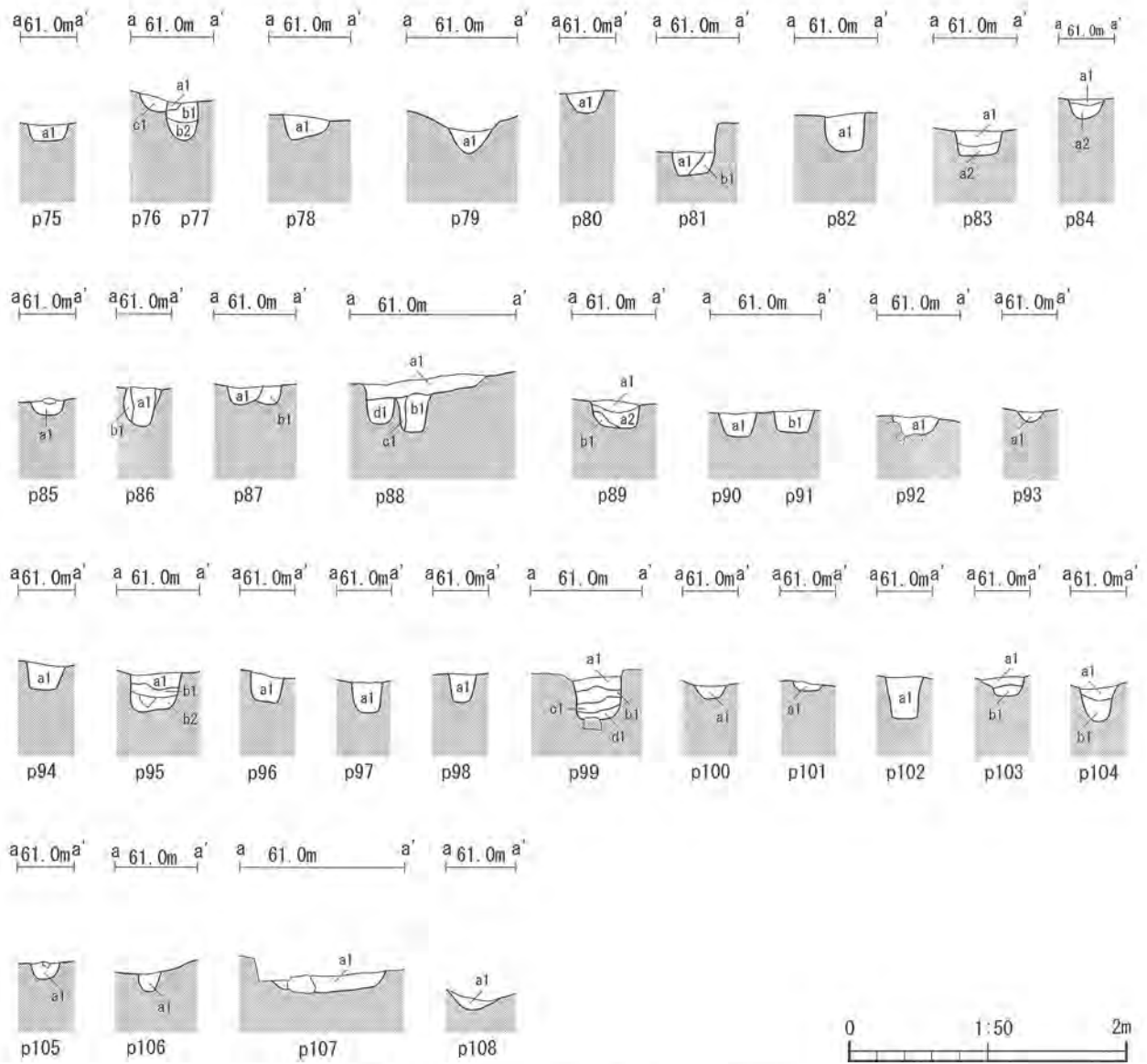
第9図 掘立柱建物跡柱穴断面図

掘立柱建物跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など	
p1	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		
p2	a1	10YR4/3 砂壤土	10YR2/3 砂壤土 塊 2%	固	中	塊	
	b1	10YR5/4 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 3%	固	中	塊	
p3	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 10%	中~固	中	塊	
p4	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	a2	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 30%塊状	ややあり	ややあり		
	a3	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
p5	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	炭少
p6	a1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 5%	中	中	塊	
p7	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
p8	a1	10YR3/3 砂壤土	10YR2/3 砂壤土 塊 10%	中~固	中	塊	
p9	a1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 2%	中~軟	中~疎	塊	
p10	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
	b2	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 30%塊状	ややあり	ややあり		
p11, 12	a1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
	c1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 30%塊状	ややあり	ややあり		
p13	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		注記なし
	a2	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
p14	c1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中	中~密	塊	
p15	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR5/6 真砂土 15%	中~軟	中	塊	
	b1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 2%	中	中	塊	
p16	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		柱痕跡
	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	c1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
	d1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		
p17	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
	a2	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		柱痕跡
p18	b1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 5%	中~固	中	塊	
p19	a1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
	c1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
p20	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		
p21	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/2 灰黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
p22	a1	10YR4/2 灰黄褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色砂壤土 5%塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/3 にぶい黄褐色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		
p23	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中~固	中	塊	



第10图 小土坑群断面图 (1)



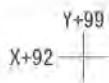
第11図 小土坑群断面図(2)

小土坑群 土層注記表

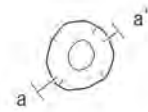
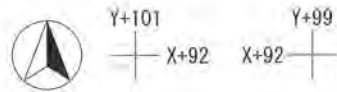
層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
p24	a1 10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1 10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		やや明るい
	c1 10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 1% 塊状	ややあり	ややあり		最も黒色を呈する
p25	a1 10YR4/4 褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p26	a1 10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 5%	中	中～密	塊	
	a1 10YR3/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中	中～密	塊	
p27	a1 10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 3%	中～固	中	塊	
	b1 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		柱痕跡か?
	c1 10YR4/4 褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		やや明るい土色
p28	a1 10YR2/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 3%	中	中～固	塊	
p29	a1 10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1 10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 1% 塊状	ややあり	ややあり		
p30	a1 10YR2/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 3%	中	中	塊	
p31	a1 10YR3/4 砂壤土	10YR2/3 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	b1 10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
p32	a1 10YR2/3 砂壤土	10YR4/2 砂壤土 塊 5%	中	中～軟	塊	
p33	a1 10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	
p34	a1 10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	b1 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	c1 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p35	a1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	b1 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR5/6 明黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	c1 10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p36	a1 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質

層名		基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
p37	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 1%	中～軟	中～疎	塊	
	b1	10YR5/6 砂壤土 粘性あり	10YR3/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
p38	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p39	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p40	a1	10YR4/4 砂土	10YR3/2 砂壤土 塊 10%	中～軟	疎	塊	
p41	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	a2	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p42	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	c1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p43	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p44	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	c1	10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p45	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 1% 塊状	ややあり	ややあり		
p46	a1	10YR4/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	
p47	b1	10YR5/4 真砂土	10YR2/3 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		炭化物少量、柱痕跡
p48	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 3%	中～固	中	塊	
p49	b1	10YR4/6 砂壤土 やや粘	10YR5/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中～密	塊	
	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p50	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p51	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR2/2 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 15%	中～軟	中～疎	塊	炭少
p53	a1	10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 3%	軟	疎	塊	
	b1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 3%	中～固	中～密	塊	
	c1	10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 1%	中～固	中～密	塊	
p54	a1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中～密	塊	
	a1	10YR3/3 砂壤土	10YR2/2 砂壤土 塊 2%	中～軟	疎	塊	
p55	b1	10YR5/4 砂壤土	10YR6/4 真砂土 5%	中～軟	中～疎	塊	
	c1	10YR4/6 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p56	b1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p57	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p58	a2	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p59	a1	10YR8/4 浅黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p60	a1	10YR8/4 浅黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p61	a1	10YR8/4 浅黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p62	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 10%	中～軟	中	塊	土器、土師
	a1	10YR2/3 砂壤土 粘なし	10YR4/3 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	縄文
p63	a2	10YR3/3 砂壤土 明	10YR4/3 砂壤土 塊 1%	中～固	中	塊	縄文
	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p64	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 3%	中～固	中	塊	
	b1	10YR4/4 砂土	10YR3/4 砂壤土 層状 15%	中	中～軟	層状	
p66							エレベーションのみ
p67	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
p68	a1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p69	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	a1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p70	b1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	7.5YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		雄土塊少量
p71	b1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
p72	b1	10YR4/3 砂壤土 やや粘 砂質	10YR3/4 砂壤土 塊 2%	中	中～密	塊	炭少
	c1	10YR2/2 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 10%	中～軟	中	塊	
	a1	10YR5/4 浅黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p74	a1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	a2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		炭化物少量
p75	a1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p76	c1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	a1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p77	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	b2	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p78	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		炭化物少量含まれる
p79	a1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p80	a1	10YR8/4 浅黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
p81	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		

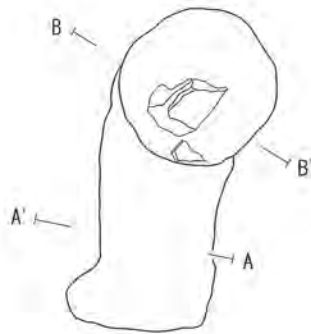
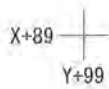
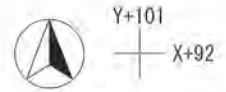
層名		基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
p82	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中～密	塊	
p83	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	a2	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p84	a1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	a2	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p85	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
p86	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		炭化物少量、柱痕跡
	b1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p87	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	b1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p88	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		柱痕跡
	c1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	d1						注記なし
p89	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	a2	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
p90, 91	a1	10YR2/2 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
	b1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
p92	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 10% 10YR4/4 砂壤土 塊 3%	中～固	中	塊	鉄貨
p93	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
p94	a1	10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	
p95	a1	10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR5/6 黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	b2	10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p96	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中～密	塊	
p97	a1	10YR2/3 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
p98	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 1%	中	中	塊	
p99	a1	10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR2/2 黒褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	c1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	d1	10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		炭化物少量
p100	a1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 1% 塊状	ややあり	ややあり		
p101	a1	10YR4/2 灰黄褐色砂壤土	10YR3/2 黒褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
p102	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/5 砂壤土 塊 2% 10YR4/4 砂壤土 塊 2%	中	中	塊	縄文
p103	a1	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p104	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	b1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
p105	a1	10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
p106	a1	10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		黒色を呈する
p107	a1	10YR2/2 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 15%	中	中～疎	塊	
p108	a1	10YR4/4 褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色 20% 塊状	ややあり	ややあり		



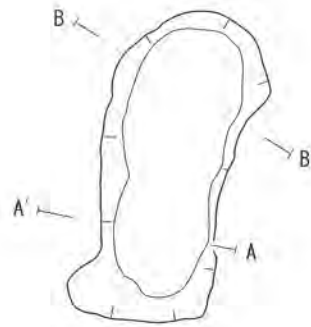
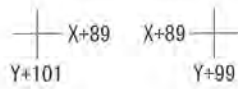
2号焼土



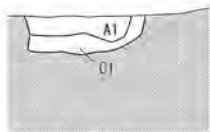
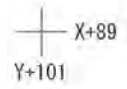
2号焼土



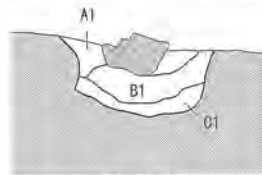
1号焼土



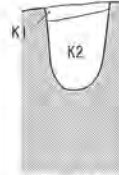
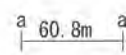
1号焼土



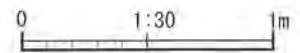
1号焼土



1号焼土



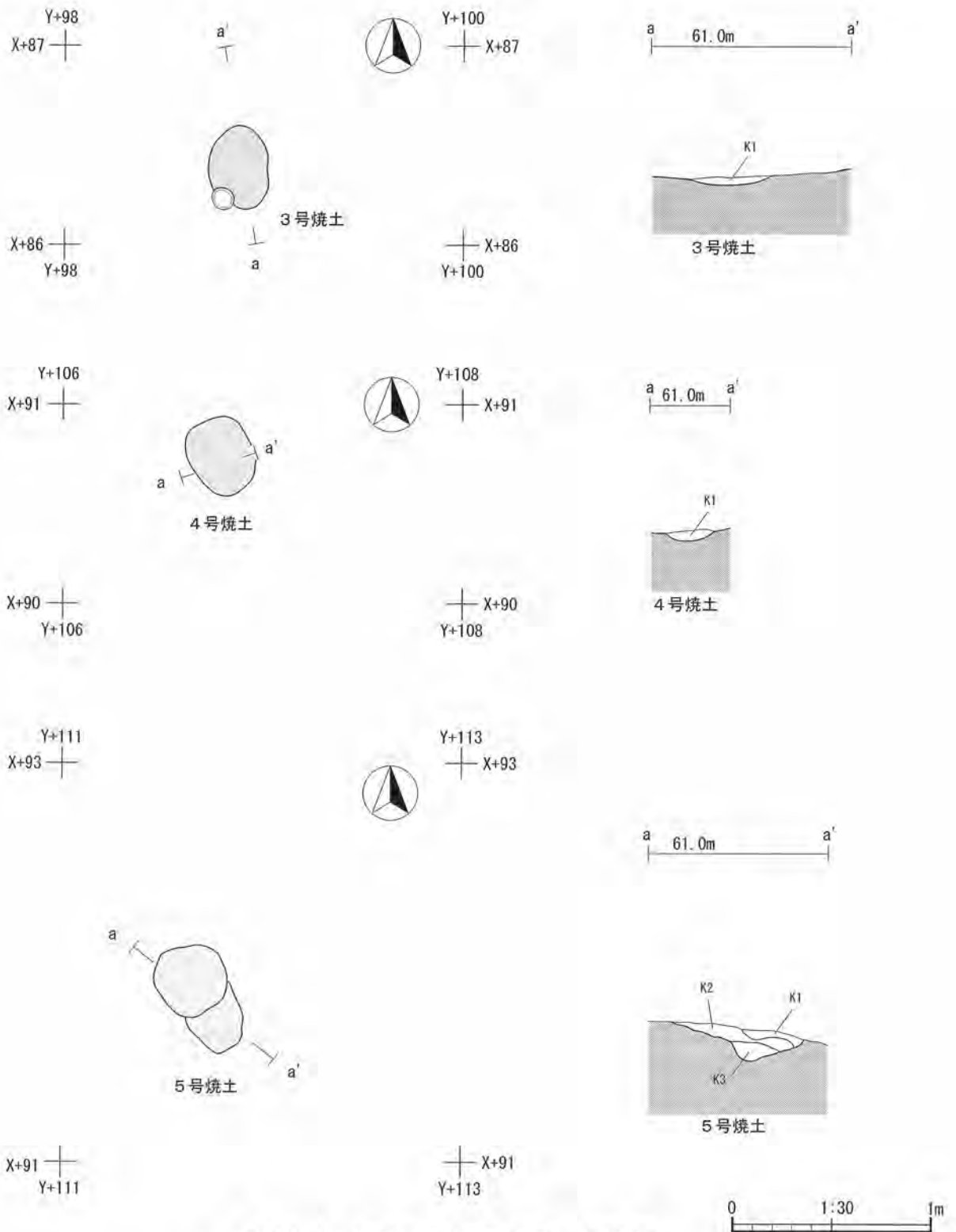
2号焼土



第12図 1号、2号焼土平・断面図

1号、2号焼土 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
1号焼土	A1	7.5YR5/8 粘土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	固	密	塊
	B1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中~固	中~密	塊
	C1	10YR2/2 砂質 粘あり	10YR5/8 粘土 2%	中~軟	中	塊 炭多
2号焼土	K1	7.5YR4/4 褐色砂壤土	7.5YR3/2 黒褐色砂壤土 30% 塊状	ややあり	ややあり	
	K2	10YR2/3 黒褐色砂壤土	10YR3/3 暗褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり	



3号～5号焼土 土層注記表

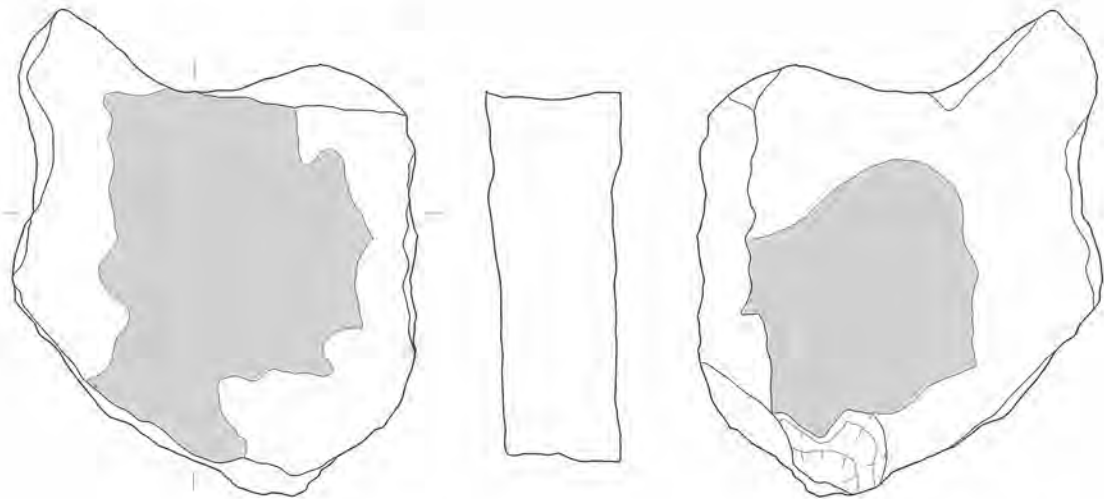
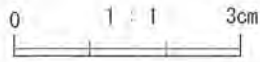
層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
3号焼土	K1 7.5YR5/6 橙色砂壤土	7.5YR6/6 橙色砂壤土 10%塊状	ややあり	ややあり		焼土層、焼土は薄い
4号焼土	K1 7.5YR3/4 暗褐色砂壤土	7.5YR4/6 褐色砂壤土 20%塊状	ややあり	ややあり		焼土層
5号焼土	K1 7.5YR3/4 砂壤土	10YR2/3 砂壤土 塊 5% 10YR4/6 粘土 2% 5YR4/6 砂壤土 塊 1%	中	中～疎	塊	粘土塊少
	K2 5YR4/6 砂壤土	7.5YR4/6 砂壤土 塊 3%	中～固	中	塊	
	K3 7.5YR4/3 砂壤土	5YR4/6 砂壤土 塊 2%	軟	疎	塊	



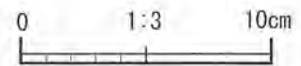
1 (p92)

2 (p99)

3 (p63)



4 (p3)



第14図 小土坑群出土遺物

5号焼土 (第13図)

調査区東側、南寄りの斜面に位置する。平面形は楕円形である。規模は60 cm×30 cmを測る。3層に分層され、k 1層は粘土塊を含むやや軟質の焼土層である。遺物は出土していない。

小土坑群の出土遺物 (第14図)

小土坑群からは銭貨と土器片が出土している。

1はp 92から出土した銭貨である。銭銘は不明瞭であるが、「皇宋通宝」(宋 初鑄1039年)と思われる。2、3はp 99、63から出土した縄文土器である。2は隆沈線で施文され、3は磨消縄文を伴う。4はp3から出土した鉄床石である。表、裏面に炭化物が付着する。

小土坑群は、配置、規模、遺物などから大半が中世～近世に伴うものと思われる。

b 1号竪穴住居跡（第15、16図）

調査区中央から竪穴住居跡が1棟出土している。平面形は隅丸方形である。規模は南北3.0 m、東西3.2 mを測り、ほぼ正方形を呈す。埋土は2層に分かれる軟質の暗褐色土である。北側の壁際でカマド跡、南側の床面で炉跡を検出し、北西隅の床面で柱穴跡を確認した。また、床面南側を削平し、平坦面を作っている。

カマド跡（第17図）

北側壁の東寄りに位置する。火床面と袖石を据えた小土坑を4基確認した。煙道、煙出しは検出していない。k 3層が焼土層である。

1号炉跡（第17図）

床面南側の中央に位置する。平面形は楕円形で、50 cm×40 cmを測る。2層に分層され、k 1層が焼土層であるが、あまり焼き締まっではない。遺物は出土していない。

周辺から出土した羽口、鉄製品、西側に鉄床石を伴っていることなどから、鍛冶炉跡と思われるが、鍛造剥片（ハンマースケール）は検出していない。

遺構外で土師器、須恵器を検出した土坑跡を2基出土している。p 110号は1号竪穴跡のすぐ南側に位置する中規模の土坑跡である。p 111号は1号竪穴跡から8 mほど南に位置する小土坑跡である。

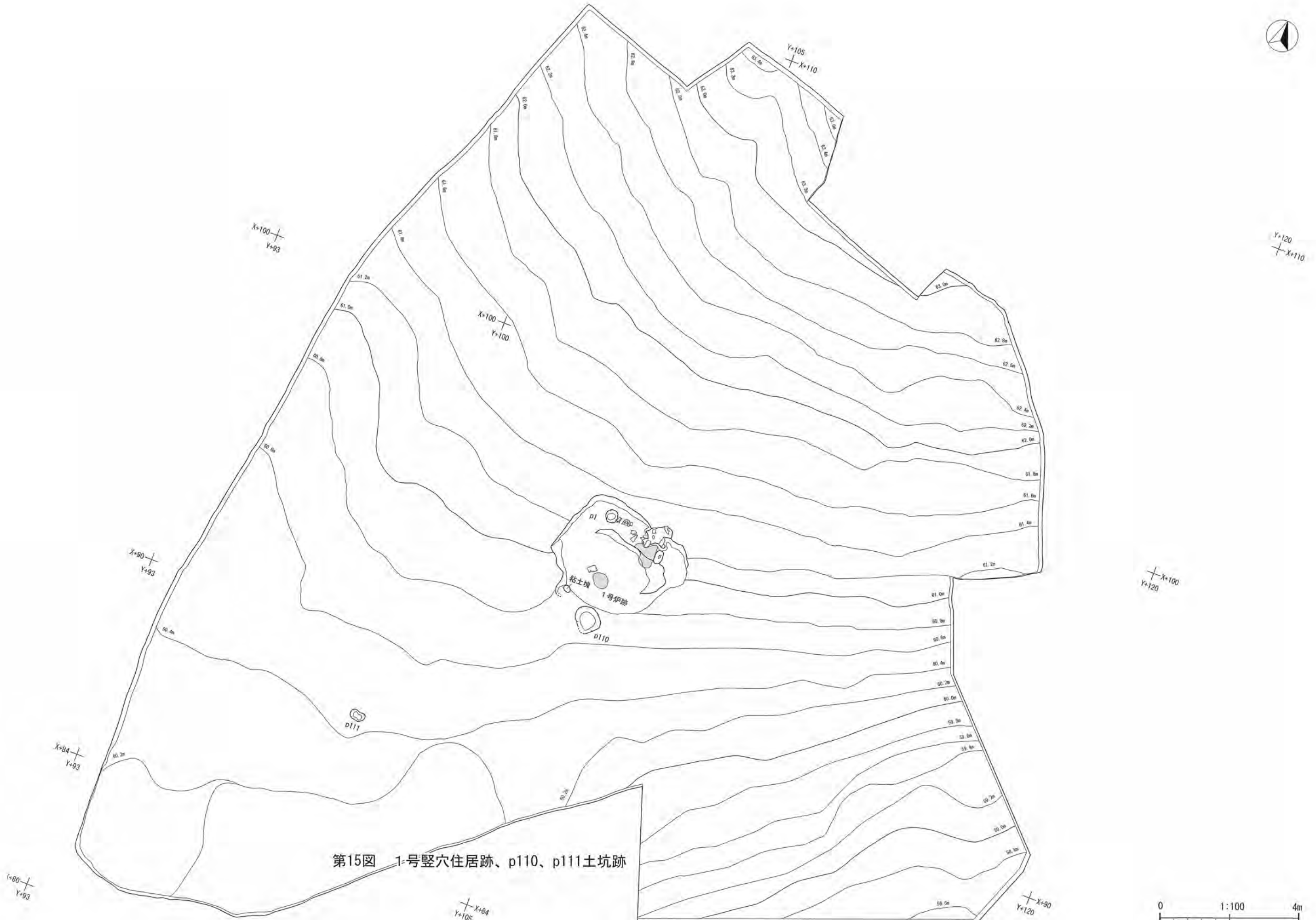
出土遺物（第18、19図）

1～4は土師器の甕である。1、2の口縁部は短く、わずかに外反する。3の口縁部は強く屈曲し、胴部は張り出し、球胴形の甕と思われる。4は明瞭な張り出しをもった底部である。底面に木葉痕を残す。5～8は縄文土器である。5、6は縄文のみで施文され口縁部である。7、8は撚糸文で施文された体部片である。7は網目状撚糸文である。9は138号土坑跡から出土した土師器甕の底部である。明瞭な張り出しをもち、底面に木葉痕を残す。10、11はp 111から出土した須恵器片である。タタキメを残す。

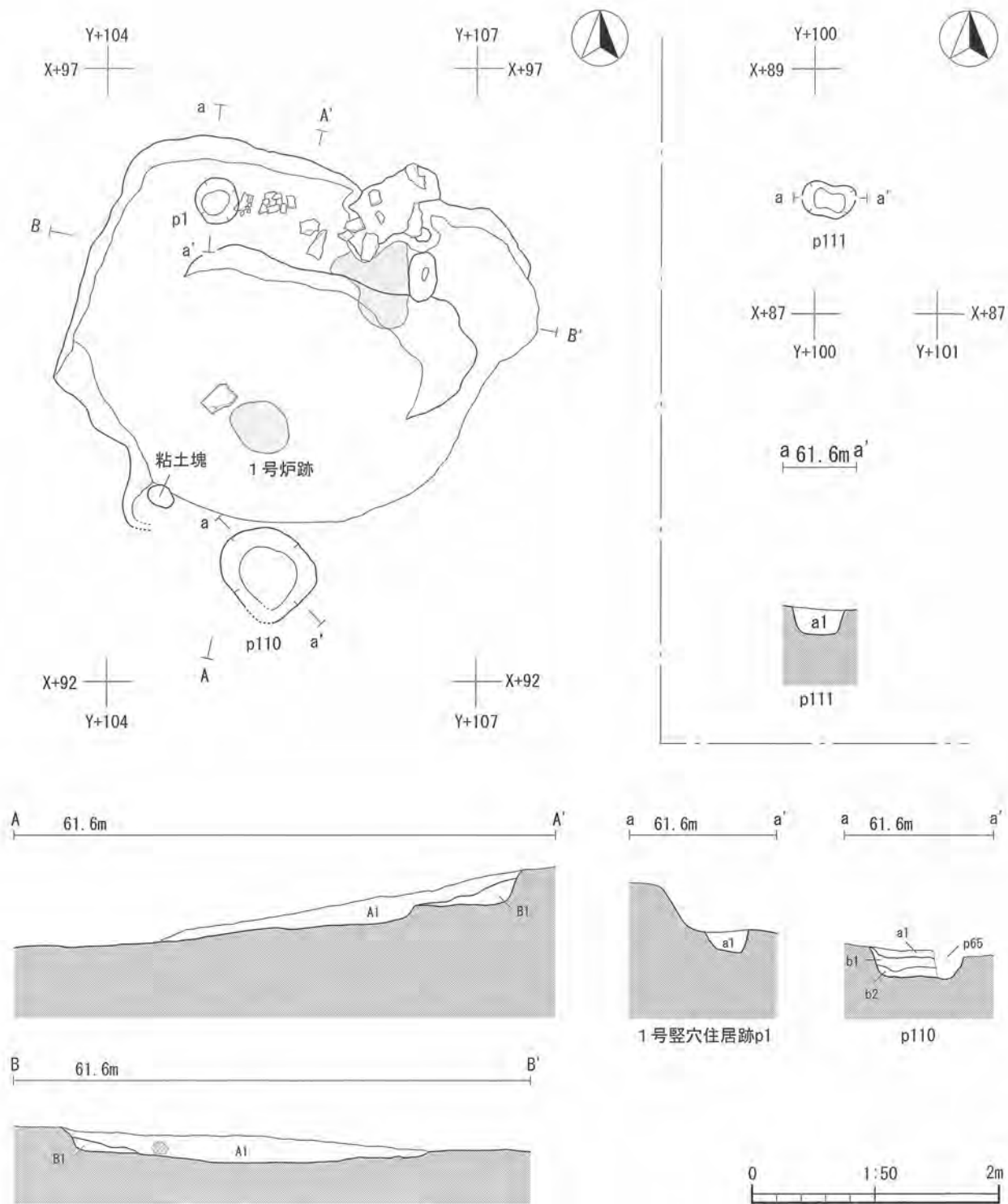
12～14は鉄製品である。12、13は刀子である。12は茎、13は切先である。14は細い棒状の製品である。

15、16は土製品の羽口である。15は溶滓が付着する端部である。

1号竪穴住居跡は平安時代に伴う。



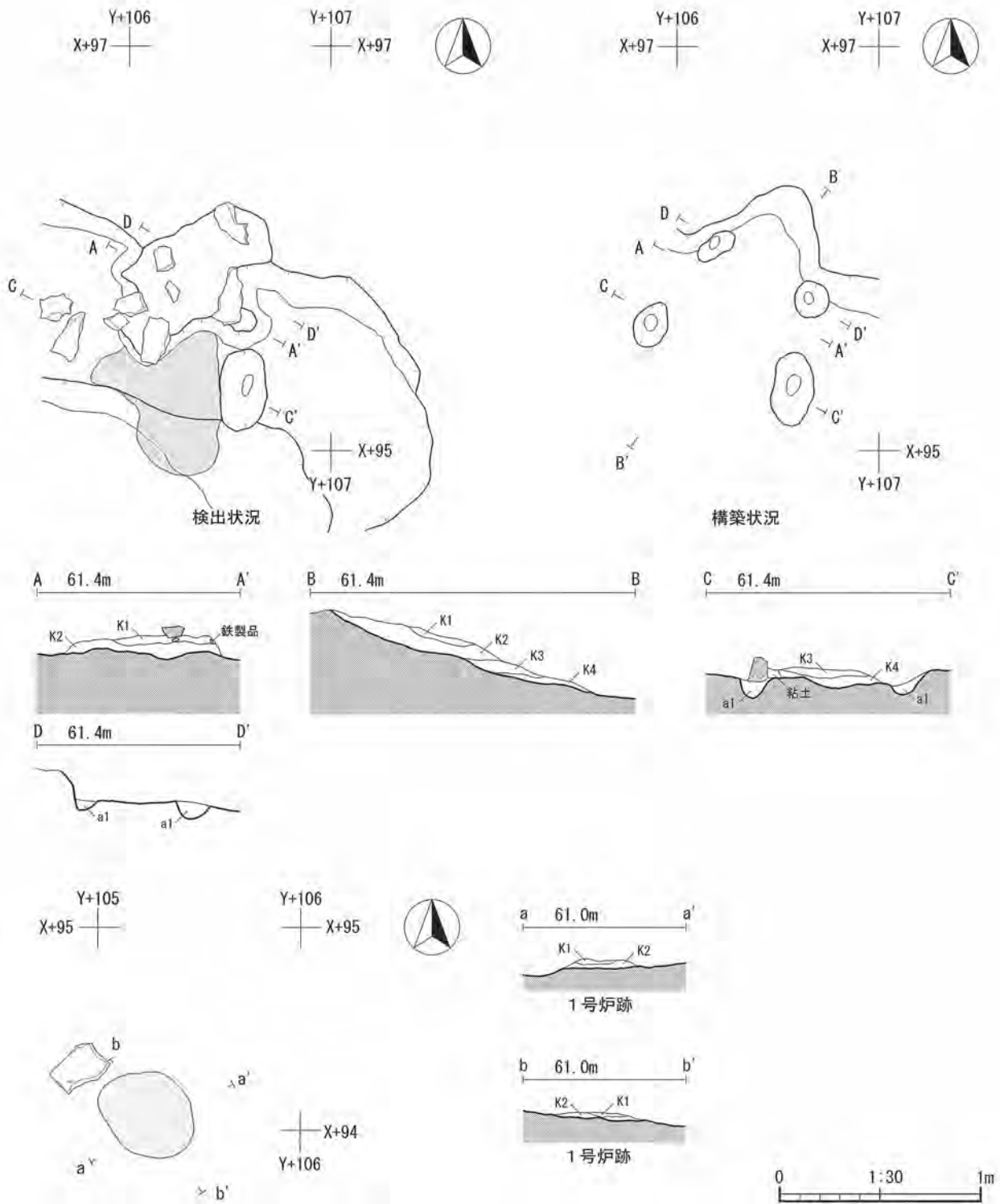
第15图 1号竖穴住居跡、p110、p111土坑跡



第16図 1号竖穴住居跡、p110、p111土坑跡平・断面図

1号竖穴住居跡 土層注記表

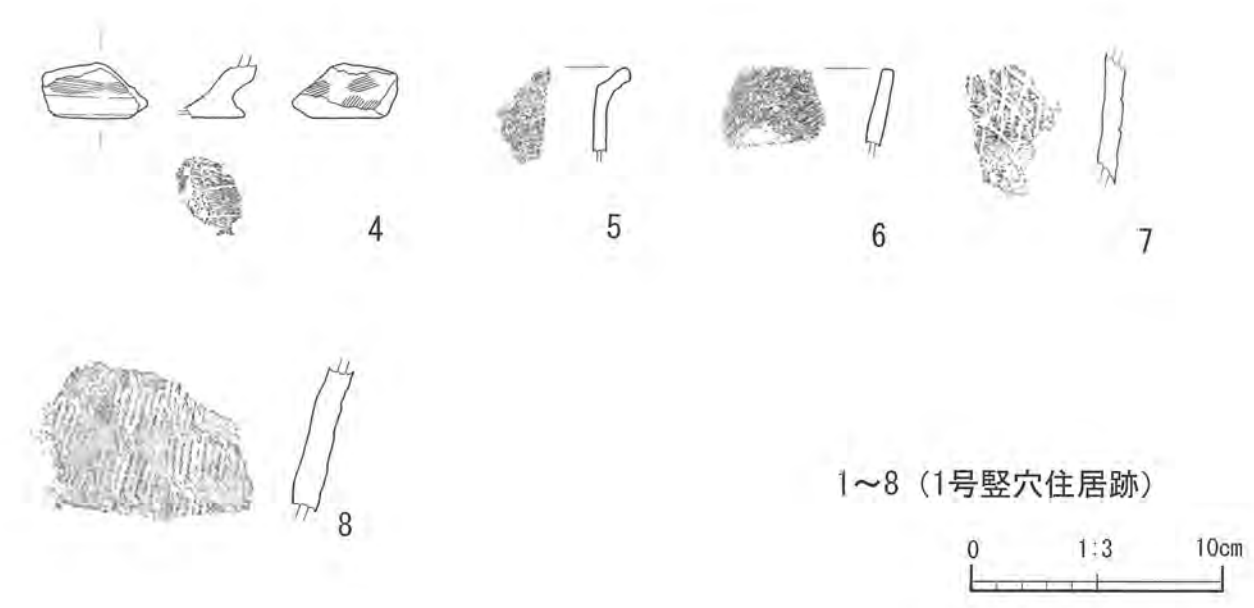
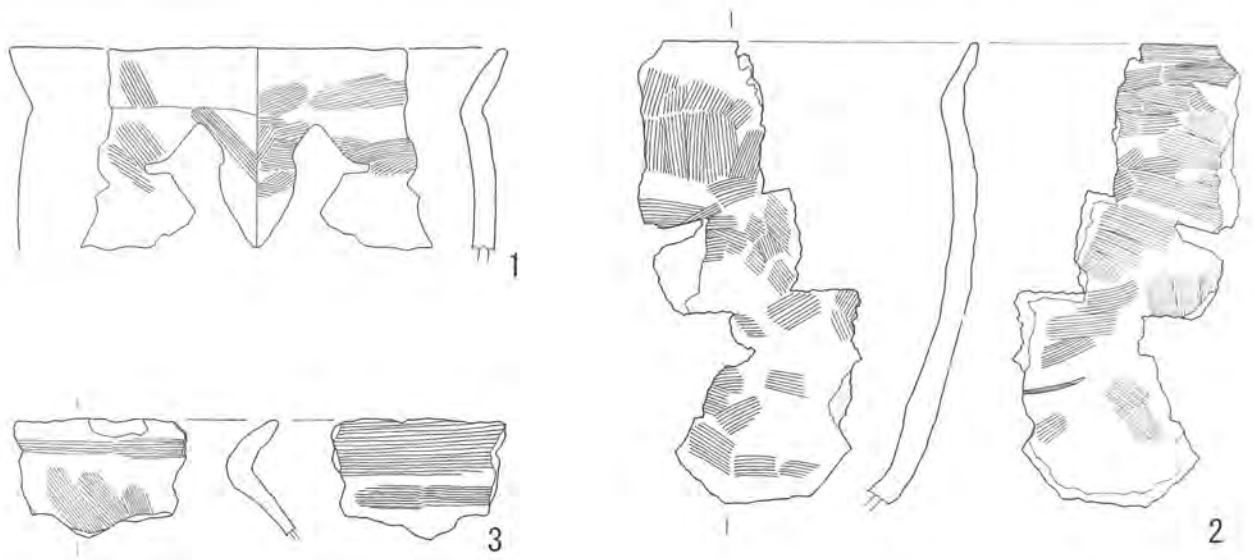
層名	基本土		混入土	固さ	密度	構造	混入物など
1号竖穴住居跡	A1	10YR2/3 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 3%	中~軟	中	塊	
	B1	10YR3/4 砂壤土	10YR5/4 真砂土 20%	中~軟	中~疎	塊	
P109	a1	10YR2/2 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 2%	中~軟	中~疎	塊	
	a1	10YR4/2 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	軟	疎	塊	土師器片
P110	b1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 真砂土 塊 10%	中	中	塊	
	b2	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 2%	中~固	中	塊	
P111	a1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 3%	中~固	中	塊	須恵器片 2



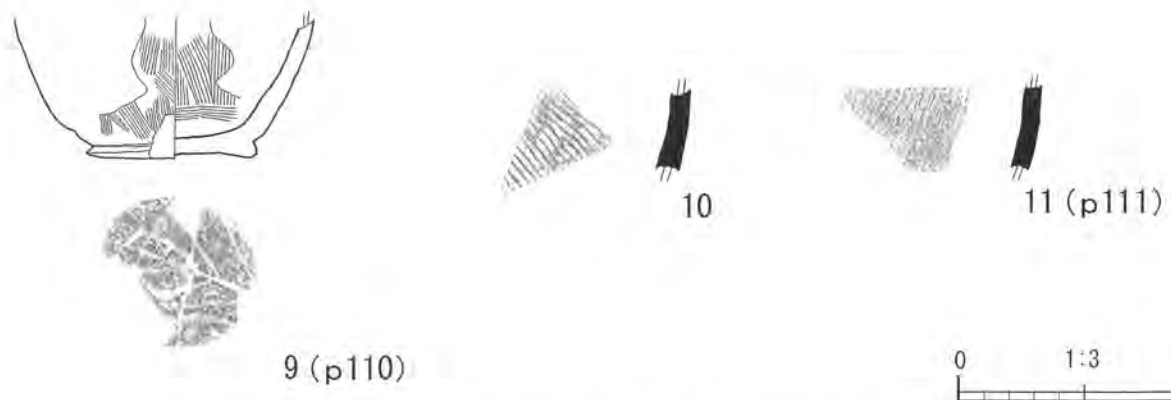
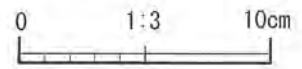
第17図 1号竪穴住居跡カマド、1号炉跡平・断面図

1号竪穴カマド、炉 土層注記表

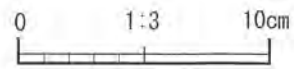
層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
1号竪穴カマド	K1	10YR5/6 粘土	10YR3/3 砂壤土 塊 10%	中～軟	中～疎	塊 鉄製品
	K2	10YR2/2 砂壤土	10YR5/6 粘土 3%	軟	疎	塊 炭多
	K3	5YR4/6 砂壤土	7.5YR2/3 砂壤土 塊 2%	中～軟	中～疎	塊 土器
	K4	5YR5/4 砂壤土	5YR4/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊
1号炉	a1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土真砂土 1%	中～軟	中	塊
	K1	7.5YR2/3 砂壤土	7.5YR4/6 砂壤土 塊 3%	中～軟	中～疎	塊
	K2	5YR4/4 砂壤土	7.5YR4/6 砂壤土 塊 3%	中～固	中	塊



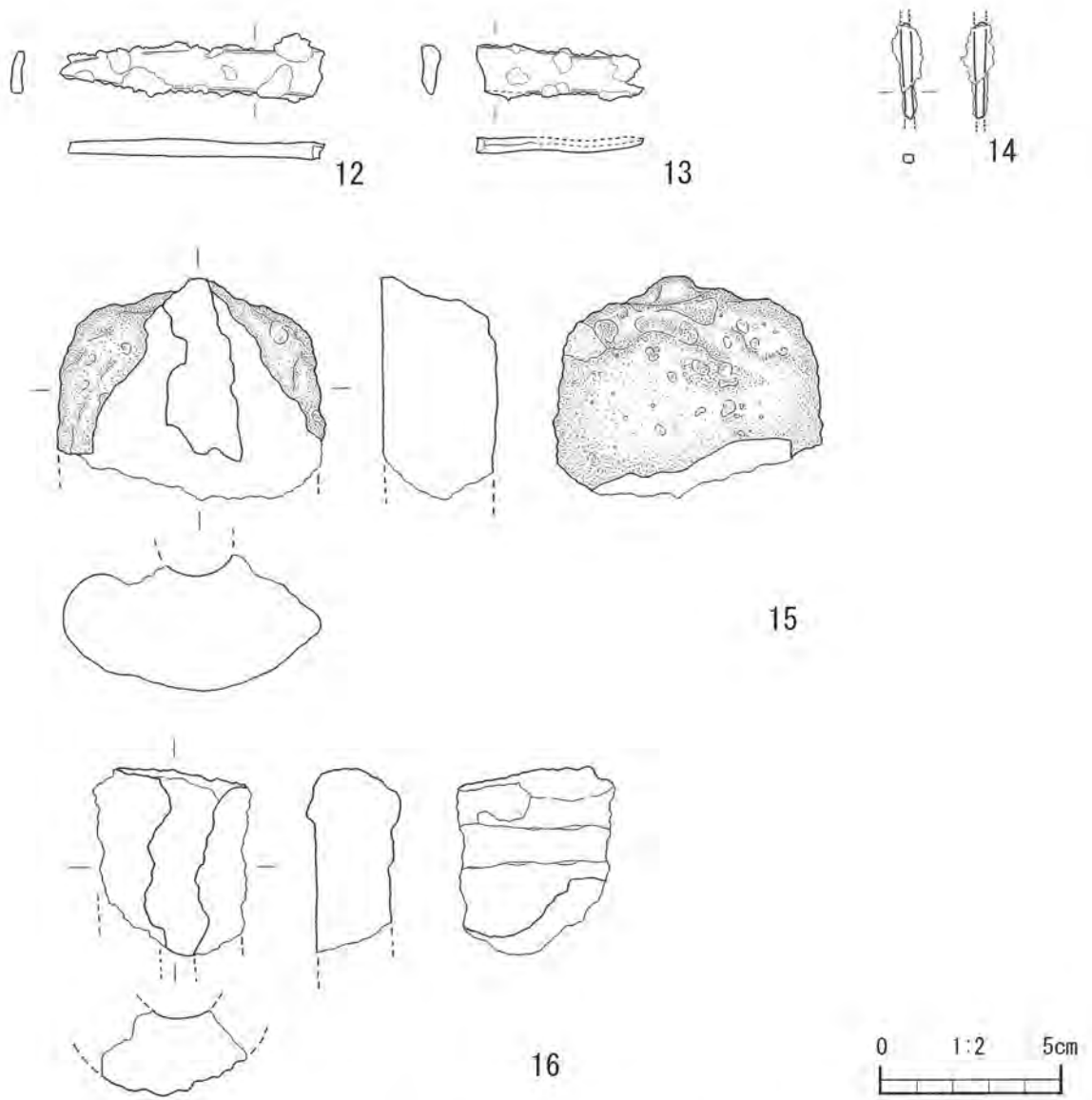
1~8 (1号竖穴住居跡)



9 (p110)



第18图 1号竖穴住居跡、p110、p111出土遺物 (土器)



第19図 1号竖穴住居跡出土遺物（鉄製品、土製品）

c 土坑群跡 (第 20～61 図)

土坑跡は東側の比較的急な斜面を除きほぼ全域から出土している。

1号土坑跡 (第 21、22 図)

調査区の北側に位置する。フラスコ状の土坑である。規模は、口径 2.0 m、底径 2.6 m、深さは検出面から 0.8 m を測る。埋土は 8 層で、特徴的なことは、A 1、C 1、E 1 層が真砂土であることである。

出土遺物 (第 23～27 図)

1～23 は中～下層から出土した土器である。深鉢の口縁部、体部、底部である。1～4 は内反する口縁部である。1～3 は「C」字状文を横に展開し、充填縄文を伴う。4 は隆帯をめぐらし、口縁部は無文である。5 は樽型の土器と思われる。口縁部に突帯をめぐらし、橋状把手を設ける。6 は磨消縄文と沈線による区画を伴う体部片である。1～6 は大木 10 式に伴う。7～12 はいずれも縄文のみで施文され、12 は複合口縁である。14～23 は底部である。14 は喇叭状に外反し、底面に木葉痕を残す。15、22 は底面に木葉痕を残し、16、17、21、22 は網代痕を残す。23 の底面は縄文の圧痕と思われる。

24～50 は最下層～床面で出土した土器である。

24～26 はやや外反する口縁部である。「S」字状充填縄文を横展開する。27、28 は同一個体の体部、底部である。29～35 は沈線による区画、磨消縄文を伴う体部片である。24～35 は大木 10 式に伴う。

36～50 は縄文のみで施文された深鉢形の口縁部、底部である。

51 は敲打磨石である。機能面の両側に調整磨面をもつ。

1号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

2号土坑跡 (第 21、22 図)

調査区の北側、1号土坑跡の南側に位置する。フラスコ状の土坑である。平面形は不整円形を呈し、南北 1.8 m、東西 1.5 m、深さ 0.9 m を測る。埋土は 4 層で A 1 層は真砂土である。

出土遺物 (第 28～32 図)

1～8 は上層から出土した深鉢の口縁部、体部、底部である。

1、2 はやや外反する深鉢の口縁部である。1 は連結「S」字の充填文を横位に展開する。2 は口縁部を横に円形刺突列が並び、途中一個の円形刺突を円形刺突列が囲む。「C」字文の横展開、充填縄文を伴う。3、4 は磨消縄文を伴う体部片である。1～4 は大木 10 式に伴う。5、6 は縄文のみで施文された口縁部である。7 は結節縄文を縦回転させた体部片である。8 は底面に木葉痕を残す底部である。

9～23 は中層から出土した深鉢の口縁部～底部である。

9～11 は磨消しを伴う口縁部、体部である。9～11 は大木 10 式に伴う。12～19 は縄文のみで施文された口縁部である。20 は隆帯のみを伴う。21 は結節縄文を縦回転させる体部片である。22、23 は底部である。22 は底面に網代痕を伴う。

24～47 は最下層～床面出土した深鉢の口縁部～底部である。

24～32は沈線による区画、充填縄文、磨消縄文を伴った口縁部である。33は円形刺突列を伴う。29～32は縄文の充填、磨消縄文を伴った体部である。33は刺突列で施文された体部である。24～33は大木10式に伴う。34～40は縄文のみで施文された口縁部である。41～43は底部である。41は網代痕、42、43は木葉痕をそれぞれ底面に残す。

44～51は石器である。

44は剥片石器である。石鏃と思われる。平基で、二等辺三角形に成形、先端は円刃である。

45は敲き石である。周縁に打痕を残す。

46～49は敲打磨石である。いずれも機能面の両側に調整痕を残す。

50は角礫で、磨面一面をもつ石器である。51は上下二面に磨面をもつやや大形の石器である。礫は細長く、端部が尖る。

2号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

3号土坑跡（第21、22図）

調査区の北側、2号土坑跡の南西に位置する。平面形は楕円形を呈し、口径は南北1.2m、東西1.0m、深さ30cmを測る。埋土は3層で褐色土である。

出土遺物（第33図1）

上層から1点縄文土器が出土している。

1は深鉢の口縁部である。円形刺突列で施文される。

3号土坑跡は縄文時代中期に伴うものと思われる。

4号、5号土坑跡（第21、22図）

調査区の北側、3号土坑跡の東側に位置する。4号土坑跡は5号土坑跡を切る。

4号土坑跡

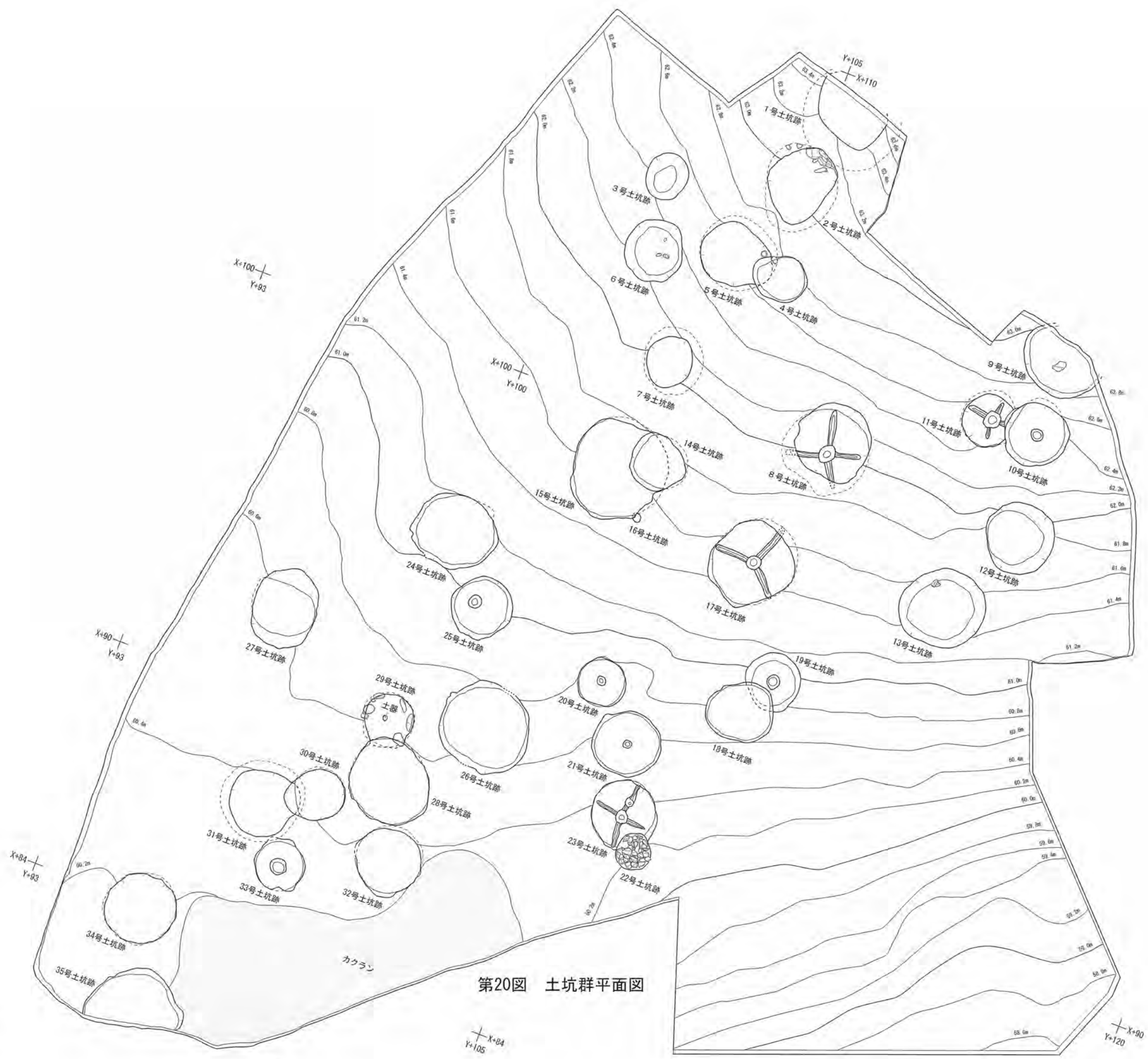
平面形は不整円形を呈し、口径は南北1.2m、東西1.4m、深さ55cmを測る。埋土は3層でB層が真砂土質の土層である。

出土遺物（第33図）

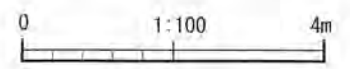
縄文土器2点、石器1点が出土しているが、縄文土器は図化できず時期は不明である。

1は石器である。敲打磨石である。両側面に調整痕をもつ。

4号土坑跡の時期は、5号との切り合いから縄文時代中期後葉に伴う。



第20図 土坑群平面図



5号土坑跡（第21、22図）

フラスコ状の土坑跡で、平面形は不整形円形を呈す。口径は南北1.5m、東西2.0m、底径は南北1.8m、東西2.0m、深さ50cmを測る。埋土は6層でD層は真砂土塊を含み、E1層には焼土が混じる。

出土遺物（第33図3～6）

3、4は上層から出土した土器である。

3は縄文のみで施文された深鉢の口縁部である。4は底部である。底面の痕跡は不明瞭である。

5、6は下層から出土した土器である。

5は結節縄文で施文された口縁部～体部である。6は磨消縄文を伴う体部片である。大木10式に伴う。

5号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

6号土坑跡（第21、22図）

調査区の北側、5号土坑跡の西側に位置する。平面形は円形を呈し、径1.5mを測る。深さは0.7mである。埋土は単層で褐色土である。

出土遺物（第33図3～6）

7、8は下層から出土した縄文土器である。沈線による区画と磨消縄文を伴う深鉢の体部片である。大木10式に伴う。

9は敲打磨石である。両側面に調整痕を伴う。

6号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

7号土坑跡（第21、22図）

調査区の北側、5号土坑跡の南側に位置する。フラスコ状の土坑跡である。平面形は円形を呈し、口径は1.2m、底径は1.8m、深さ1.0mを測る。埋土は3層で褐色土である。

出土遺物（第33、34図）

10～13は中層から出土した土器である。

10～13は、沈線による区画と磨消縄文を伴う深鉢の口縁部、体部である。大木10式に伴う。

14、15は下層から出土した深鉢の口縁部、底部である。いずれも縄文のみで施文される。15は底面に網代痕を残す。

16は磨面をもつ円形の石皿である。一磨面をもつ。

7号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

8号土坑跡（第21、22図）

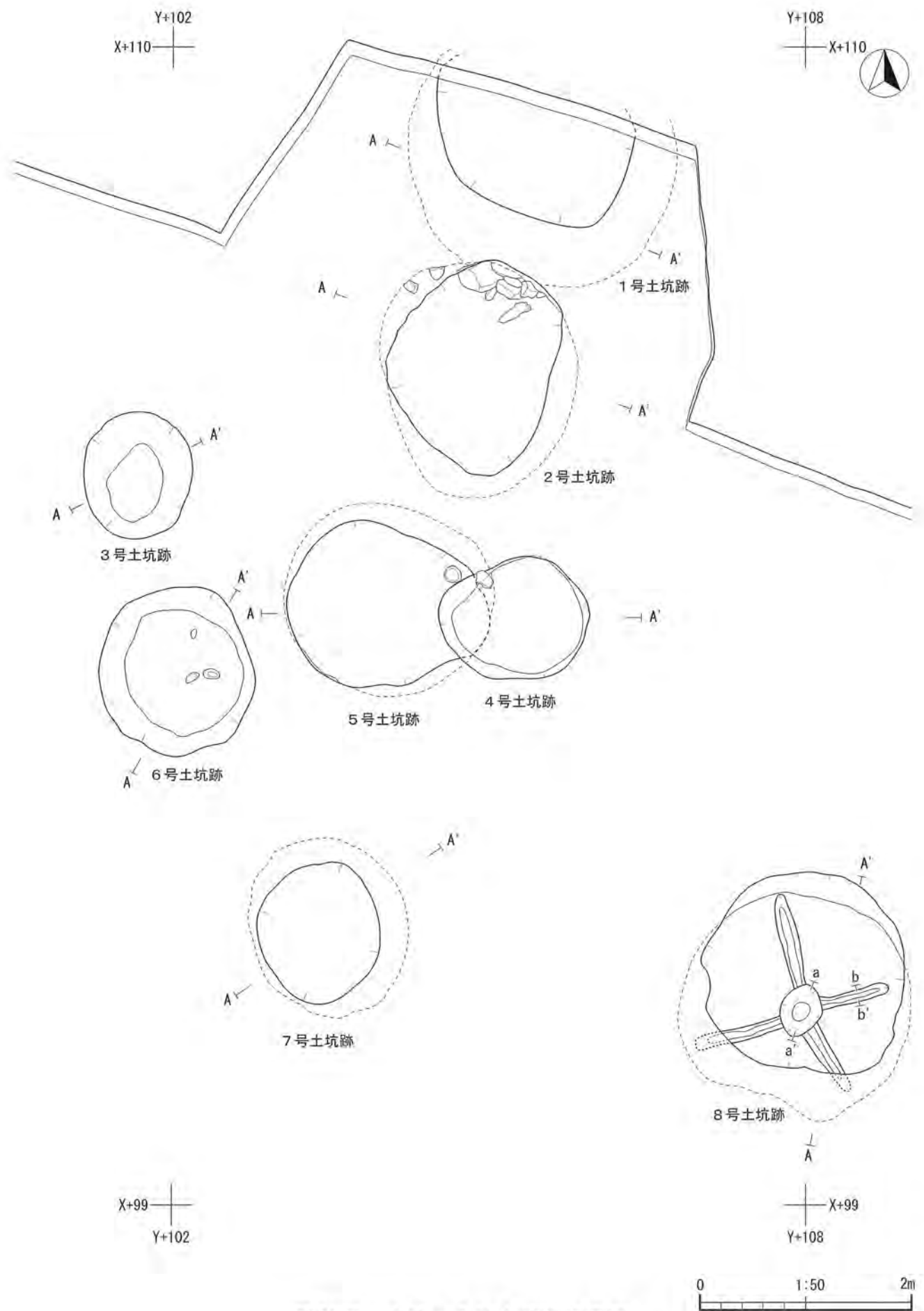
調査区の北側の中央に位置する。底径が口径を上回るフラスコ状の土坑跡であるが、口径が北側にずれる。平面形は不整形円形を呈し、口径1.9m、底径2.2m、深さ1.2mを測る。床面の中央には小土坑が掘られ、その土坑を中心に溝で4分割される。埋土は3層で微量の炭を含む褐色土である。

出土遺物（第34図）

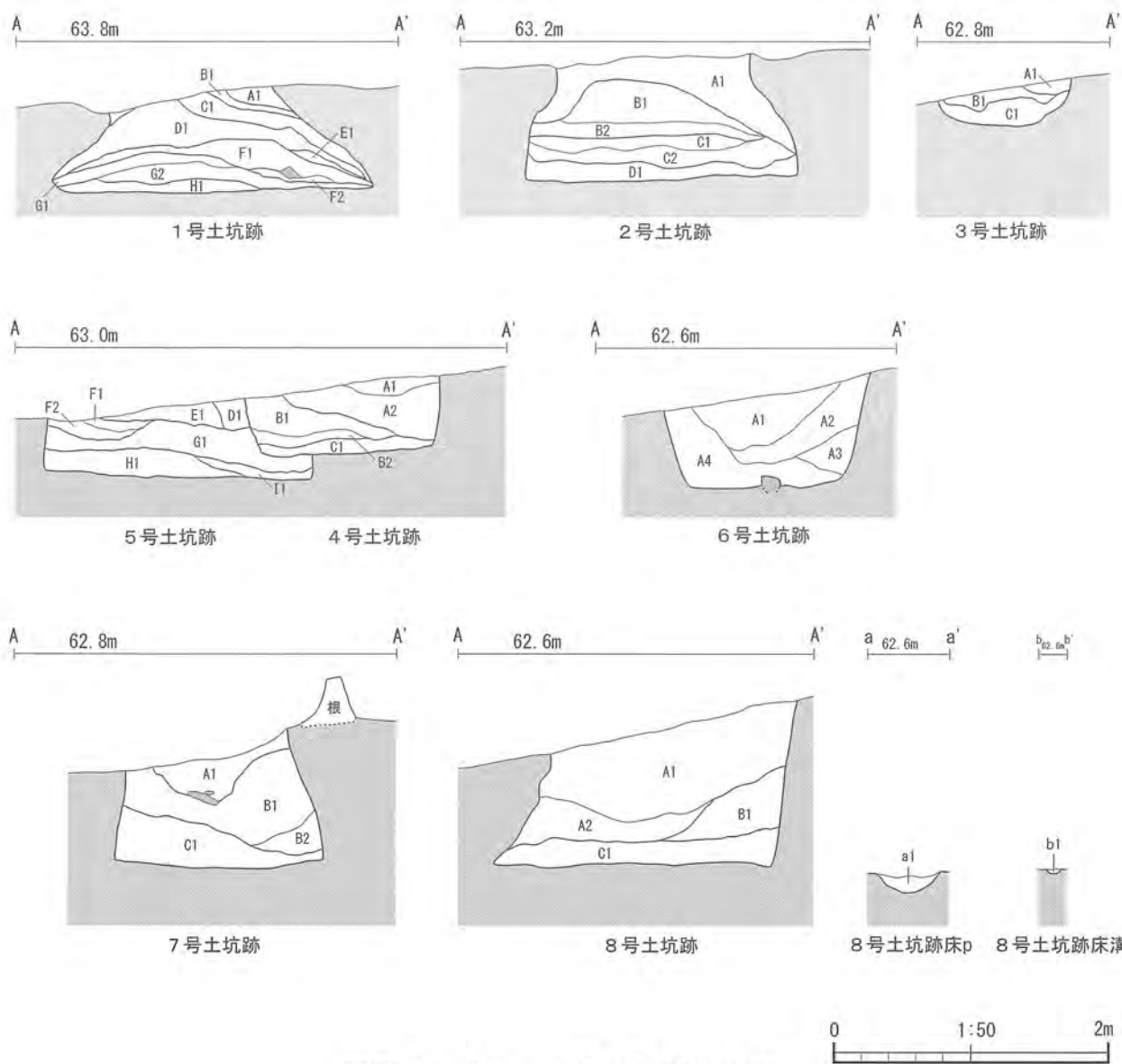
中層から剥片石器2点が出土したのみである。いずれも不定形石器である。

17は弧状の端部に凸刃を作り出す。18は方形で、下端に凸刃を作る。

8号土坑跡の詳細時期は不明である。



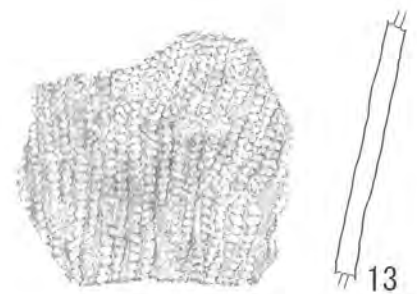
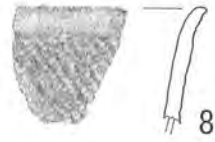
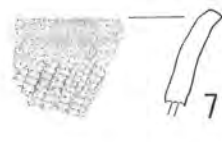
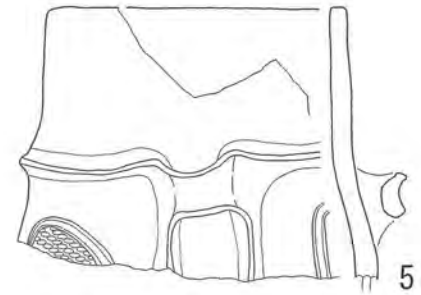
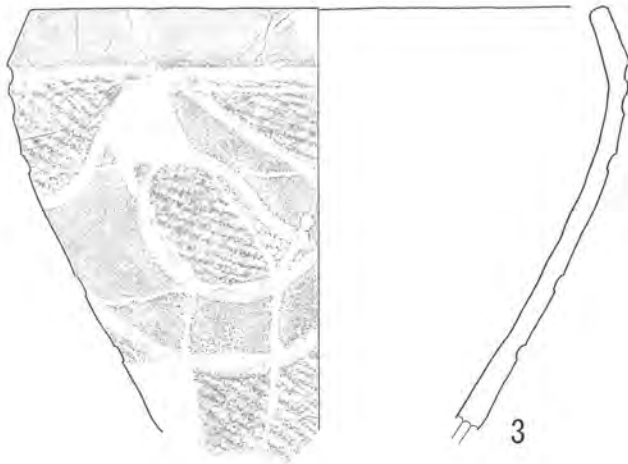
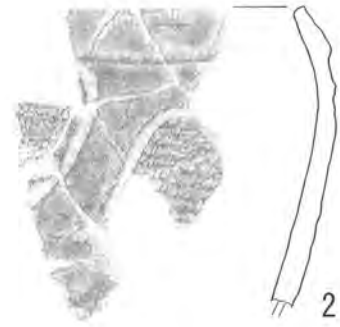
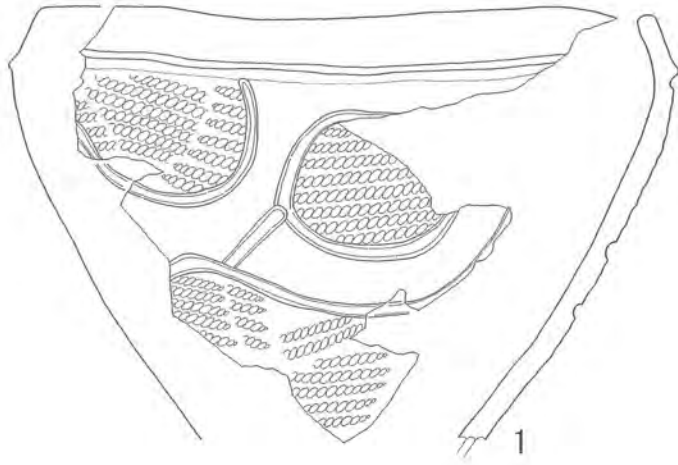
第21图 1号~8号土坑迹平面图



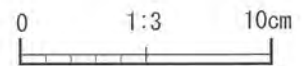
第22图 1号~8号土坑迹断面图

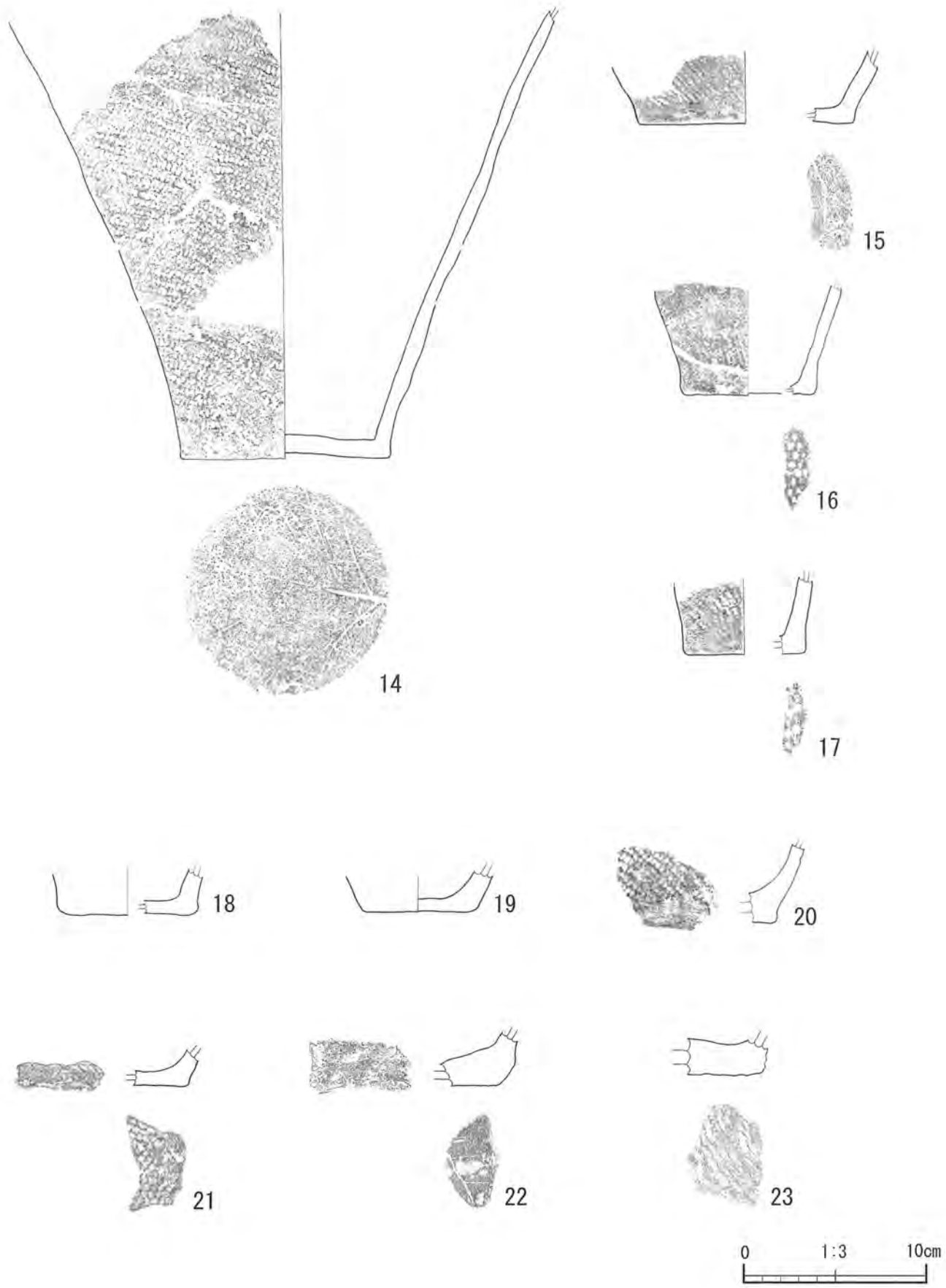
1号～8号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など	
1号土坑跡	A1	10YR6/4 砂壤土	10YR5/6 砂壤土 塊 2%	中～固	中～密	塊	
	B1	10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 2%	中～軟	疎	塊	
	C1	10YR6/4 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 層状 15%	中～固	中～密	塊	
	D1	10YR4/3 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 6% 10YR6/4 真砂土 塊 3%	中	中	塊	
	E1	10YR6/4 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 1%	固	密	塊	
	F1	10YR4/6 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	縄文、炭少
	F2	10YR4/6 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中～密	塊	縄
	G1	10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～軟	中	塊	縄文、炭少
	G2	10YR3/4 暗	10YR4/4 砂壤土 塊 2% 10YR3/2 砂壤土 塊 10%	中～軟	中	塊	縄文多
	H1	10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 層状 10%	中～固	中	塊	縄文多、炭多
2号土坑跡	A1	10YR6/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	固	密	塊	
	B1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 5%	中	中～疎	塊	炭少、土器多
	B2	10YR3/3 砂壤土	10YR5/3 砂壤土 層状 10%	中～軟	中	塊	土器、炭多
	C1	10YR4/4 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 層状 15% 10YR5/4 層状 10%	中～軟	中	塊、層状	土器片、炭多
	C2	10YR4/4 砂壤土	10YR3/3 砂壤土塊 層状 30% 10YR5/4 層状 10%	中	中	塊	土器、炭少
3号土坑跡	D1	10YR2/3 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	土器、炭少
	A1	10YR5/4 砂壤土 粘なし	10YR4/4 砂壤土 塊 5%	中～軟	中	塊	
	B1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～軟	中	塊	縄文片、炭少
4号土坑跡	C1	10YR5/6 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 5%	中	中～密	塊	
	A1	10YR6/6 砂壤土	10YR5/6 塊 10%	中	中	塊	
	A2	10YR5/6 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 20%	中～固	中	塊	
	B1	10YR5/6 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
	B2	10YR4/6 砂壤土 塊 10%	10YR4/6 砂壤土 塊 10%				
5号土坑跡	C1	10YR4/6 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	縄
	D1	10YR6/4 砂壤土	10YR5/4 層状 10%	固	密	塊	
	E1	10YR3/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	軟	疎	塊	
	F1	10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	F2	10YR4/4 砂壤土	10YR5/6 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	G1	10YR5/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	H1	10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
	I1	10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	固	中～密	塊	
6号土坑跡	A1	10YR4/3 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 10% 10YR5/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中～密	塊	炭少、土器?
	A2	10YR5/4 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	炭微
	A3	10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 1%	中～固	中～密	塊	
	A4	10YR5/4 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 15% 10YR4/3 砂壤土 塊 15%	中～固	中～密	塊	
7号土坑跡	A1	10YR4/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	土器
	B1	10YR5/4 砂壤土	10YR6/4 砂壤土 塊 20%	中～固	中	塊	
	B2	10YR6/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 15%	中	中	塊	土器
	C1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	炭微、土器
8号土坑跡	A1	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 20%	中～固	中	塊	炭微
	A2	10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 5%	中～固	中	塊	炭微
	B1	10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	炭微
	C1	10YR4/3 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 2%	中	中	塊	炭微
8号土坑跡床P	a1	10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 3%	中	中～密	塊	炭少
	b1	10YR6/6 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	

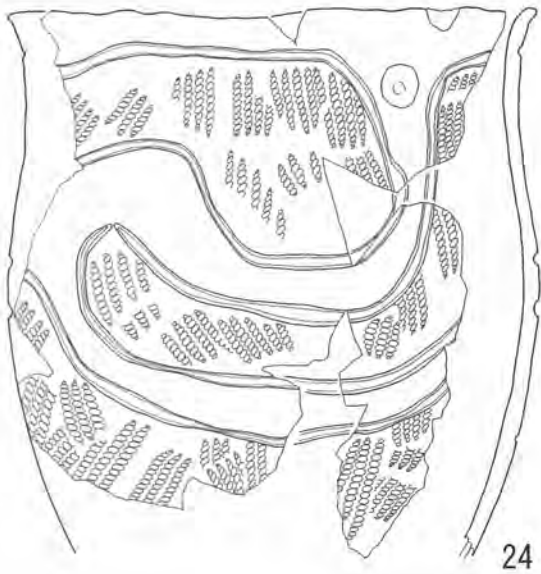


第23図 1号土坑跡出土遺物 (1) 中層

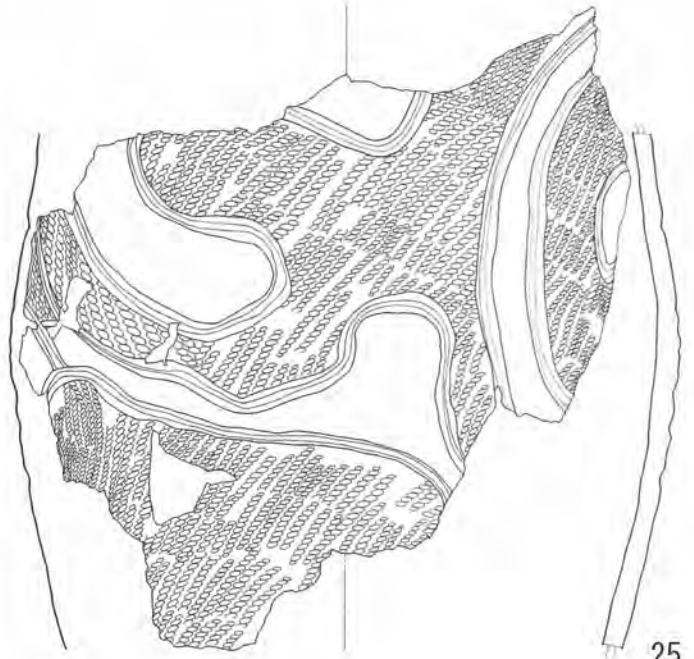




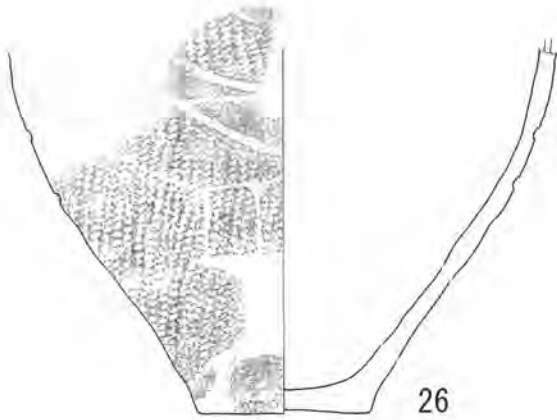
第24図 1号土坑跡出土遺物 (2) 中～下層



24



25



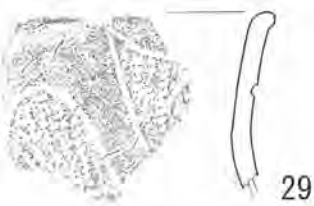
26



27



28



29



30



31



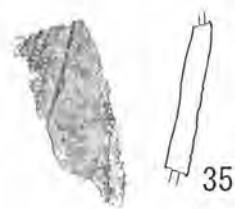
32



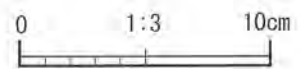
33



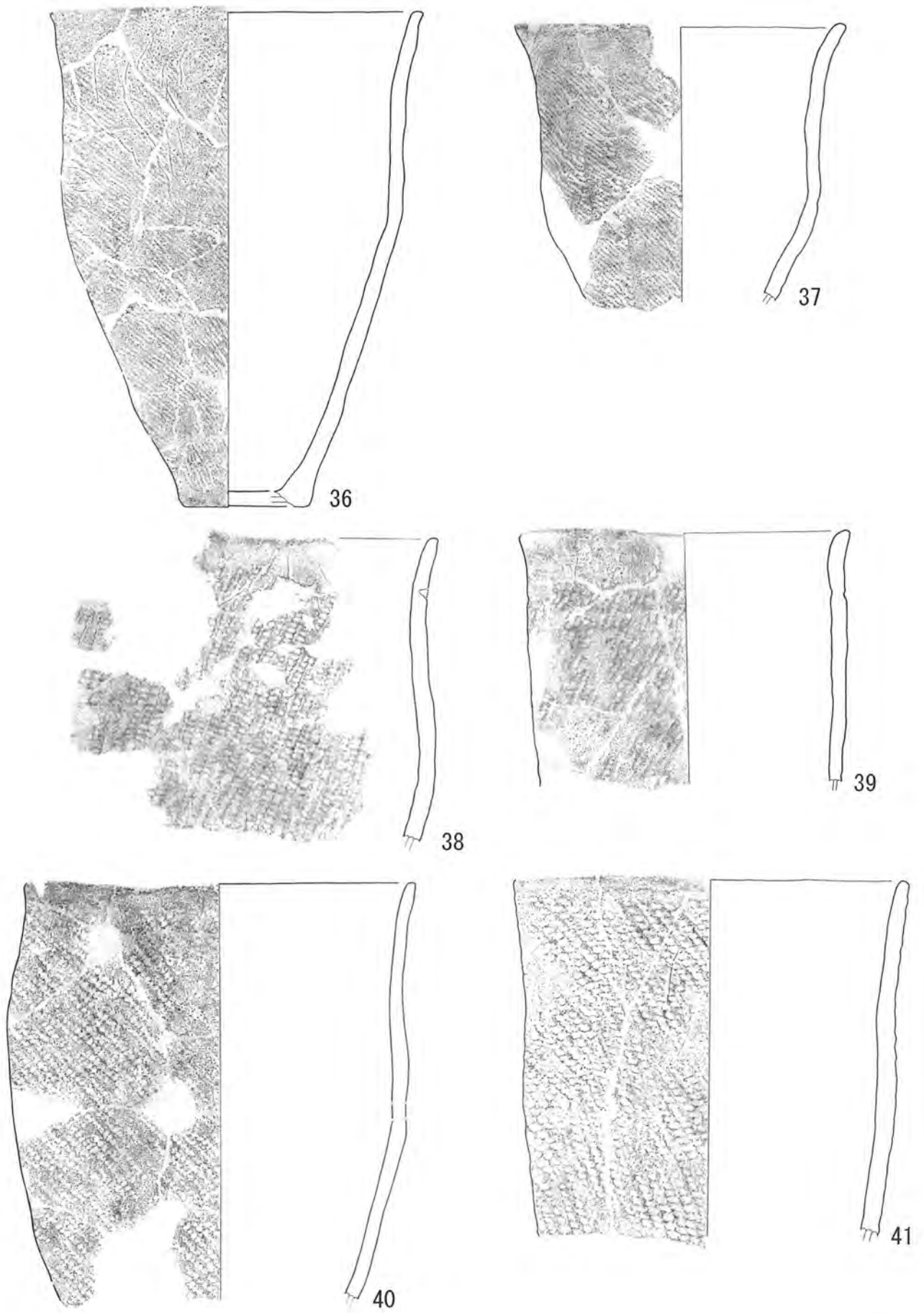
34



35

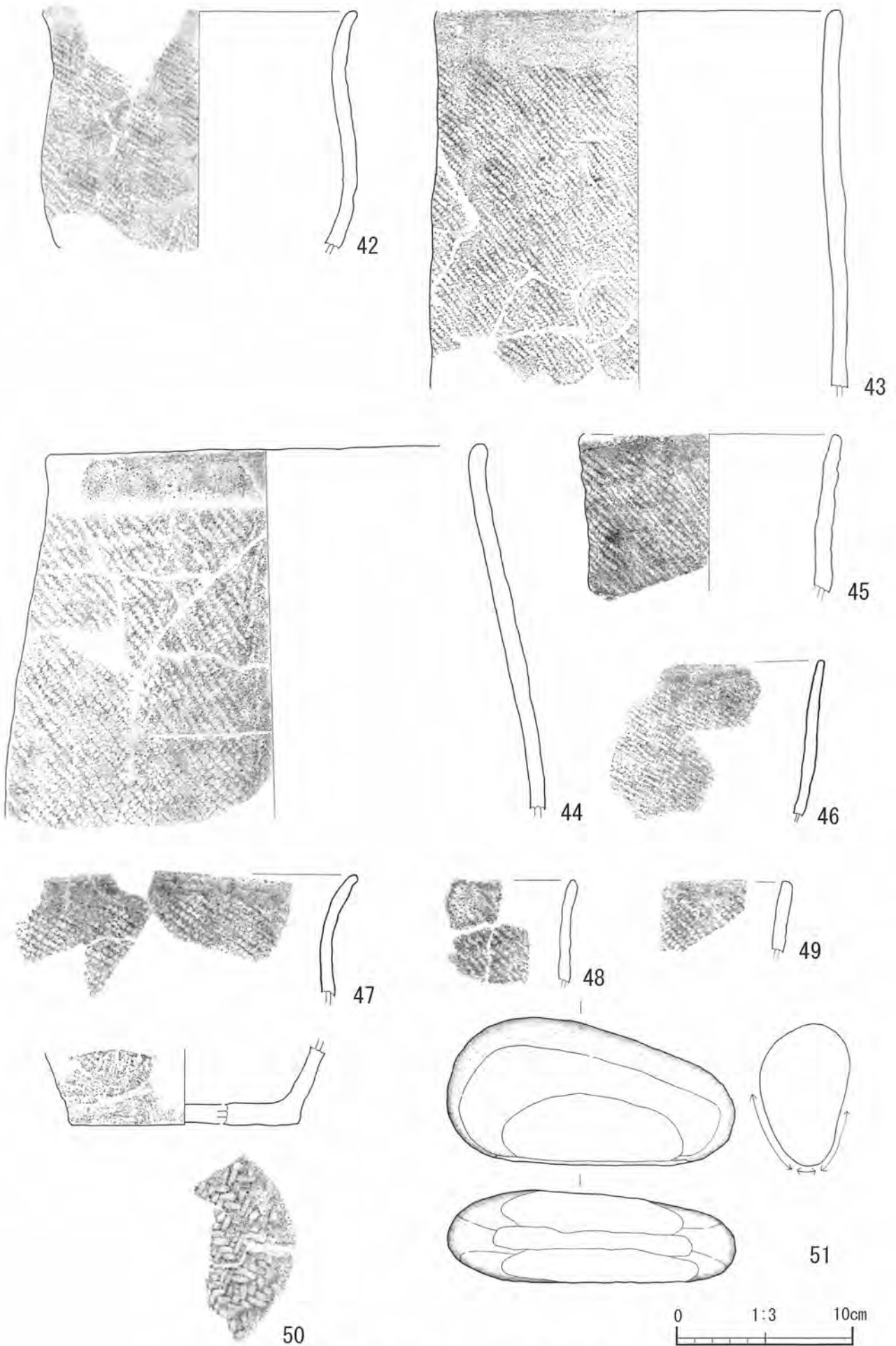


第25图 1号土坑迹出土遺物 (3) 最下層~床面



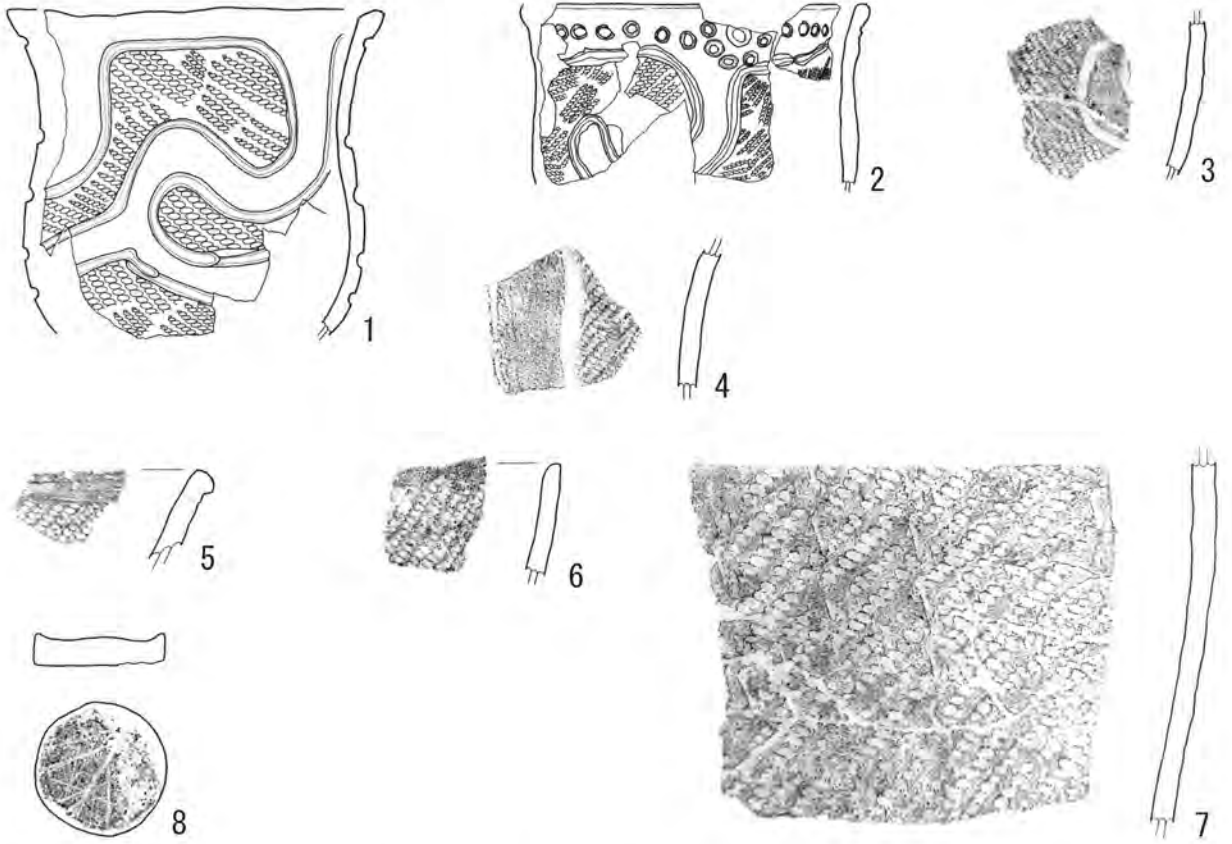
第26図 1号土坑跡出土遺物(4) 最下層～床面

0 1:3 10cm

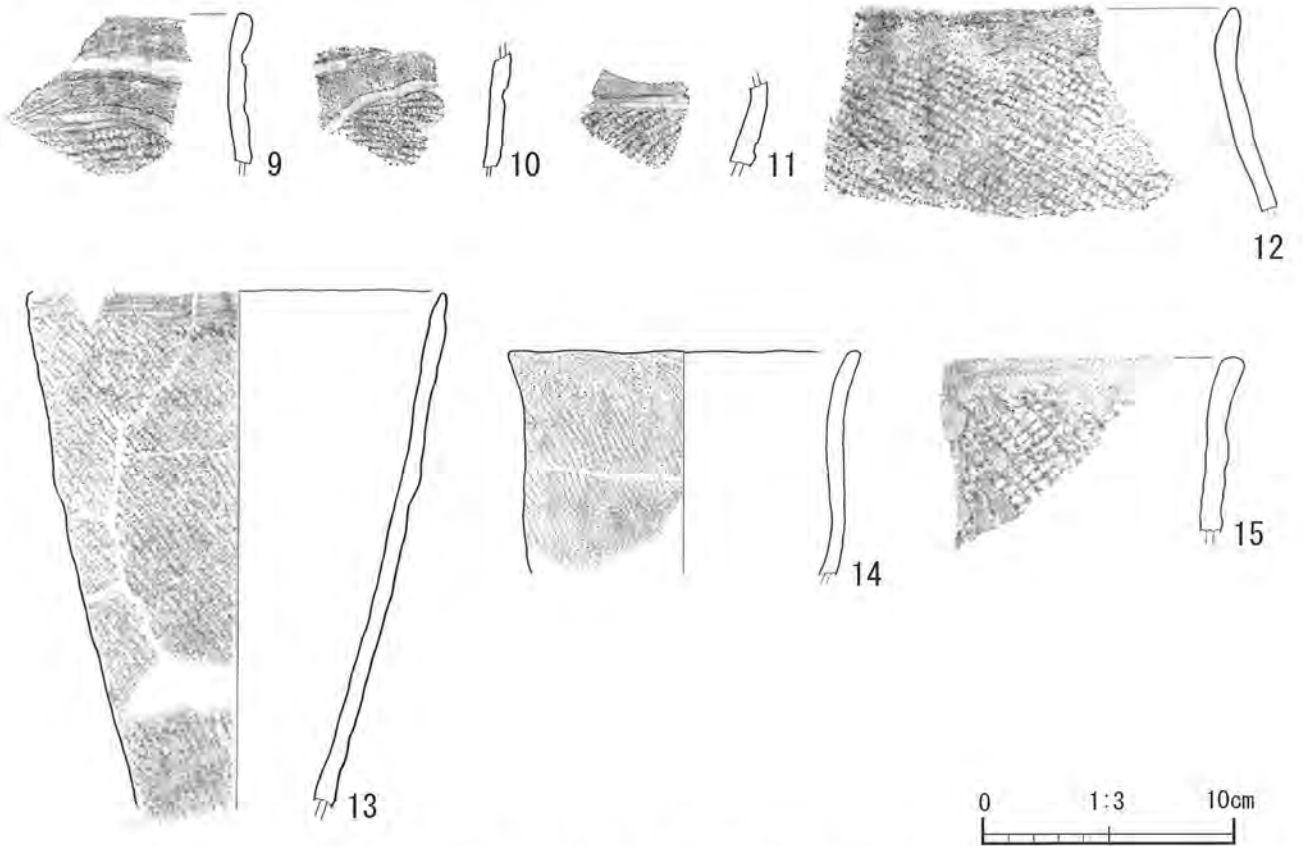


第27图 1号土坑跡出土遺物 (5) 最下層~床面

上層

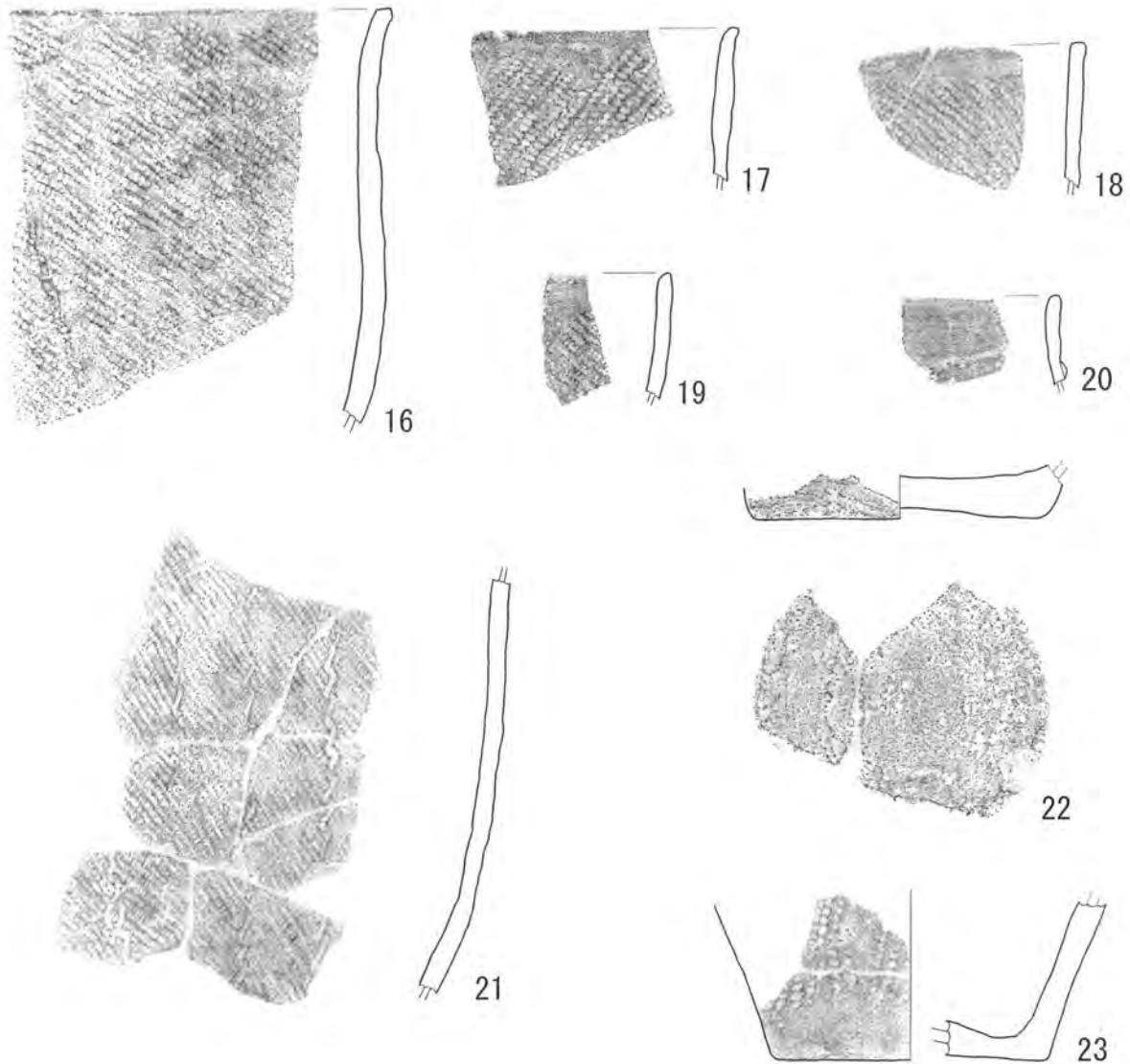


中層

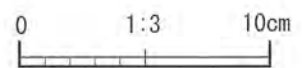
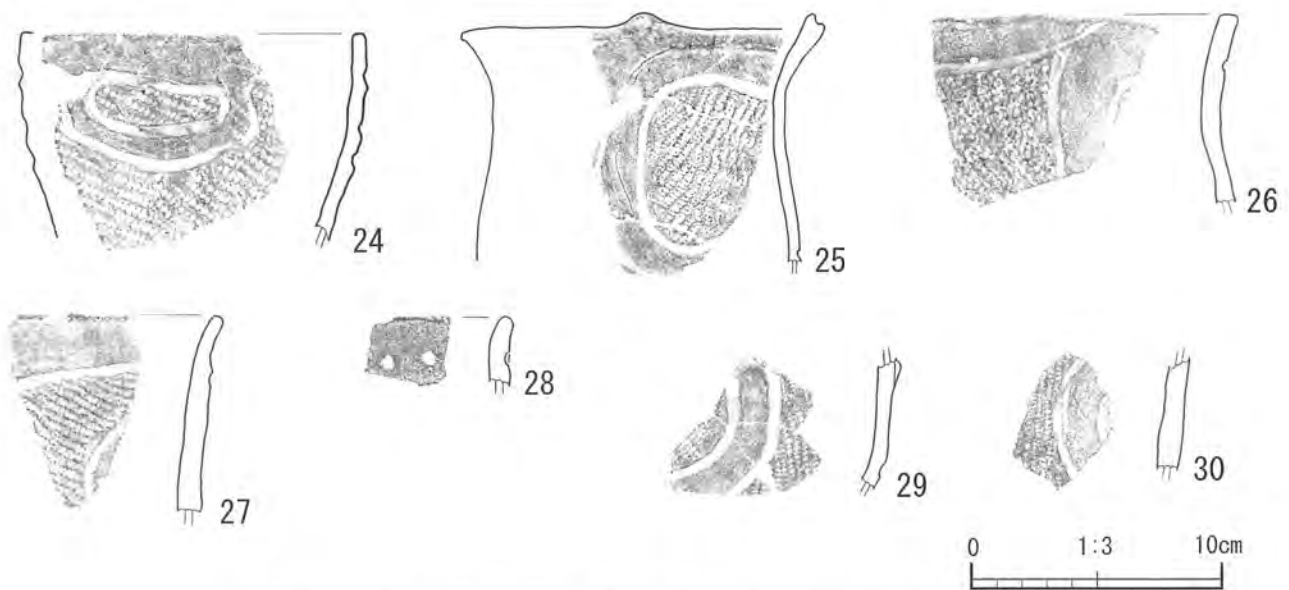


第28图 2号土坑迹出土遺物 (1) 上層、中層

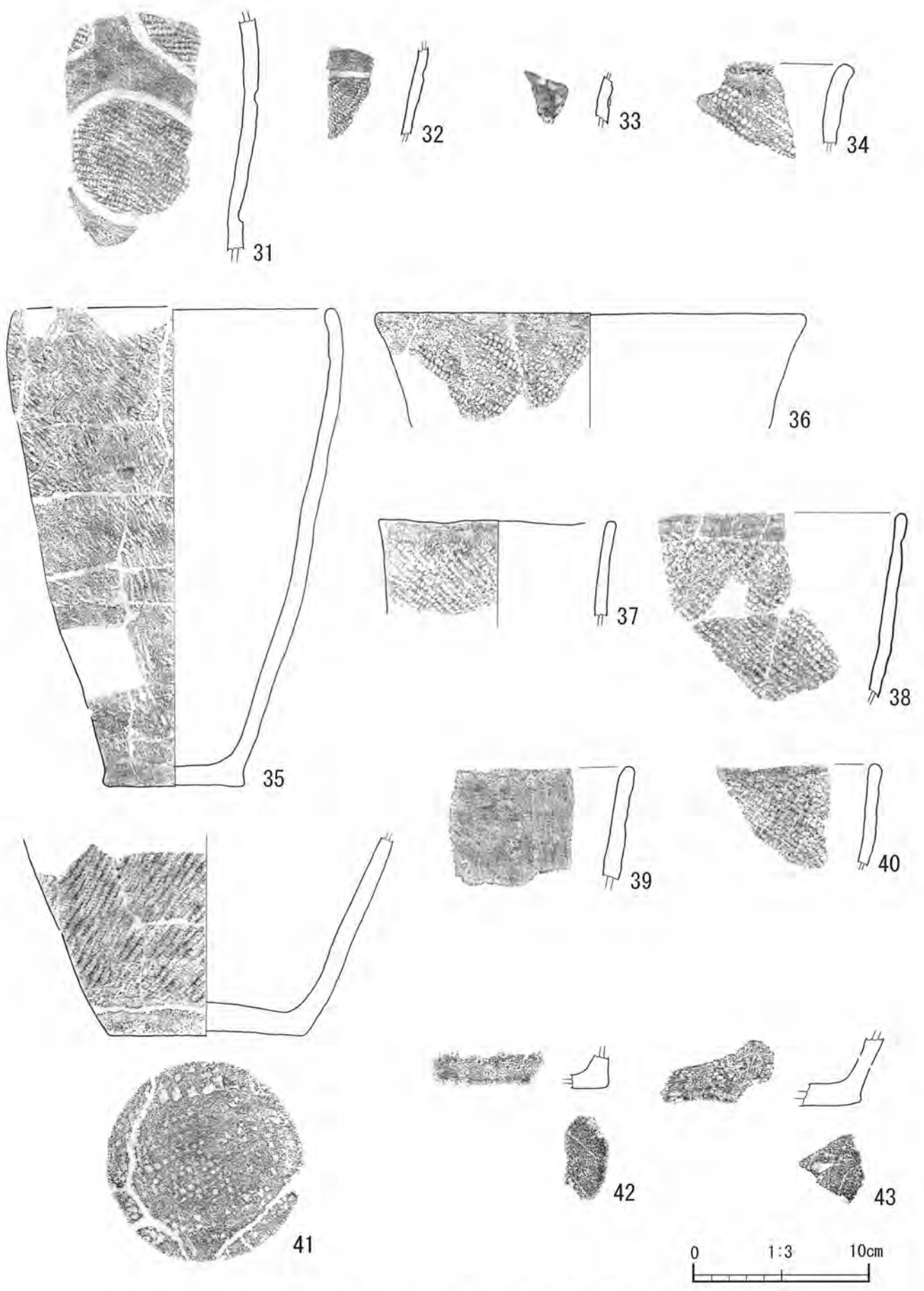
中層



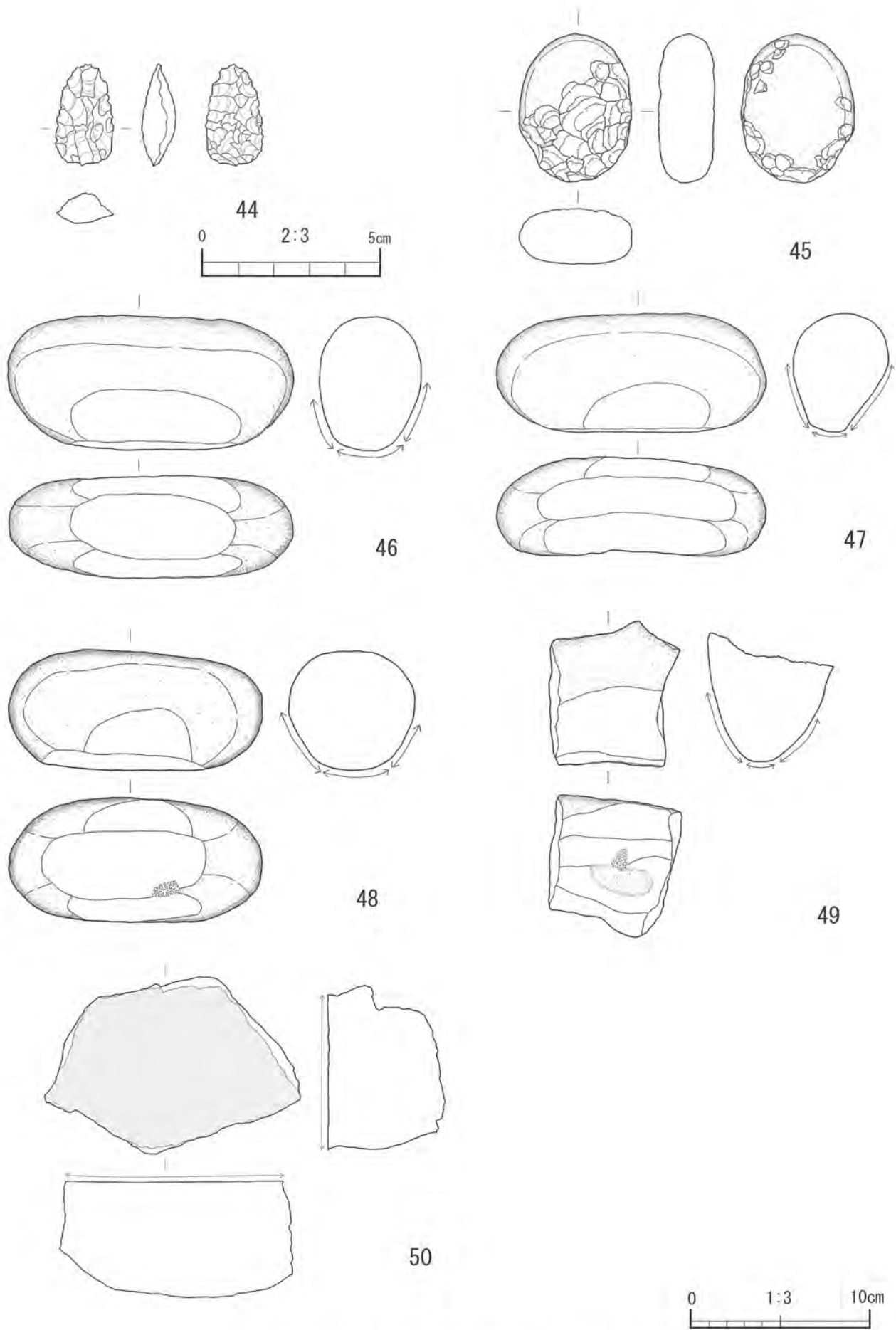
最下層～床面



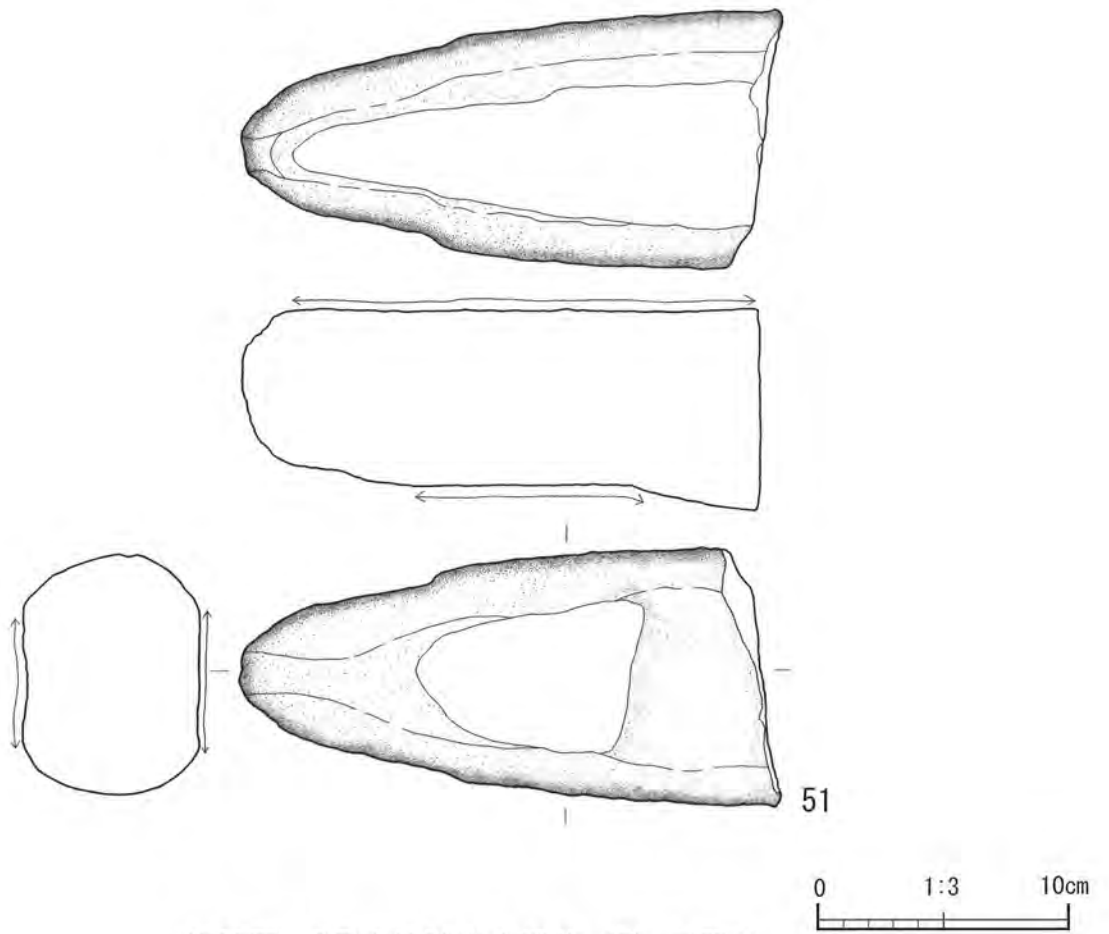
第29図 2号土坑跡出土遺物(2) 中層、最下層～床面



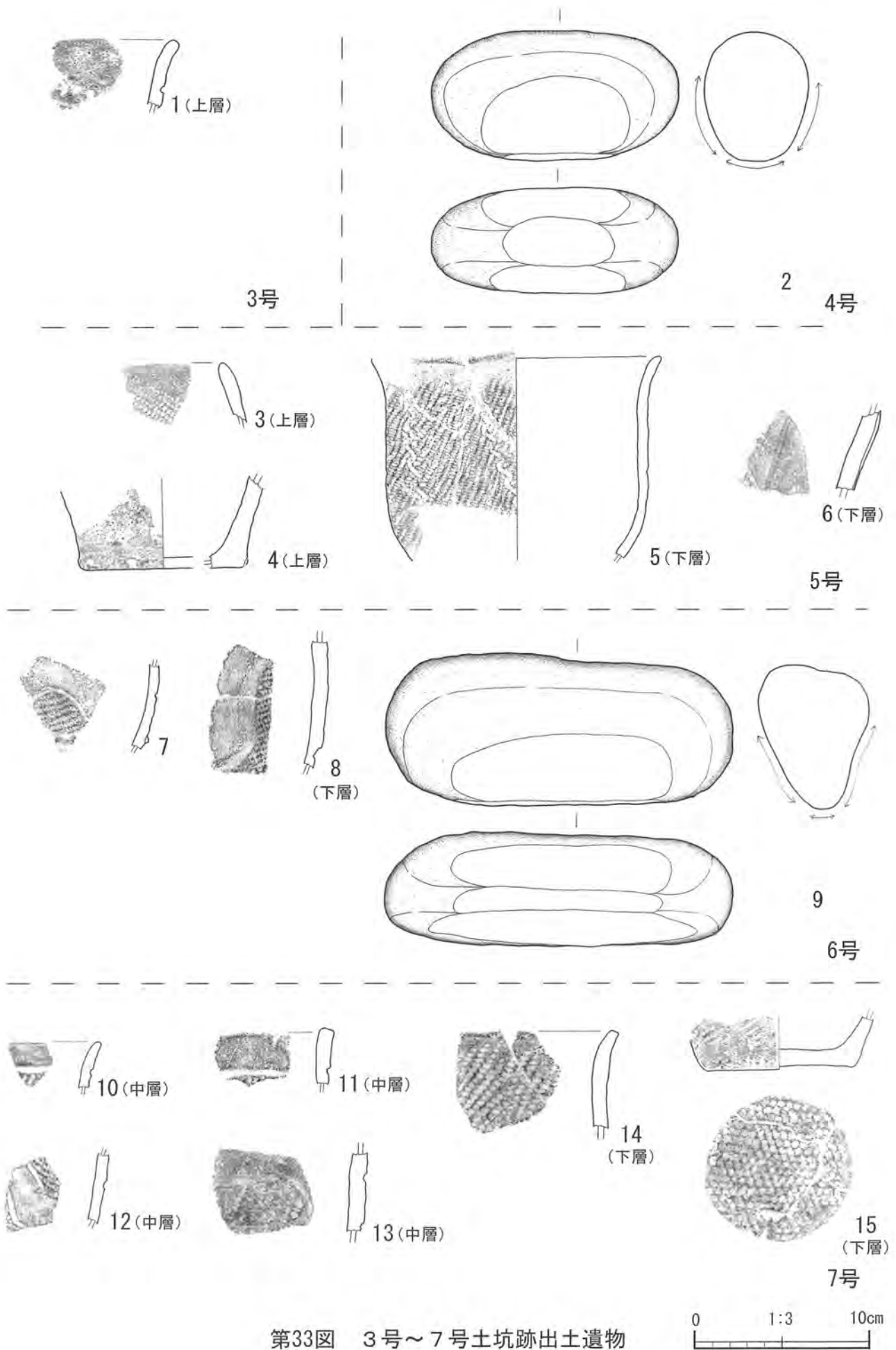
第30図 2号土坑跡出土遺物 (3) 最下層～床面



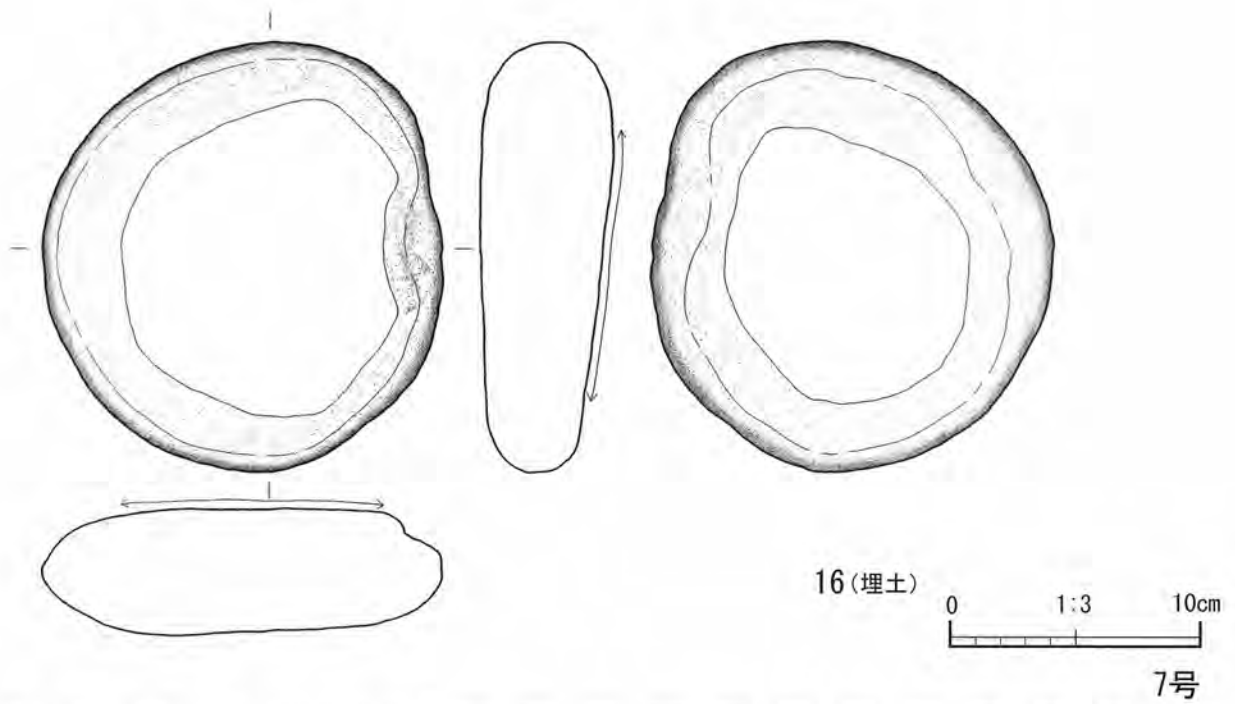
第31图 2号土坑迹出土遗物 (4) 石器1



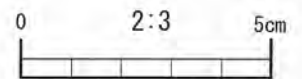
第32图 2号土坑迹出土遺物 (5) 石器 2



第33図 3号～7号土坑跡出土遺物



8号



第34图 7号、8号土坑跡出土遺物

9号土坑跡（第35、36図）

調査区の北側、東寄りに位置する。平面形は円形を呈し、口径2.1 m、深さ50 cmを測る。埋土は4層でC1層は真砂土である。

遺物は出土していない。

9号土坑跡の時期は不明である。

10号、11号土坑跡（第35、36図）

調査区の北側、9号土坑跡の南側に位置する。10号土坑跡は11号土坑跡を切る。

10号土坑跡

平面形は円形を呈し、口径1.6 m、深さ65 cmを測る。床面中央に小土坑が掘られる。埋土は4層で褐色土であるが、B層は真砂土を多く含んでいる。

遺物は出土していない。

10号土坑跡の詳細時期は不明である。

11号土坑跡

フラスコ状の土坑跡である。平面形は円形を呈し、口径1.3 m、底径1.5 m、深さ45 cmを測る。床面中央に小土坑が掘られ、そこを中心に溝で4分割されている。埋土は3層で褐色土である。

遺物は出土していない。

11号土坑跡の詳細時期は不明である。

12号土坑跡（第35、36図）

調査区の北側東寄り、10号土坑跡の南側に位置する。平面形は円形を呈し、口径1.8 m、深さ0.9 mを測る。埋土は2層で明褐色土～褐色土である。

出土遺物

縄文土器が3点出土しているが、図化できず時期は不明である。

12号土坑跡の詳細時期は不明である。

13号土坑跡（第35、36図）

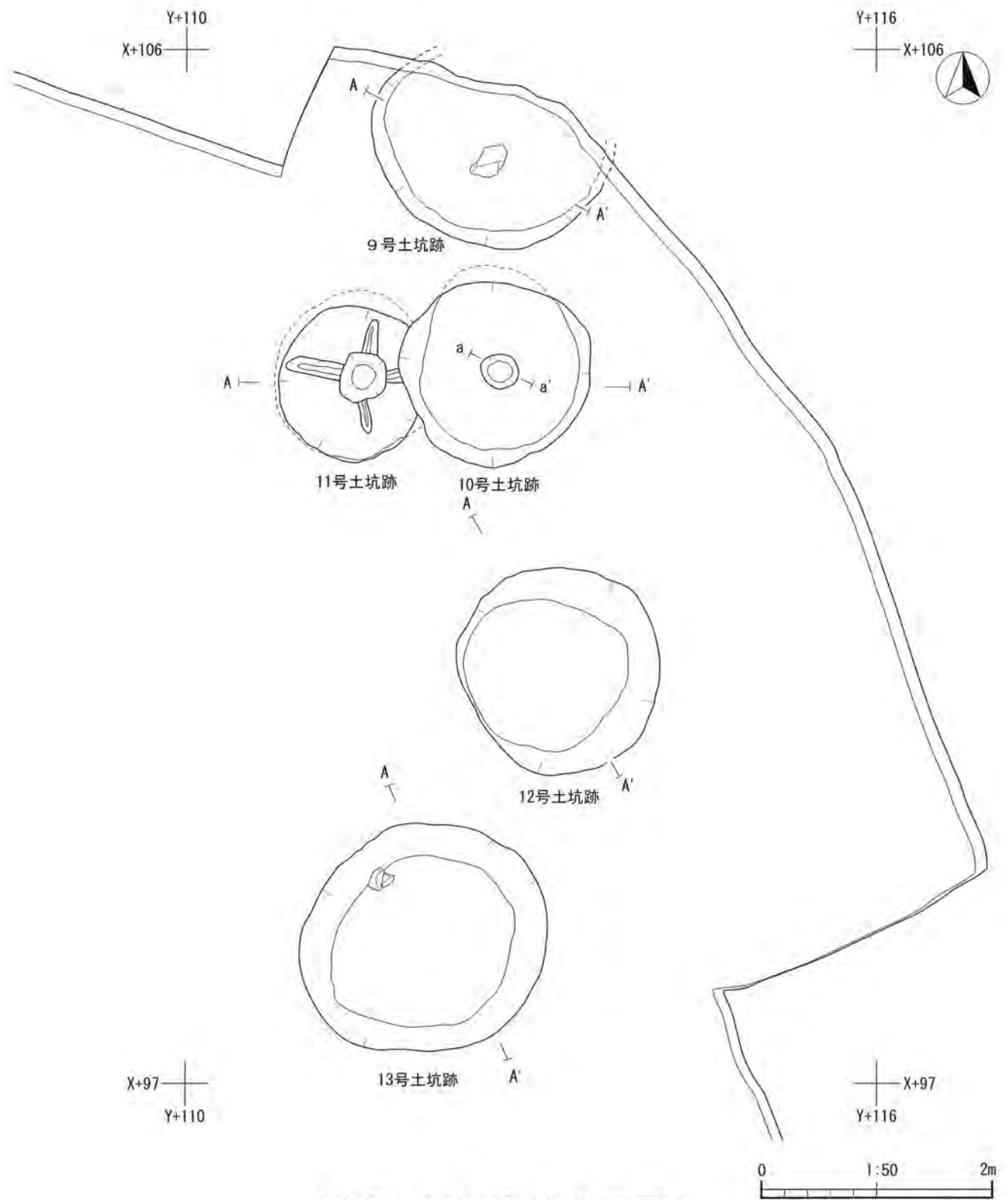
調査区の中央東寄り、12号土坑跡の南側に位置する。平面形は円形を呈し、口径2.0 m、深さ0.7 mを測る。埋土は2層でA層は明褐色土、B層は褐色土である。

出土遺物（第37図）

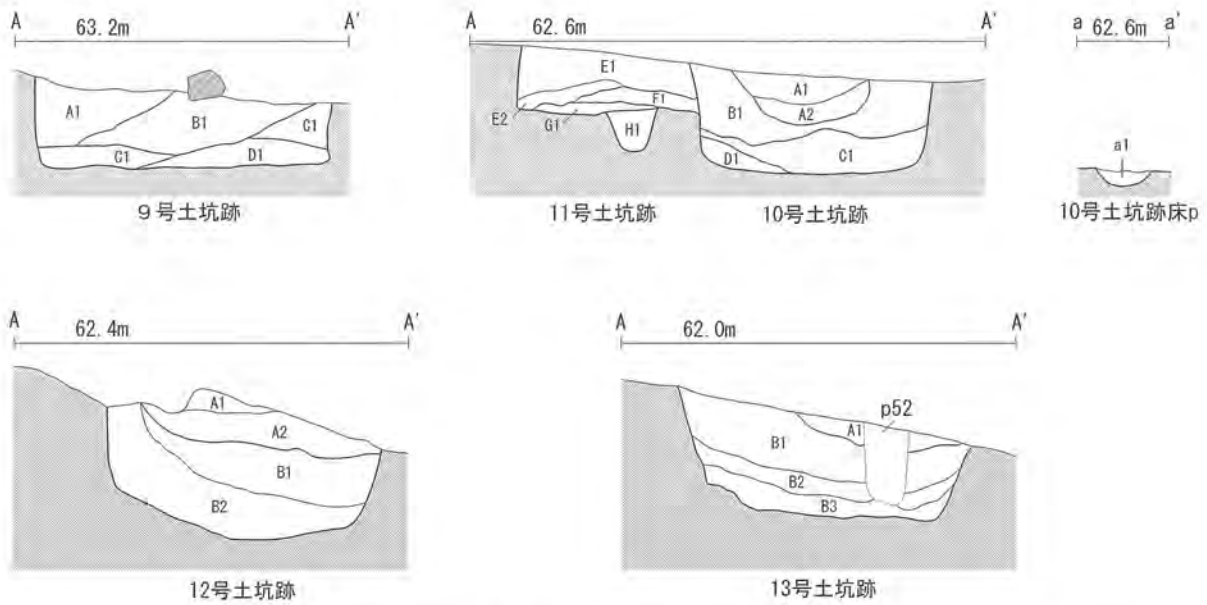
深鉢の体部片、底部が出土している。

1は粘土紐を垂直に貼付し、その下を環状、横位山形の沈線で飾る。大木7 b式に伴うか。2は結節縄文を縦に回転した体部片である。3は木目状撚糸文を施す。4は底部である。底面は無文である。

13号土坑跡は縄文時代中期に伴う。



第35图 9号~13号土坑迹平面图

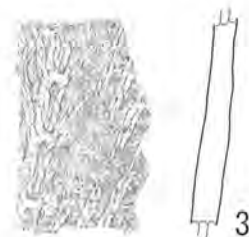


第36図 9号～13号土坑跡断面図

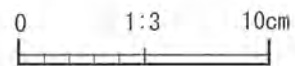
9号～13号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
9号土坑跡	A1 10YR6/6 砂壤土 真砂土	10YR5/6 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	B1 10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	
	C1 10YR6/6 砂壤土	10YR6/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	D1					注記なし
10, 11号土坑跡	A1 10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 15%	中	中	塊	
	A2 10YR5/4 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 15%	中	中	塊	
	B1 10YR4/3 砂壤土	10YR3/3 砂壤土 塊 15%	中～固	中	塊	
	C1 10YR5/4 砂壤土	10YR6/4 砂壤土 塊 15% 真砂土	中～固	中	塊	
	D1 10YR6/6 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	
	E1 10YR5/6 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 層状 5%	中～固	中	塊	
	E2 10YR5/6 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	
	F1 10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 層状 10%	中～固	中	塊	
	G1 10YR5/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	H1 10YR5/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	
10号土坑跡床P	a1 10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中～密	塊	
12号土坑跡	A1 10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	固	中	塊	
	A2 10YR5/4 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 2%	固	中	塊	
	B1 10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 2%	中～固	中～密	塊	
	B2 10YR4/3 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 2%	中～固	中	塊	炭微
13号土坑跡	A1 10YR3/3 砂壤土 やや粘あり	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	土器
	B1 10YR5/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 5%	固	中～密	塊	
	B2 10YR4/3 砂壤土	10YR4/6 砂壤土 塊 1%	中～固	中～密	塊	
	B3 10YR6/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	

上～中層



下層



第37図 13号土坑跡出土遺物

14号、15号土坑跡（第38、39図）

調査区の中央に位置する。14号土坑跡は15号土坑跡を切る。

14号土坑跡

平面形は不整円形を呈す。規模は、口径1.3m、深さ0.7mを測る。埋土は単層で少量の炭が混じる明褐色土である。

出土遺物（第40図1～4）

深鉢の口縁部、体部、礫石器が出土している。

1,2は共に撚糸文で施文した口縁部、体部である。3は沈線、磨消縄文を伴う体部片である。4は敲打磨石である。6面（A～F）の磨面をもつ。機能面Aの調整磨面はB、Cで、機能面Eの調整磨面はD、Fである。

14号土坑跡は縄文時代中期に伴う。

15号土坑跡（第38、39図）

平面形は不整円形を呈す。規模は、口径5.5m、深さ0.4mを測る。埋土は3層で褐色土である。

出土遺物（第40図5、6）

土器、石器が1点ずつ出土している。

5は縄文のみで施文された深鉢の口縁部である。

6は礫石器である。二面の磨面をもつ。敲打磨石か。

15号土坑跡の詳細時期は不明である。

16号土坑跡（第38、39図）

15号土坑跡の東側に位置する小土坑である。15号土坑跡に切られる。柱穴状の形状で、埋土には多くの礫が含まれていた。

出土遺物（第40図8）

8は埋土に含まれていた礫の一つである。敲打磨石である。機能面の両側に調整磨面をもつ。

16号土坑跡の詳細時期は不明である。

17号土坑跡（第38、39図）

調査区の中央、15号土坑跡の東側に位置する。平面形は円形を呈し、壁はやや内傾して立ち上がるフラスコ状の土坑跡である。床面は中央に小土坑があり、その土坑を中心に溝で3分割されている。規模は、口径2.0m、底径2.2m、深さ0.6mを測る。埋土は4層でB1層は真砂土である。

遺物は出土していない。

17号土坑跡の詳細時期は不明である。

18号、19号土坑跡（第38、39図）

調査区の中央東寄り、17号土坑跡の南東側に位置する。18号土坑跡は19号土坑跡を切る。

18号土坑跡

平面形は円形を呈す。規模は、口径1.6m、深さ0.2mを測る。埋土は単層で暗褐色土である。口径が広く、浅い土坑跡である。

遺物は出土していない。

18号土坑跡の詳細時期は不明である。

19号土坑跡

平面形は円形を呈す。床面の中心に小土坑をもつ。規模は、口径1.4 m、底径1.1 m、深さ0.5 mを測る。埋土は2層でにぶい黄褐色の砂壤土である。

遺物は出土していない。

19号土坑跡の時期は不明である。

20号、21号土坑跡（第38、39図）

調査区南東部、18号土坑跡の南側に位置する。

20号土坑跡と21号土坑跡はp 110号土坑跡に切られる。

20号土坑跡（第38、39図）

p 110号土坑跡に切られる。平面形は円形を呈す。床面の中心に小土坑をもつ。規模は、口径1.2 m、底径1.2 m、深さ0.6 mを測る。埋土は3層で砂壤土の暗褐色土～褐色土である。

出土遺物（第40図7）

縄文土器が4点出土しているが、図化できなかった。

7はフレイクである。

20号土坑跡の詳細時期は不明である。

21号土坑跡（第38、39図）

p 110号土坑跡に切られる。平面形は円形を呈す。床面の中心に小土坑をもつ。規模は、口径1.7 m、底径1.5 m、深さ0.2 mを測る。埋土は3層で褐色土である。

遺物は出土していない。

21号土坑跡の詳細時期は不明である。

22号土坑跡（第38、39図）

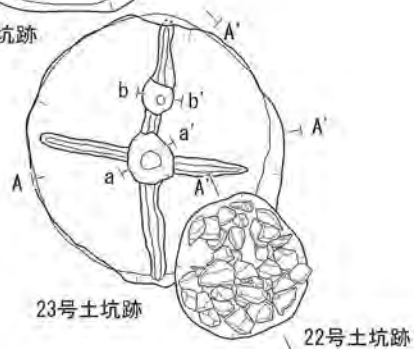
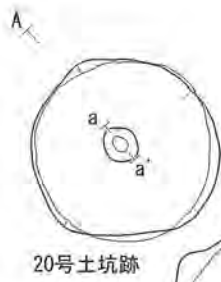
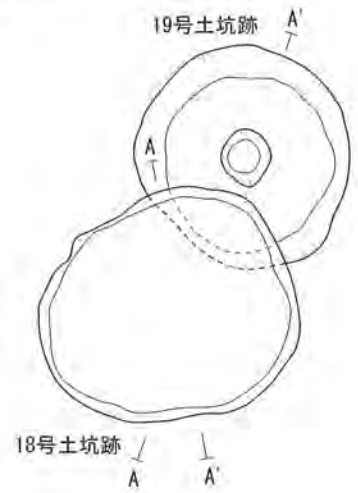
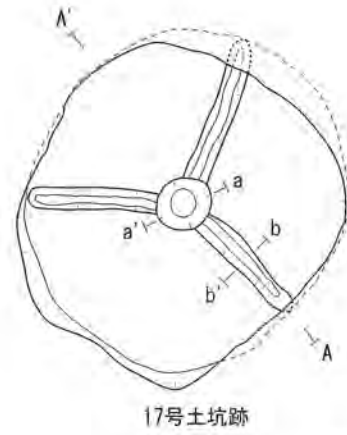
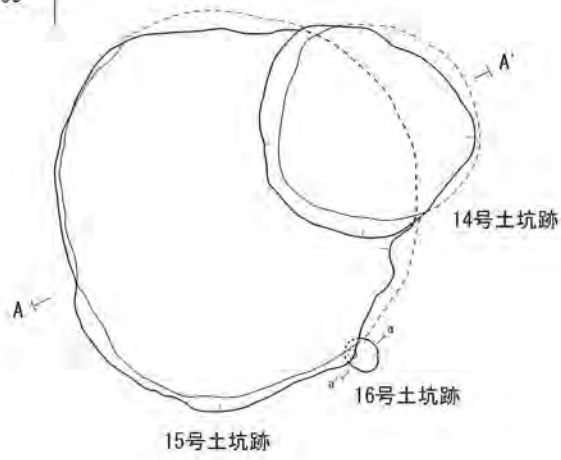
調査区南東部、21号土坑跡の南側に位置する。

23号土坑跡を切る。平面形は円形である。規模は径90 cm、深さ20 cmを測る。埋土は単層で、多量の礫が含まれる浅い土坑である。礫は意図的に埋められたものと思われるが、その性格は不明である。遺物は出土していない。

22号土坑跡の時期は不明である。

Y+102
X+100

Y+109
X+100

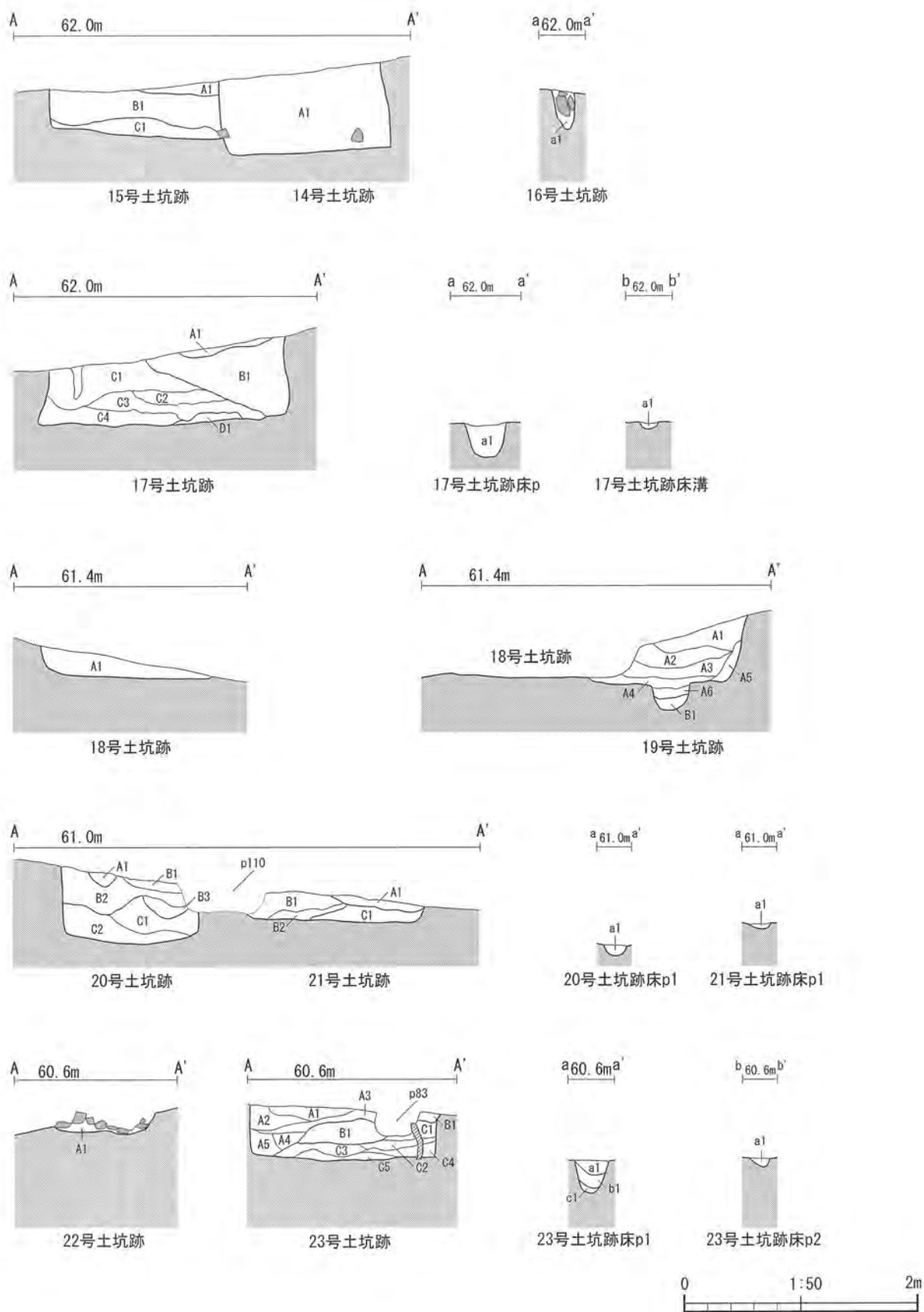


X+90
A'Y+102

X+90
Y+109

0 1:50 2m

第38图 14号~23号土坑迹平面图



第39图 14号~23号土坑迹断面图

23号土坑跡（第38、39図）

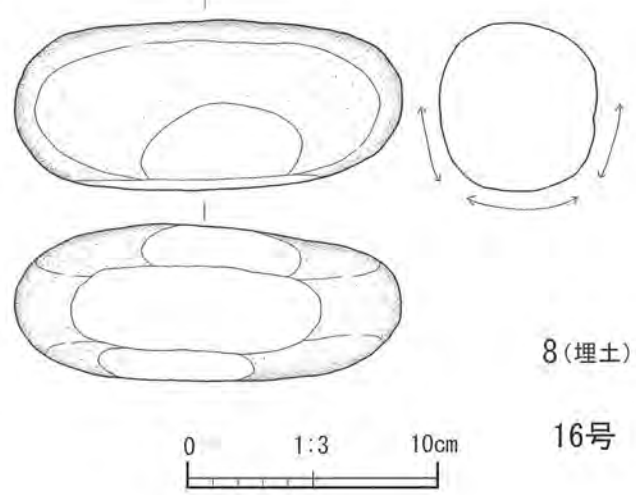
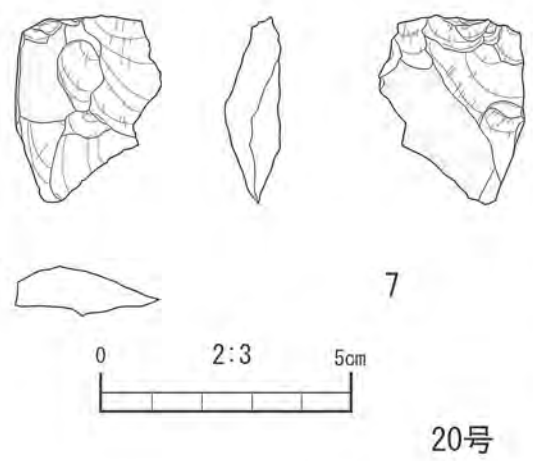
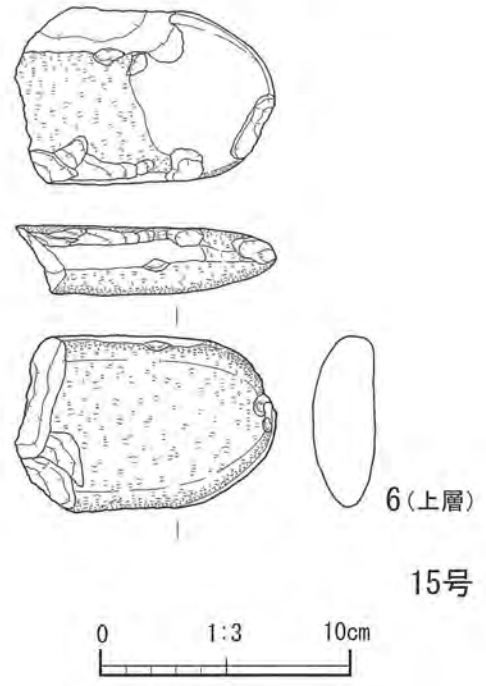
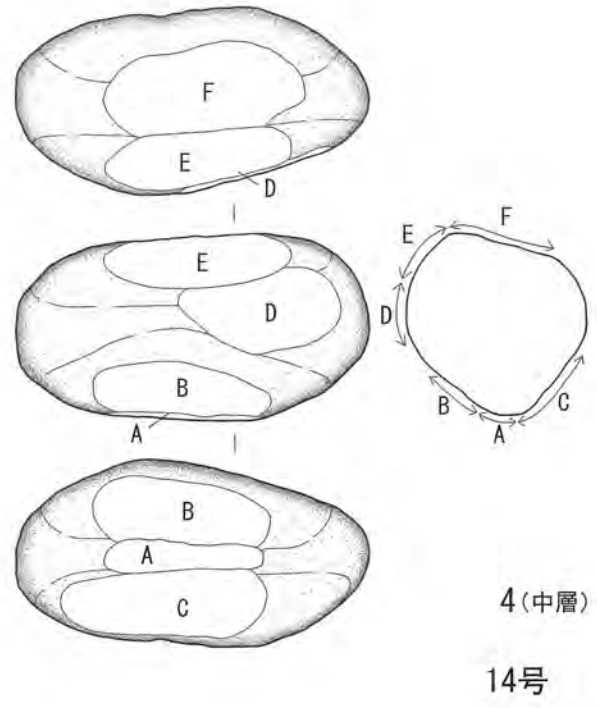
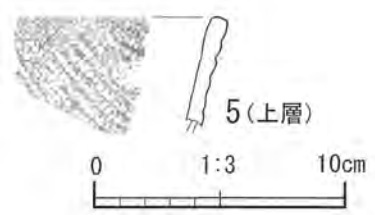
22号土坑跡に切られる。平面形は円形を呈し、壁はほぼ直に立ち上がる。床面は、中心と北側に2基の小土坑をもち、真ん中の小土坑を中心に溝で4分割される。規模は、口径1.7m、深さ45cmを測る。埋土は3層で砂壤土の黄褐色～暗褐色土である。

遺物は出土していない。

23号土坑跡の詳細時期は不明である。

14号～22号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
14号土坑跡	A1 10YR5/4 砂壤土	10YR6/4 砂壤土 塊 20%	中～固	中～密	塊	炭少
15号土坑跡	A1 10YR4/6 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	B1 10YR4/4 砂壤土 塊 10%	10YR6/4 真砂土 10%	中	中	塊	礫少
	C1 10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 真砂土 3%	固	密	塊	礫少
16号土坑跡	A1 10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中	中～密	塊	
17号土坑跡	A1 10YR5/4 砂壤土	10YR6/4 真砂土 5%	中	中～密	塊	
	B1 10YR6/4 真砂土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	C1 10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 1%	中～固	中～密	塊	
	C2 10YR4/4 砂壤土	10YR6/4 真砂土 3%	中～固	中～密	塊	
	C3 10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中～密	塊	
	C4 10YR4/4 砂壤土	10YR6/4 真砂土 5%	中～固	中	塊	
D1 10YR5/4 砂壤土	10YR6/4 真砂土 5%	中～固	中～密	塊		
17号土坑跡床P1	a1 10YR5/6 砂壤土 やや粘	10YR5/4 砂壤土 塊 3%	中～固	中～密	塊	
18号土坑跡	A1 10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
19号土坑跡	A1 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	A2 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	A3 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	A4 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 30% 塊状	ややあり	ややあり		やや灰色を呈する
	A5 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂粒小さい
	A6 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		やや暗い土色
B1 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり			
20号土坑跡	A1 10YR3/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	B1 10YR4/3 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	B2 10YR4/3 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	炭少
	B3 10YR4/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	C1 10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	炭少
	C2 10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中～密	塊	炭微
20号土坑跡床P1	a1 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		炭化物少量
21号土坑跡	A1 10YR4/6 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 10%	中	中～疎	塊	
	B1 10YR5/4 真砂土	10YR4/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
	B2 10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	C1 10YR4/6 砂壤土	10YR5/4 真砂土 5%	中～固	中	塊	
21号土坑跡床P1	a1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
22号土坑跡	A1 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
23号土坑跡	A2 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 30% 塊状	ややあり	ややあり		地山土ブロック少量
	A3 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		地山土ブロック多量
	A4 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	A5 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	B1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	C1 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		地山土ブロック少量
	C2 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	C3 10YR3/2 黒褐色砂壤土	10YR3/4 暗褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		
	C4 10YR4/6 褐色砂壤土	10YR6/6 明黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		地山土ブロック少量
	C5 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
23号土坑跡床P1	a1 10YR3/3 暗褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	b1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 30% 塊状	ややあり	ややあり		
c1 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり			



第40図 14号~20号土坑跡出土遺物

24号土坑跡（第41、42図）

調査区中央西寄りに位置する。平面形は不整形円形を呈し、壁は外傾気味に（一部内反する）立ち上がる。規模は、口径2.1m、底径1.9m、深さ0.4mを測る。埋土は3層で砂壤土の褐色土である。

出土遺物（第43図1、2）

縄文土器が2点出土している。

1は磨消縄文を伴う深鉢の体部片である。2は深鉢の口縁部である。口唇部に刺突列をめぐらし、口縁部を沈線で区画する。いずれも大木10式に伴う。

24号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

25号土坑跡（第41、42図）

調査区中央西寄り、24号土坑跡の南側に位置する。平面形は円形を呈し、壁は若干外反しながら立ち上がる。規模は、口径1.6m、底径1.4m、深さ0.5mを測る。床面中央、やや西寄りに小土坑をもつ。埋土は2層で砂壤土の褐色土である。

出土遺物（第43図3～9）

3、4は深鉢の口縁部である。いずれも山形口縁で、口縁部に隆帯をめぐらし、隆帯に縄文圧痕を施す。大木7b式に伴うものと思われる。5は磨消縄文を伴う体部片である。大木10式に伴う。6は底部である。底面に木葉痕を残す。

7、8は礫石器である。片面の周縁部と片面半分に剥離痕を残す。未成品と考えられる。8は敲打磨石である。機能面の両側に調整磨面をもつ。9は角型の軽石である。

25号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

26号土坑跡（第41、42図）

調査区南西部、25号土坑跡の南に位置する。平面形は円形を呈し、壁は若干外傾しながら立ち上がる。規模は口径2.3m、底径2.1m、深さ0.3mを測る。埋土は単層で褐色土である。

出土遺物（第43図10～12）

10は深鉢の口縁部である。沈線による区画と縄文充填で施文する。11は底部である。底面に木葉痕を残す。12は一括土器である。山形口縁で、口唇部の下に刺突列をめぐらす。刺突列は、日輪状の刺突文を挟む。体部にはC字状の充填縄文が施され、区画の先端、上部に隆線が貼付される。10、12は大木10式に伴う。

26号土坑跡は縄文時代中期末葉に伴う。

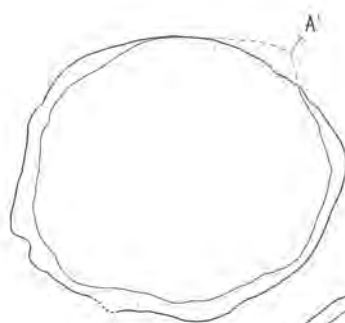
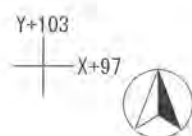
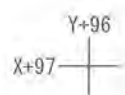
27号土坑跡（第41、42図）

調査区南西部、26号土坑跡の西側に位置する。平面形は南北やや長い隅丸方形に近く、壁は南と北側でやや大きく外傾して立ち上がる。規模は、南北2.0m、東西1.6m、深さ0.5mを測る。埋土は2層で砂壤土の黄褐色土である。

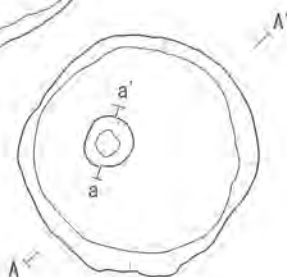
出土遺物（第43図13）

13は撚糸文を施した体部片である。

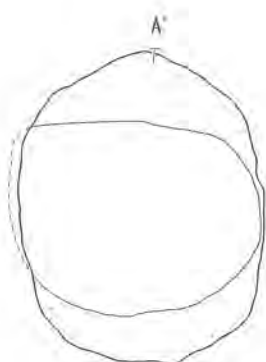
27号土坑跡の時期は不明である。



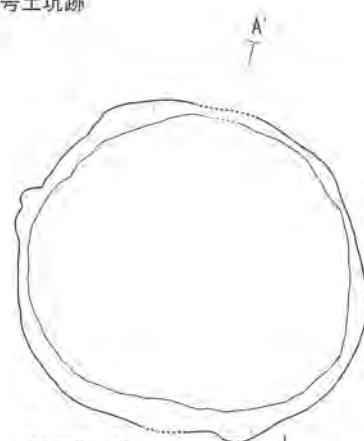
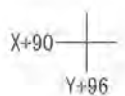
24号土坑迹



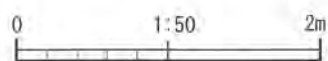
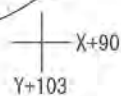
25号土坑迹



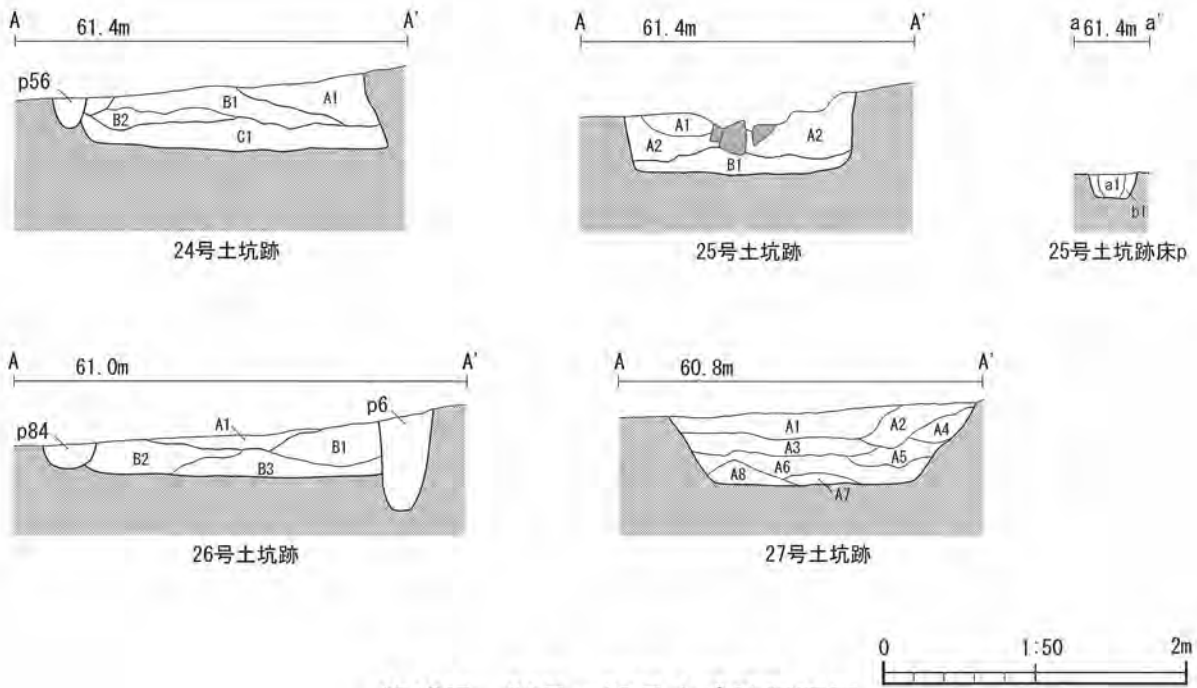
27号土坑迹



26号土坑迹



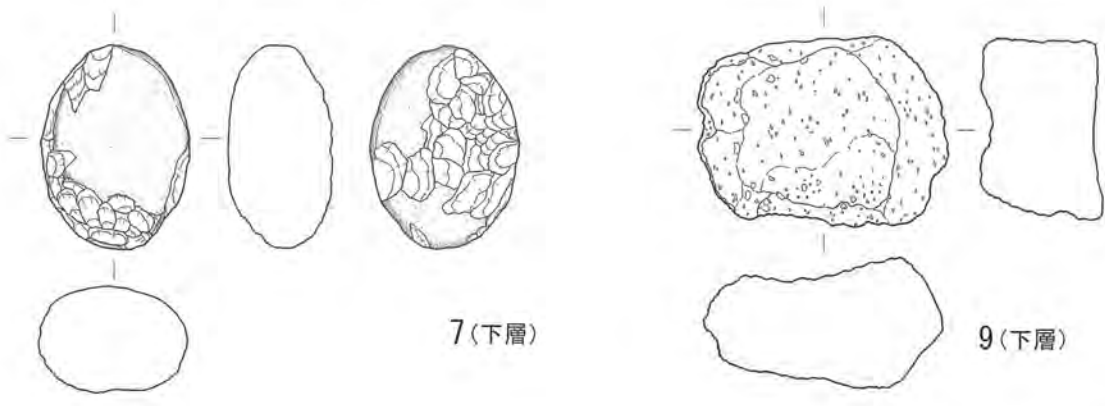
第41图 24号~27号土坑迹平面图



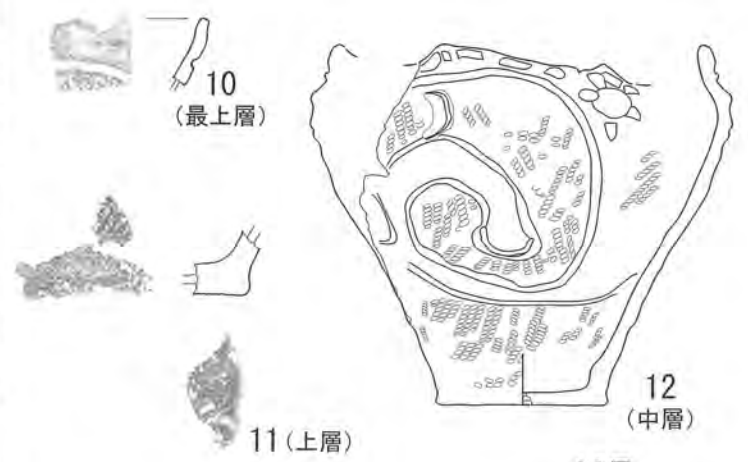
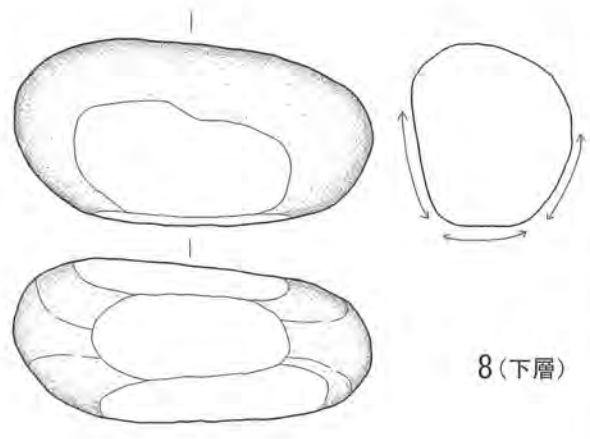
第42図 24号～27号土坑跡断面図

24号～27号土坑跡 土層注記表

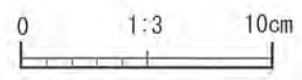
層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
24号土坑跡	A1 10YR4/4 砂壤土	10YR6/4 真砂土 10%	中～固	中	塊	
	B1 10YR4/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 5%	中～固	中	塊	
	B2 10YR4/4 砂壤土	10YR5/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	C1 10YR5/5 砂壤土	10YR5/4 真砂土 10%	中～固	中	塊	
25号土坑跡	A1 10YR5/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	A2 10YR5/4 砂壤土	10YR4/3 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
	B1 10YR4/3 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	炭少、土器
25号土坑跡床P	A1 10YR3/4 暗褐色砂壤土	10YR4/6 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		砂質
	B1 10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/6 黄褐色砂壤土 30% 塊状	ややあり	ややあり		
26号土坑跡	A1 10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%				
	B1 10YR4/4 砂壤土 塊	10YR3/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	B2 10YR3/4 砂壤土	10YR4/4 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	
	B3 10YR4/4 砂壤土	10YR3/4 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	
27号土坑跡	A1 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		
	A2 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/4 褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	A3 10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 30% 塊状	ややあり	ややあり		
	A4 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土 20% 塊状	ややあり	ややあり		地山ブロック含まれる
	A5 10YR6/6 明黄褐色砂壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		
	A6 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		地山ブロック少量
	A7 10YR6/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR6/3 にぶい黄褐色砂壤土 10% 塊状	ややあり	ややあり		地山ブロック含まれる
	A8 10YR5/4 にぶい黄褐色砂壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂壤土 5% 塊状	ややあり	ややあり		地山ブロックなし



25号



26号



第43图 24号~27号土坑跡出土遺物

28号土坑跡

29号土坑跡を切る。平面形は不整形円形を呈し、壁はほぼ直に立ち上がる。規模は、口径2.0 m×2.3 m、底径1.9 m×2.2 m、深さ0.3 mを測る。埋土は3層で褐色土の混じる黄褐色土である。

遺物は出土していない。

28号土坑跡の時期は不明である。

29号土坑跡（第44、45図）

調査区南西部に位置する。27号土坑跡の西側に位置する。28号土坑跡に切られる。平面形は円形を呈し、壁がやや内傾して立ち上がるフラスコ状の土坑跡である。床面の周辺部で大礫を検出している。規模は、口径1.2 m、底径1.4 m、深さ0.6 mを測る。埋土は3層で砂壤土の黄褐色土である。

出土遺物（第46図1～6）

1～6は深鉢の口縁部、体部である。

1、2は山形口縁である。1は波頂部に二個一対の円形刺突を施している。幾何学状の磨消縄文で施文している。文様には、円、方形、三角など他に不定形な区画文が使われる。施文は口縁部、体部に区切られている。3～6は1、2と同様に磨消縄文を施文した体部片である。

29号土坑跡は縄文時代後期前葉に伴う。

30号、31号土坑跡（第44、45図）

調査区南西部に位置する。29号土坑跡の南側である。

30号土坑跡

31号土坑跡を切る。平面形は不整形円形を呈し、壁は西側を除き、ほぼ直に立ち上がる。規模は、口径1.3 m、底径1.3 m、深さ0.6 mを測る。埋土は3層で褐色土まじりの黄褐色土である。

出土遺物（第46図7）

7は沈線と縄文で施文された体部片である。

30号土坑跡は縄文時代中期に伴う。

31号土坑跡

30号土坑跡に切られる。平面形は不整形円形を呈するフラスコ状の土坑跡である。規模は、口径1.8 m、底径2.1 m、深さ0.8 mを測る。埋土は4層で褐色土の混じる黄褐色土である。

遺物は3点の縄文土器が出土しているが、図化できるものはなかった。

31号土坑跡の詳細時期は不明である。

32号土坑跡（第44、45図）

調査区南西部、28号土坑跡の南側に位置する。平面形は円形を呈し、壁はほぼ直に立ち上がる。規模は、口径1.7 m、底1.7 m、深さ0.45 mを測る。埋土は3層で褐色土の混じる黄褐色土である。

出土遺物（第46図8～12、第47図）

8は沈線による区画文で施文された深鉢の体部片である。9、10は沈線による区画文で施文された深鉢の口縁部である。11は口縁部を肥厚させ、口縁部に縄文帯を施している。12、13は磨消縄文を施文した口縁部、体部である。8～10、12～14は縄文時代後期前葉に伴う。

15は剥片石器である。方形で厚みをもち、全面に剥離調整を施す。

16 は礫石器である。敲打磨石である。機能面の両側に調整磨面をもつ。

32 号土坑跡は縄文時代後期前葉に伴う。

33 号土坑跡（第 44、45 図）

調査区南西部、31 号土坑跡の南側に位置する。平面形は円形を呈し、壁はほぼ垂直に立ち上がる。床面は中心に小土坑をもつ。規模は、口径 1.3 m、底径 1.2 m、深さ 0.9 m を測る。埋土は 3 層で黄褐色土である。

遺物は出土していない。

33 号土坑跡の詳細時期は不明である。

34 号土坑跡（第 44、45 図）

調査区南西部の隅に位置する。平面形は円形を呈し、壁はわずかに内傾しながら立ち上がるフラスコ状の土坑跡である。規模は、口径 1.8 m、底径 1.9 m、0.5 m を測る。埋土は 10 層で褐色土の混じる黄褐色土である。

遺物は、土器の口縁部が出土している。無文であるが、縄文土器と思われる。

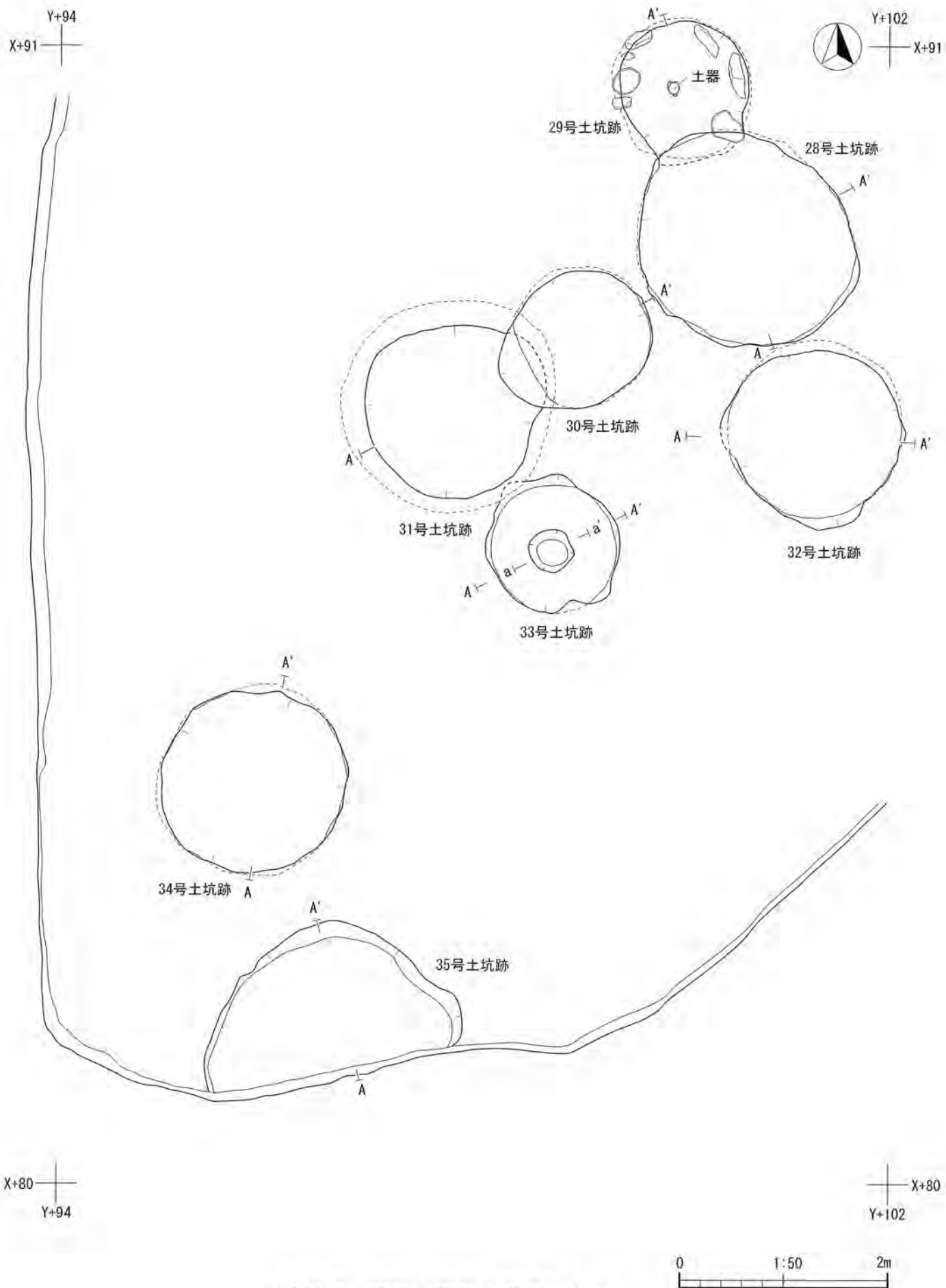
34 号土坑跡の時期は不明である。

35 号土坑跡（第 44、45 図）

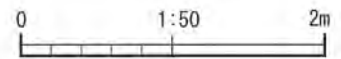
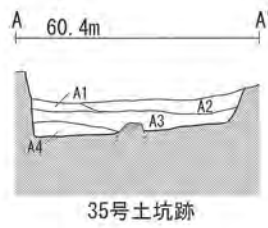
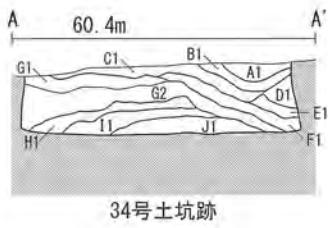
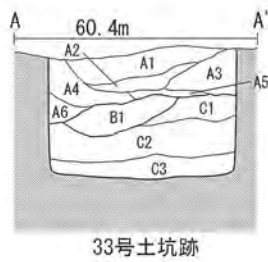
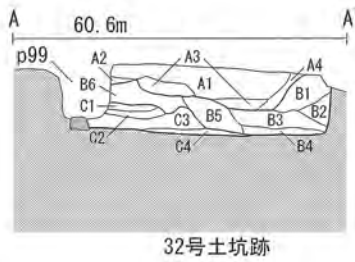
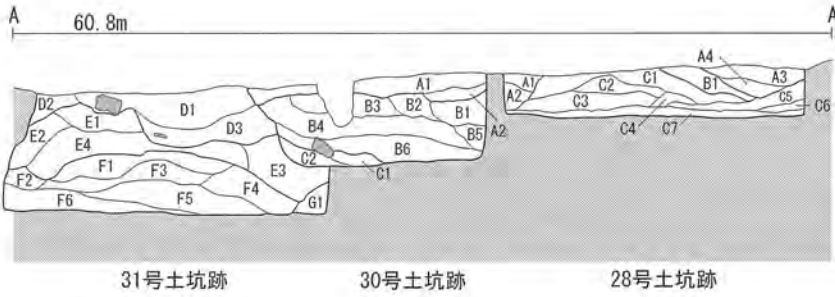
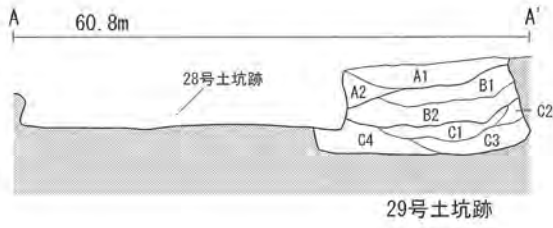
調査区南西部の端に位置する。平面形は不整形円形を呈すものと思われる。壁は外傾して立ち上がる浅い土坑跡である。口径 2.0 m、深さ 0.2 m を測る。埋土は単層で黄褐色土と褐色土が混じる。

遺物は縄文土器片が 5 点出土しているが図化できなかった。

35 号土坑跡の詳細時期は不明である。



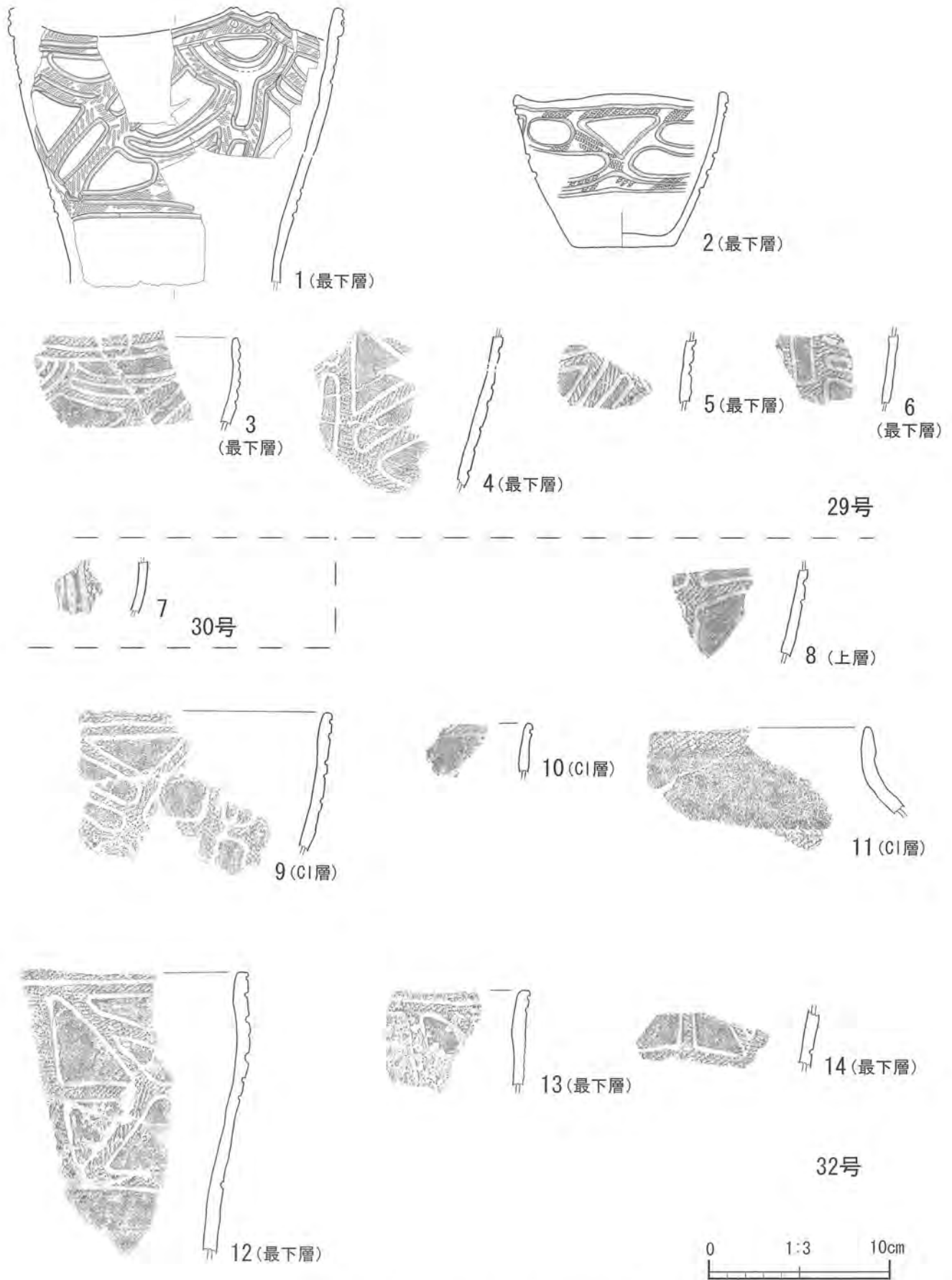
第44图 28号~35号土坑迹平面图



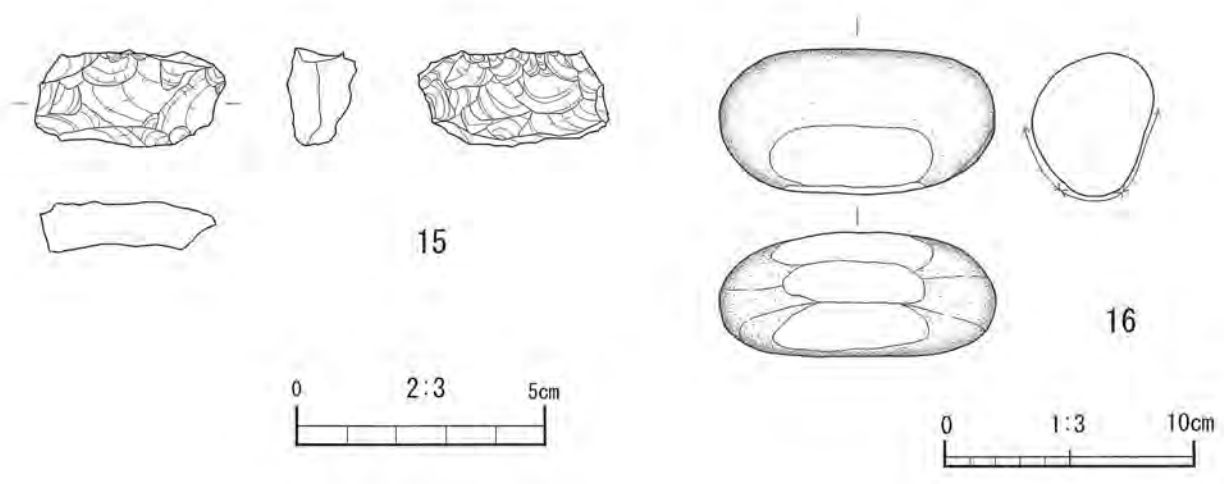
第45图 28号~35号土坑迹断面图

28号～35号土坑跡 土層注記表

層名	基本土	混入土	固さ	密度	混入物など	
28号土坑跡	A1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック
	A2	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	白っぽい
	A3	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/6 黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	白っぽい
	A4	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	B1	10YR4/4 褐色砂土	10YR3/3 暗褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	C1	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	C2	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	C3	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/6 黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	
29号土坑跡	C4	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック
	C5	10YR7/6 明黄褐色砂土	10YR7/8 黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	白っぽい、地山土ブロック
	C6	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR7/6 明黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	白っぽい、地山土ブロック
	C7	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR7/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	白っぽい、地山土ブロック多量
	C8	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	A1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/4 褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	A2	10YR4/4 褐色砂土	10YR5/6 黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	B1	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
30号土坑跡	B2	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	C1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	
	C2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	
	C3	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	C4	10YR4/4 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 40%塊状	ややあり	ややあり	炭化物微量
	A1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	A2	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック少量
	B1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
31号土坑跡	B2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック少量
	B3	10YR7/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
	B4	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	B5	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	炭化物少量
	B6	10YR5/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	B5層よりも黒色を呈する、炭化物多量
	C1	10YR7/6 明黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
	C2	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	D1	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	礫あり
32号土坑跡	D2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/4 褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック
	D3	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	
	E1	10YR4/6 褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	E2	10YR4/6 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	砂質
	E3	10YR5/8 黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	やや酸化
	E4	10YR4/6 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	砂質
	F1	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	F2	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR4/4 褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	
33号土坑跡	F3	10YR7/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	F4	10YR7/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	酸化している
	F5	10YR3/4 暗褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	F6	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	G1	10YR4/4 褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	炭化物少量
	A1	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック
	A2	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	A3	10YR5/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	炭化物微量
34号土坑跡	A4	10YR7/6 明黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック
	B1	10YR7/4 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 40%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
	B2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	B3	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	炭化物多量含まれる、サンプル炭層あり
	B4	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/3 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	炭化物少量含まれる
	B5	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	炭化物微量
	B6	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック少量
	C1	10YR3/3 暗褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	炭化物多量 (炭層)
35号土坑跡	C2	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック少量
	C3	10YR3/2 黒褐色砂土	10YR4/3 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	炭化物多量、炭層サンプルあり
	C4	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	A1	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	A2	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック少量
	A3	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR7/6 明黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
	A4	10YR5/8 黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	A5	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
33号土坑跡床P1	A6	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR4/6 褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	ややBI層よりも赤色を呈する
	B1	10YR4/4 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	C1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量
	C2	10YR5/3 にぶい黄褐色砂土	10YR5/6 黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	C3	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	a1	10YR4/4 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	b1	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/6 黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	A1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	
34号土坑跡	B1	10YR4/4 褐色砂土	10YR4/6 褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	A1層よりもやや明るい土色
	C1	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	やや白っぽい
	D1	10YR4/6 褐色砂土	10YR6/4 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	
	E1	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR5/6 黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	
	F1	10YR4/6 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	G1	10YR6/6 明黄褐色砂土	10YR7/4 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	白っぽい
	G2	10YR6/8 明黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多い
	H1	10YR4/4 褐色砂土	10YR4/6 褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
35号土坑跡	I1	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 5%塊状	ややあり	ややあり	
	J1	10YR4/6 褐色砂土	10YR4/4 褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
	A1	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR6/6 明黄褐色砂土 20%塊状	ややあり	ややあり	地山土に近い
	A2	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土	10YR4/4 褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり	
A3	10YR5/6 黄褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 30%塊状	ややあり	ややあり	地山土ブロック多量	
A4	10YR4/4 褐色砂土	10YR5/4 にぶい黄褐色砂土 10%塊状	ややあり	ややあり		



第46图 29号~32号土坑跡出土遺物



第47图 32号土坑迹出土遺物

3-3 遺構外出土遺物

調査区東側の傾斜地に堆積する遺物包含層に含まれる遺物をまとめたものである(第48、49図)。

土器(第50～56図)

I層 土器(第50～54図)

1～50は弥生の土器である。

1～3は壺である。1は口縁部である。表裏に平行沈線をめぐらす。2は肩～体部である。2は無文の体部である。3は肩部である。沈線間に連続刺突が入る。

4～32は浅鉢である。4は変形工字文で施文され、2点の貼り瘤が工字文を結ぶ。5は底部に縄文が施される。6～19は同施文の口縁部である。20、21は山形口縁で、頂部に抉りが入る。22～27は変形工字文で施文された体部片である。28～31は平行沈線と縄文を伴う体部片である。32は変形工字文と連続刺突列を伴う。33は口唇部に刻みが入り、口唇部に山形沈線を平行させる。

34～39は高坏の脚である。34は平行、斜行沈線で飾る。36～39は平行沈線で施文する。

40～42は精製土器の底部である。

43～50は甕である。43～49は口縁部に無文帯を設ける。50は口唇部に刻み列が入り、口縁部を平行、斜行沈線で飾る。

51～54は縄文時代後期に伴う。

51は山形の口縁部である。口縁部を横位の平行沈線がかざる。52は深鉢の口縁部である。口縁部に突起をもつ。頸部の貼り瘤を中心に沈線でX字状に区画し、沈線文で埋める。53、54は沈線文を施された体部片である。

55～89は縄文時代中期に伴う。

55～61は深鉢の口縁部である。55～59は口縁部に刺突列をめぐらす。62は頸部の橋状把手である。63～84は磨消縄文で施文した体部片である。以上大木10式に相当する。

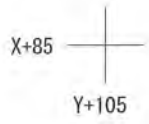
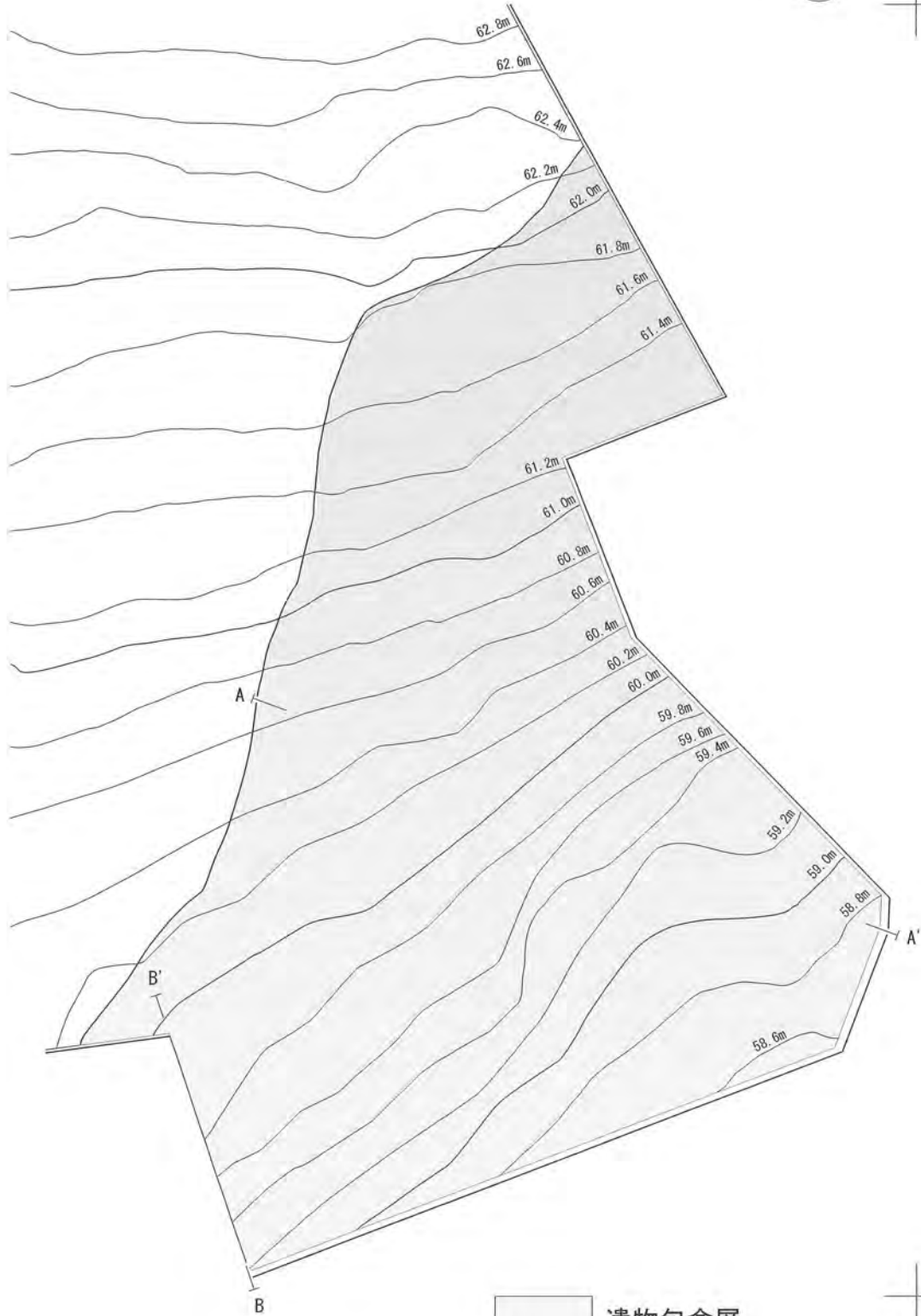
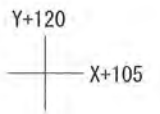
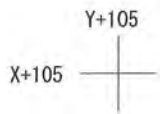
85は深鉢である。沈線でU字、逆さU字形の区画を設け、縄文を充填する。大木9式に伴う。

86～89は隆沈線で施文される。大木8b式に伴う。

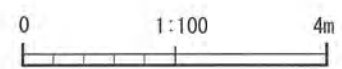
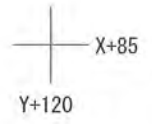
90は肥厚する口縁部である。隆帯に刺突が施される。大木7b式に伴うものと思われる。

91～102は時期を特定できない土器である。

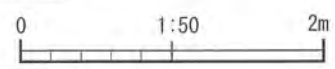
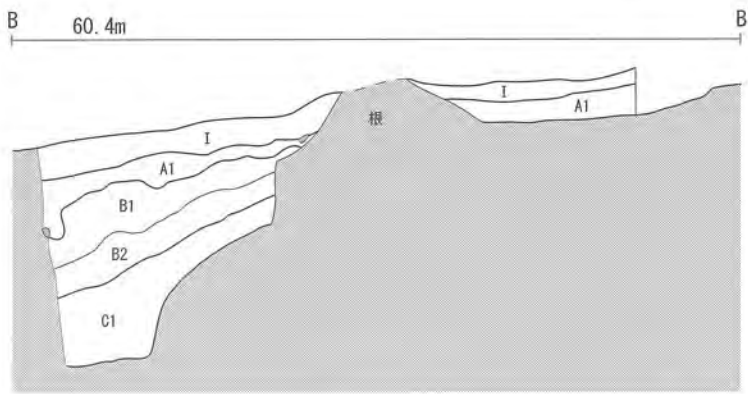
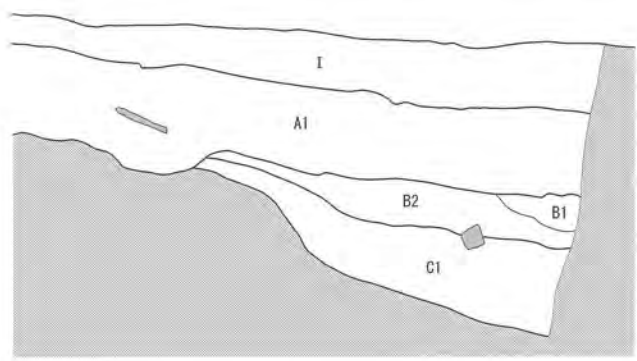
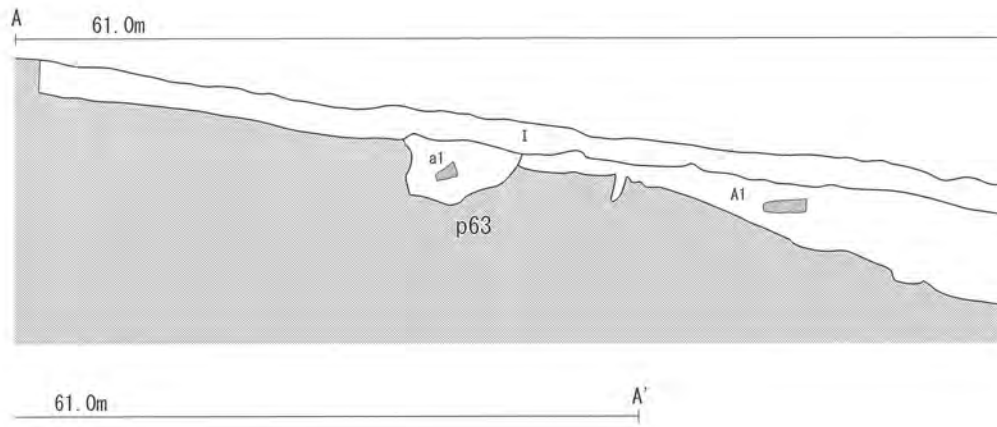
91～99は深鉢の口縁部である。100～102は底部である。100は底面に網代痕、102は底面に木葉痕を残す。



遺物包含層



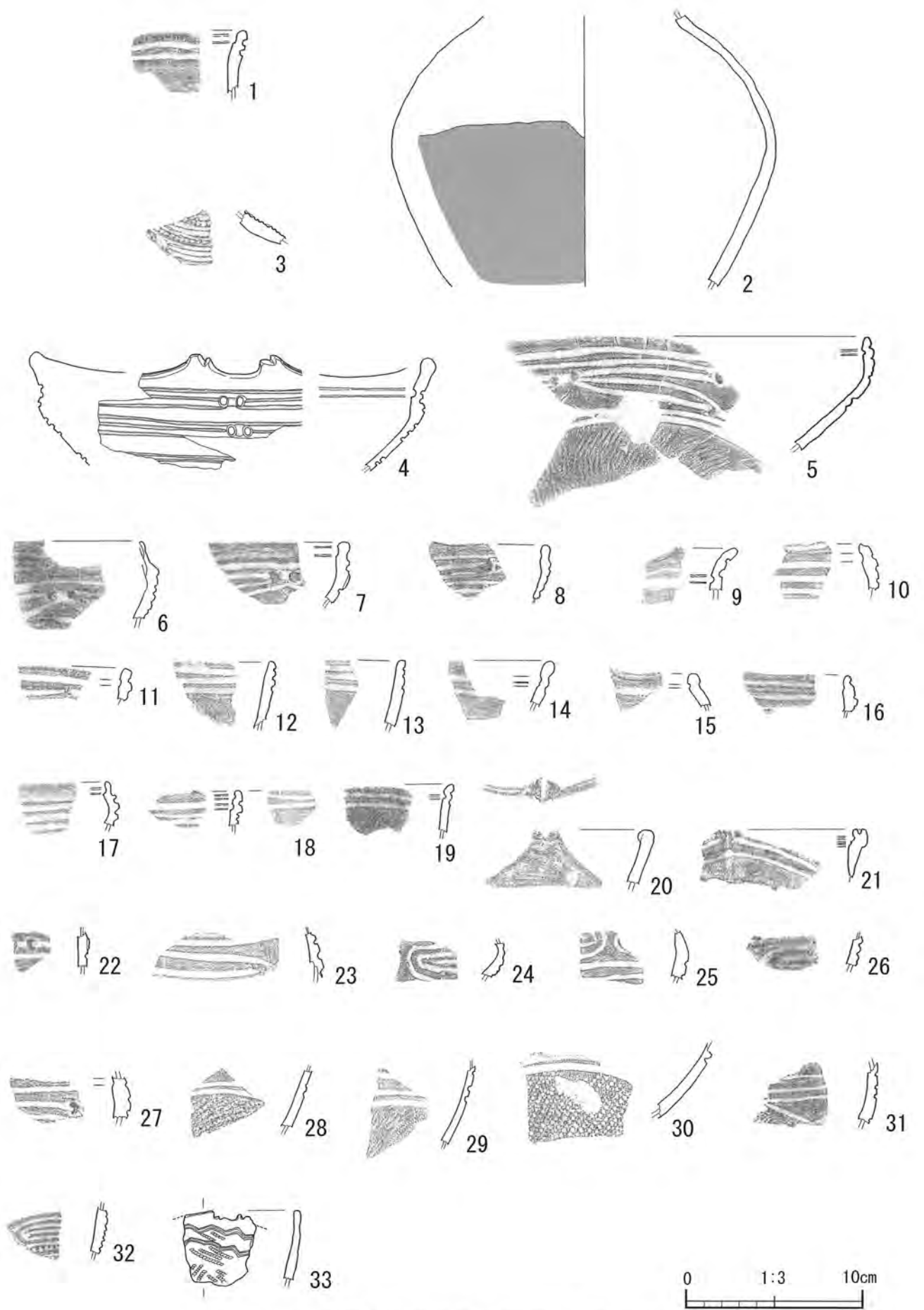
第48図 東包含層の範囲



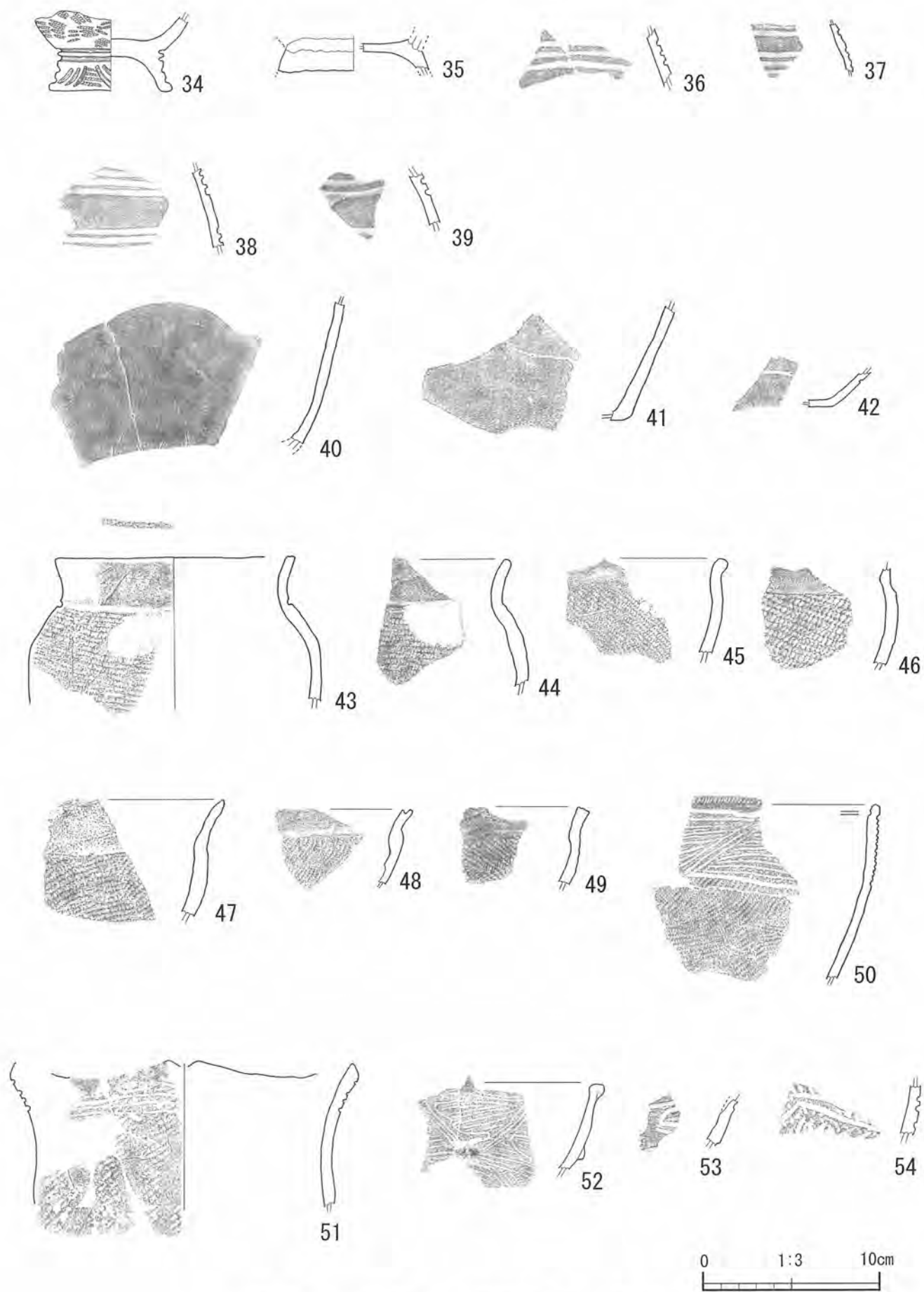
第49図 東包含層断面図

東包含層 土層注記表

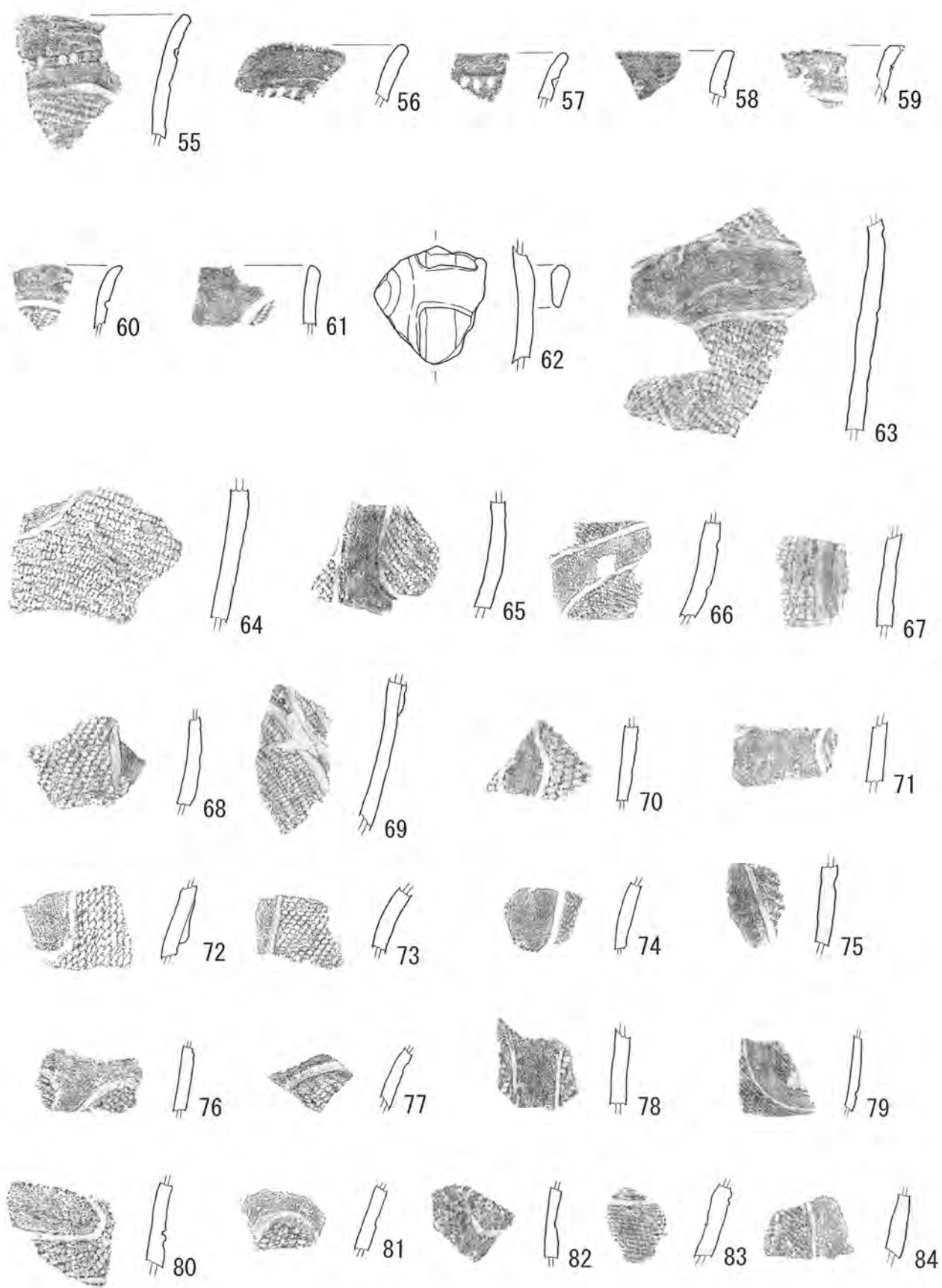
層名	基本土	混入土	固さ	密度	構造	混入物など
I	10YR4/2 砂壤土	10YR3/2 砂壤土 塊 10%	中	中	塊	炭少
A1	10YR2/1 砂壤土 粘なし	10YR4/2 砂壤土 塊 3%	中	中	塊	炭少、土器多
B1	10YR2/1 砂壤土	10YR4/2 砂壤土 塊 20% 10YR3/3 砂壤土 塊 10%	中～固	中	塊	土器、炭少
B2	10YR4/2 砂壤土	10YR2/1 砂壤土 塊 5%	中～固	中～密	塊	土器、炭多
C1	10YR2/2 砂壤土 やや粘あり	10YR3/2 砂壤土 塊 5%	中～固	中～密	塊	土器、炭多



第50図 東包含層出土遺物A1層 土器 (1)

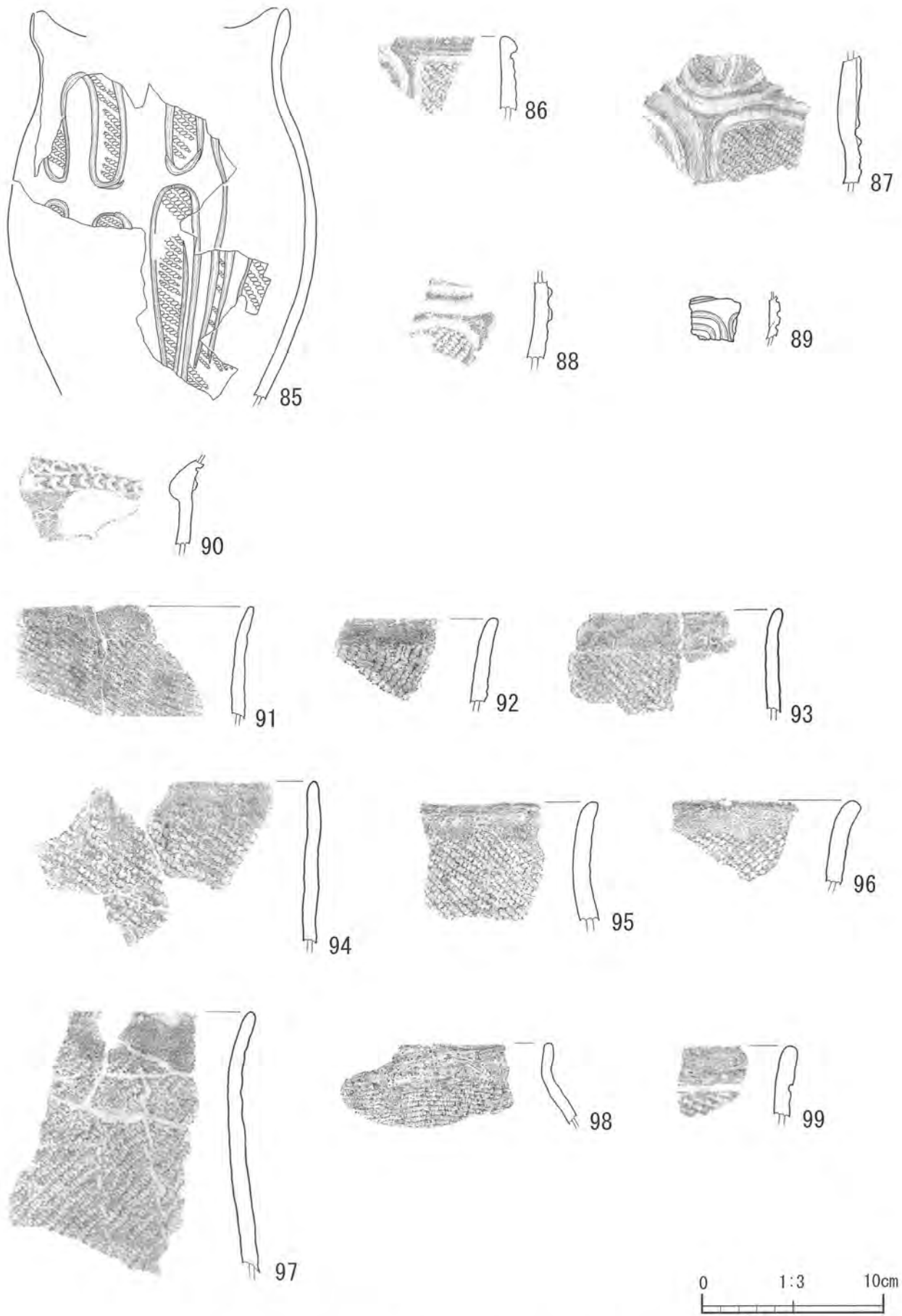


第51図 東包含層出土遺物A1層 土器 (2)

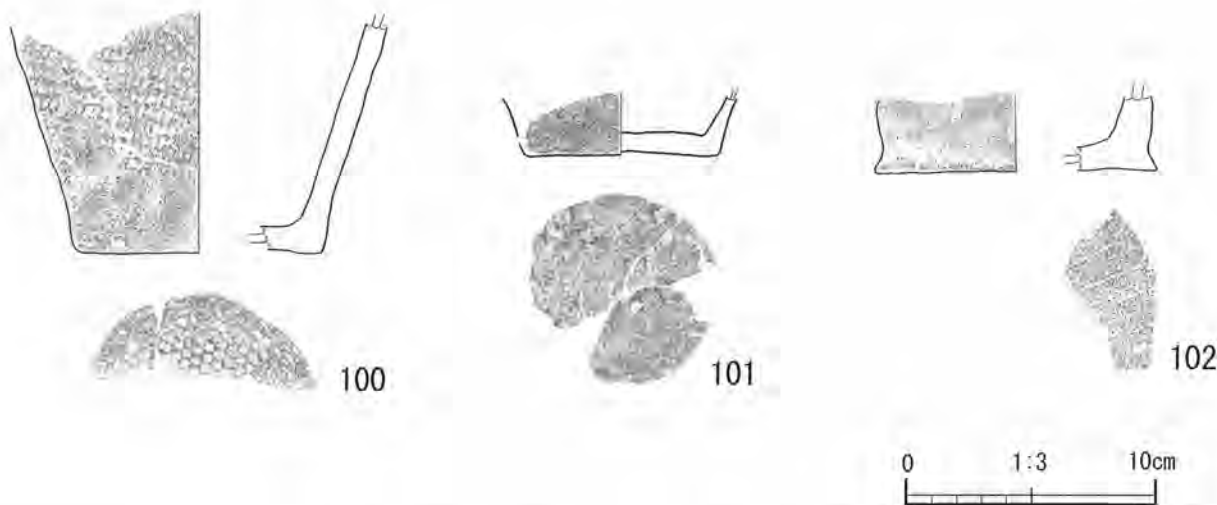


第52図 東包含層出土遺物A1層 土器 (3)

0 1:3 10cm



第53図 東包含層出土遺物A1層 土器 (4)



第54図 東包含層出土遺物A1層 土器 (5)

B 1 層 (第 55 図)

1～11は弥生土器である。1は変形工字文で施文され、貼瘤をもつ浅鉢の口縁部である。2～5は平行沈線で施文された浅鉢の口縁部である。6、7は山形の口縁部である。6は口縁部は無文、肩部から縄文が入る。7は頂部に抉りが入り、無文である。11は高坏の脚部である。いずれも沈線で施文される。以上弥生式に伴う。12は沈線で施文される深鉢の口縁部である。13は刺突列と沈線で施文する体部片である。大木 8b 式に伴う。

14は山形口縁の深鉢である。口縁部、頸部に粘土紐を貼り付け、刺突列を施す。大木 7 b 式に伴うものと思われる。15は撚糸文で施文された深鉢の口縁部である。頸部に貼付された隆帯の剥離痕を残す。16は底部である。底部、底面は無文である。

B 2 層 (第 55、56 図)

17、18は口縁部に無文帯を設けた甕である。弥生式土器である。

19、20は深鉢の口縁部、底部である。時期は不明である。

24～26は沈線による区画文、磨消縄文で施文された体部片である。大木 10 式に伴う。

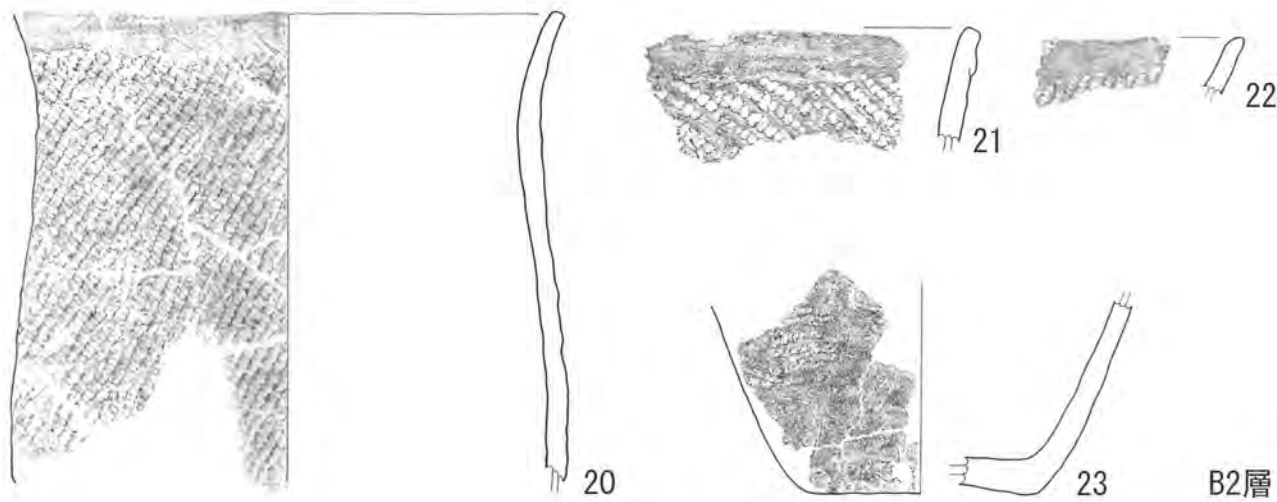
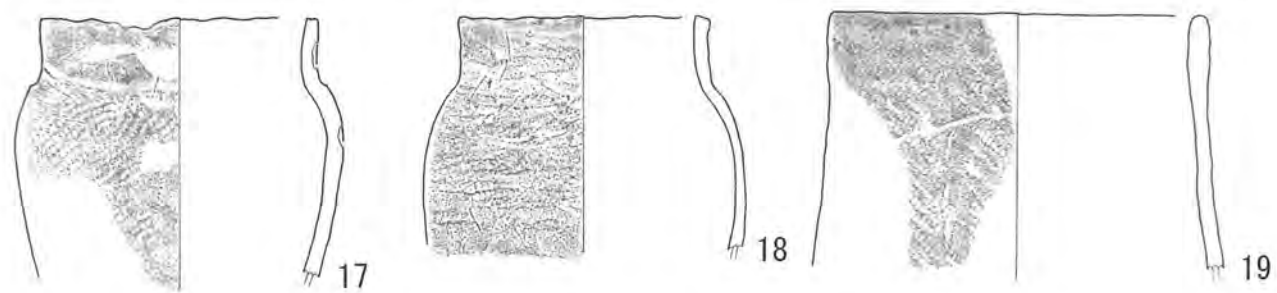
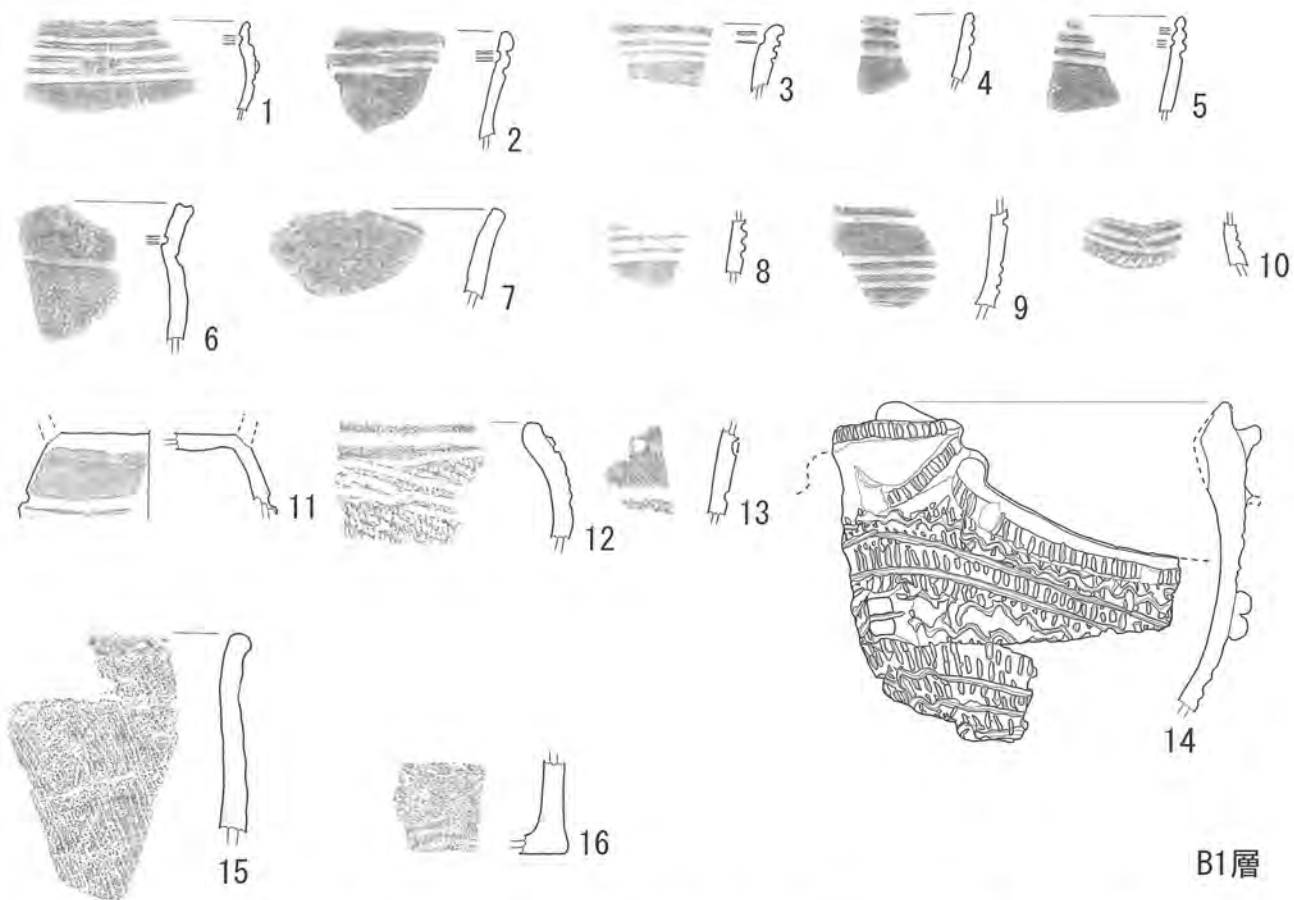
C 1 層 土器 (第 56 図)

27は沈線と貼り瘤で施文された口縁部である。28は沈線で施文された高坏の脚部である。以上弥生式に伴う

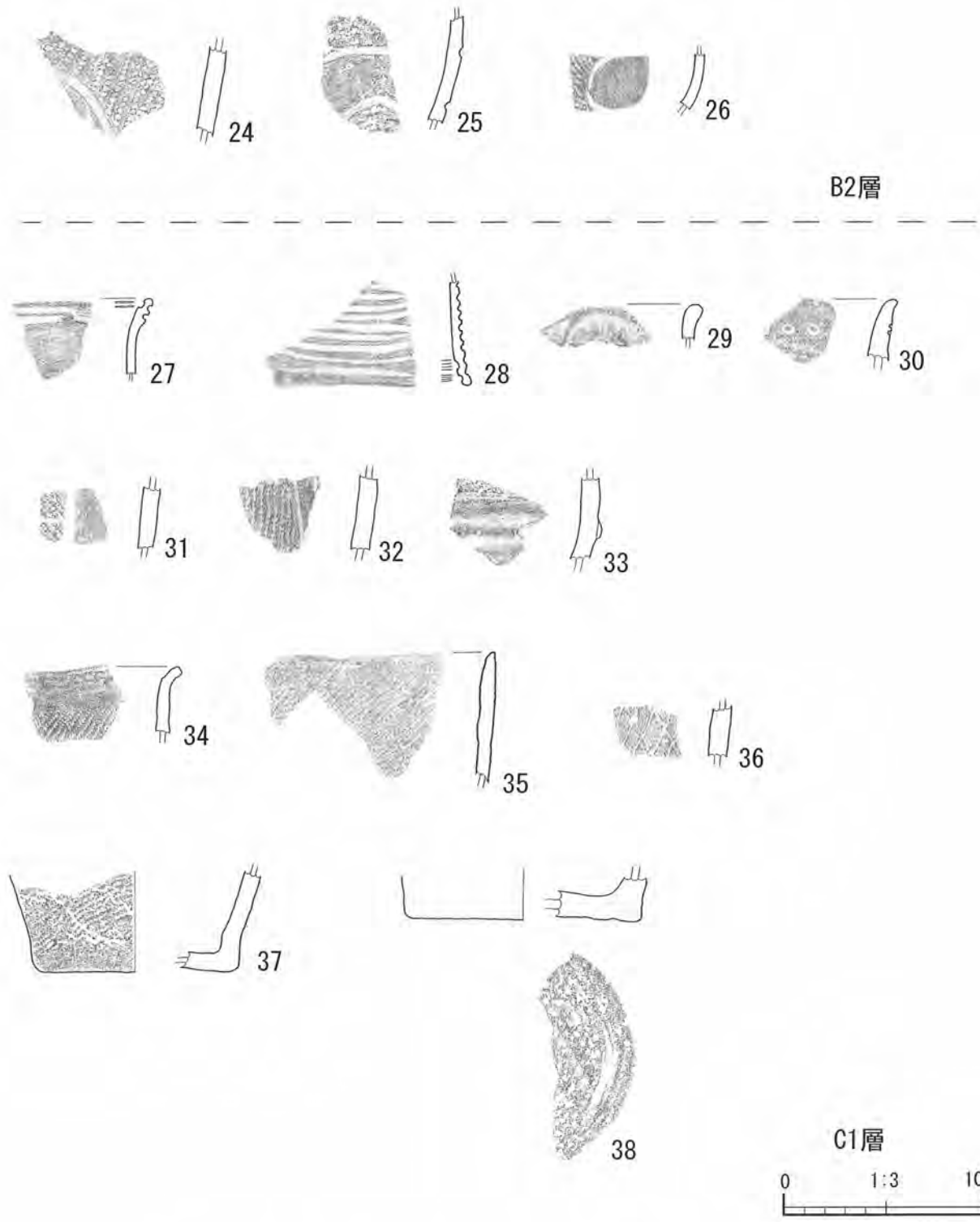
29、30は磨消縄文、刺突列を伴う口縁部である。31、32は磨消縄文で施文された体部片である。以上大木 10 式土器である。

33は隆沈線で施文された体部片である。大木 8 b 式土器である。

34、35は斜縄文で施文された口縁部である。36は網目状撚糸文で施文される。37、38は底部である。38は底面に網代痕を残す。34～38の時期は不明である。



第55圖 東包含層出土遺物 B1、B2層 土器



第56圖 東包含層出土遺物 B2、C1層 土器

石器（第57～61図）

A1層（第57～61図）

1～8は石鏃である。

1～3は二等辺三角形型を呈する。1は凸基で、側縁は平側である。2は平基で、側縁は円側である。3は凸基で、側縁はわずかにふくらむ。4、5は平基で、側縁が不規則にふくらむ。6、7は基部が傾き、側縁は円む。粗製である。8は正三角形型である。平基で、側縁は円側である。9は石匙である、縦型で、腹面全面に、背面は周縁部に調整を施される。10は先端部を欠損した石錐である。

11～23は不定形石器である。11、12は方形で、側縁に直刃を作る。13は下縁に円刃を作り、端部末端を尖らせる。14は隅丸の方形で、下縁に刃部を作り、刃部の端を尖らせる。

15は逆三角形で、斜辺に円刃を作る。16は方形で、下縁の端に刃部を作り尖らせる。17は逆三角形で、斜辺に直刃を作る。18は方形で、側縁に円刃を作る。19は楕円形で、弧状の端部に凸刃を作り出す。20は不整形で、側縁に凸刃を作る。21は長方形で、下縁、側縁に刃部を作る。22は台形で、刃部を作る調整痕は見られない。

24～32は礫石器である。

24、25は磨り石である。24は上下両端部に使用痕をもつ。25は片面に剥離調整を施す。26は打製石斧の刃部である。未調整部を残す。

27～31は敲打磨石である。いずれも機能面の両側に調整磨面をもつ。

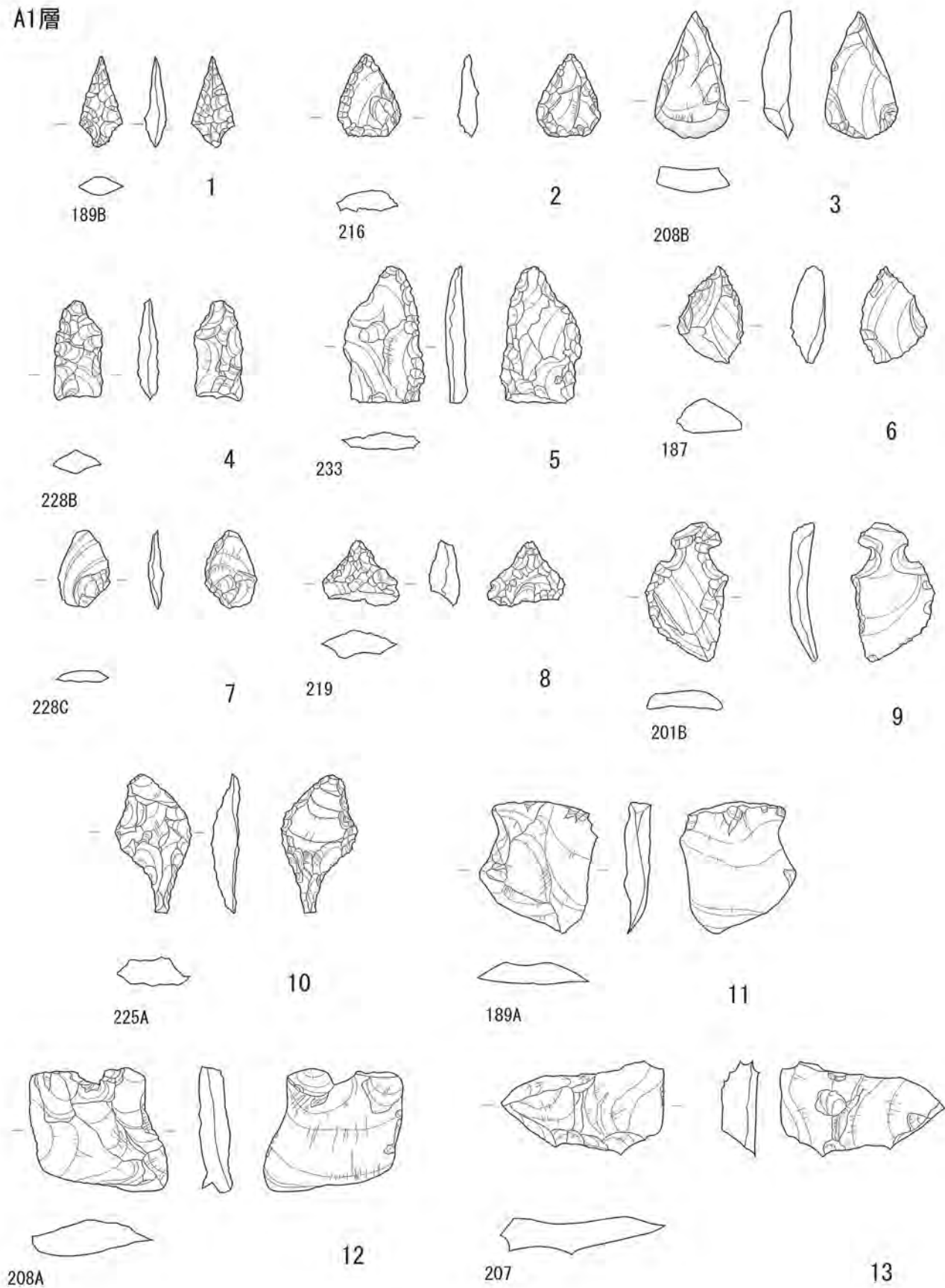
B1層（第61図）

33、34はフレイクである。33は方形で、下縁に直刃を作る。34はフレイクである。

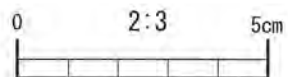
C1層（第61図）

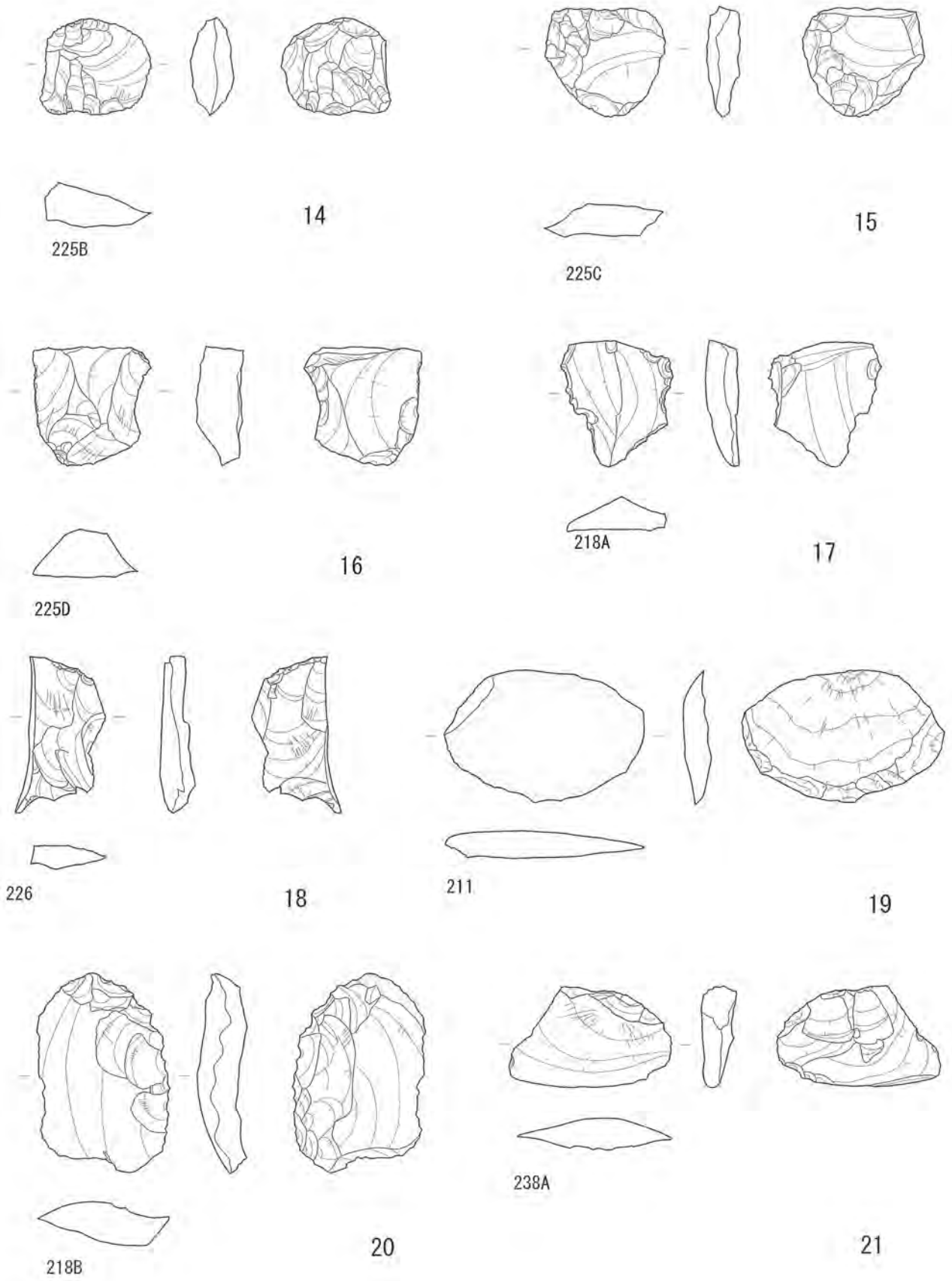
35～37はフレイク、剥片である。35は剥片である。37は半円形に成形したフレイクである。刃部を作る。

A1層



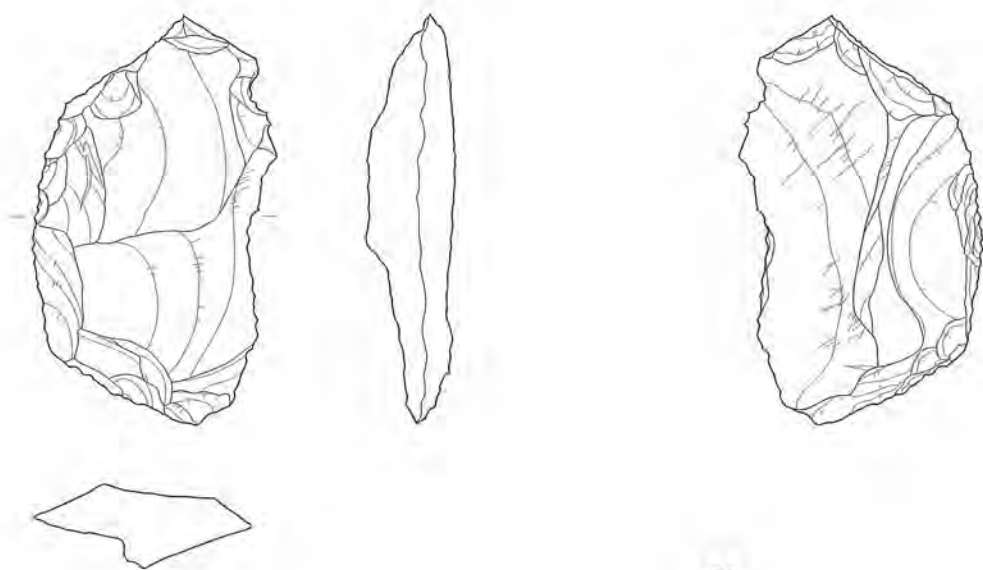
第57圖 東包含層出土遺物A1層 石器 (1)



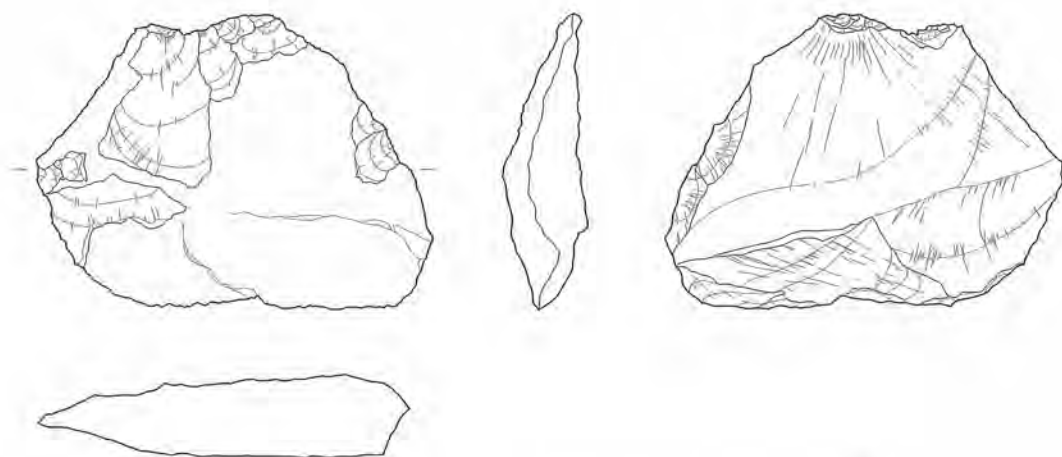


第58図 東包含層出土遺物A1層 石器(2)



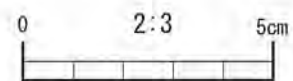


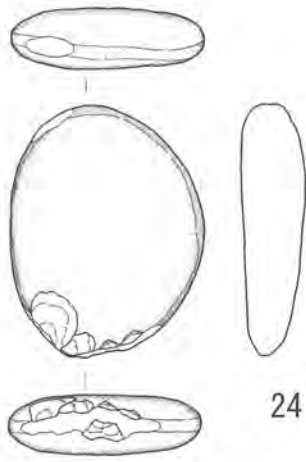
22



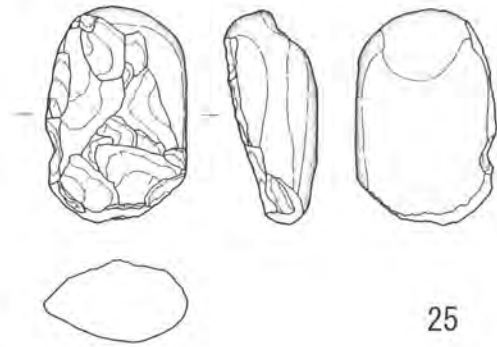
23

第59図 東包含層出土遺物A1層 石器(3)

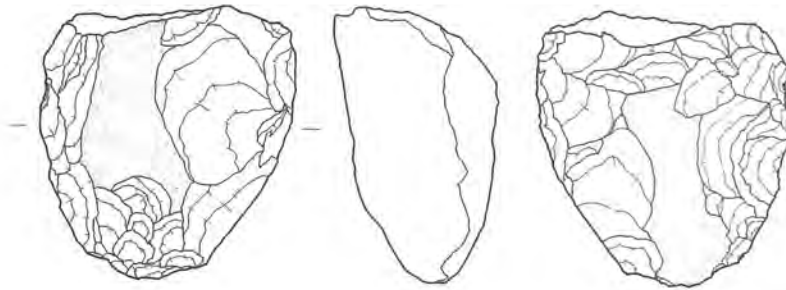




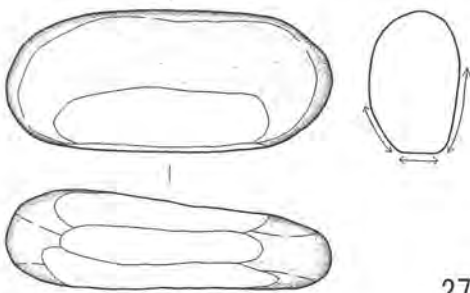
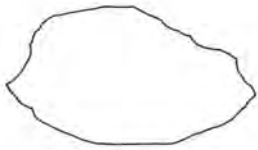
24



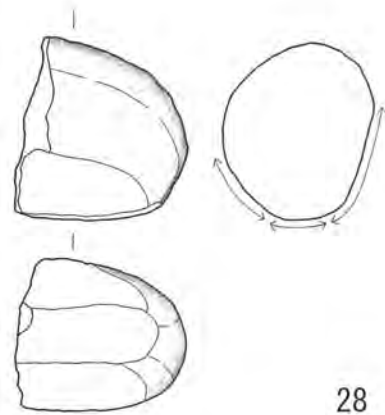
25



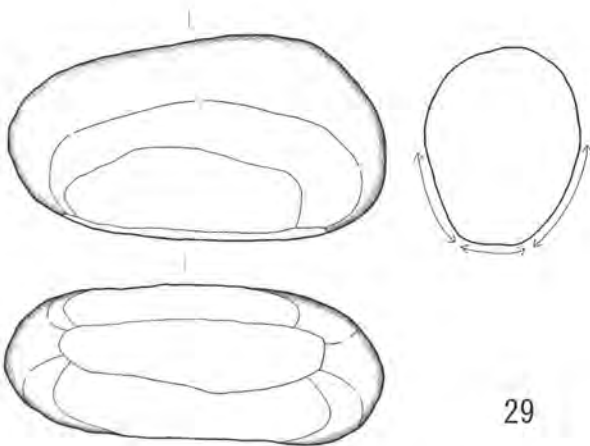
26



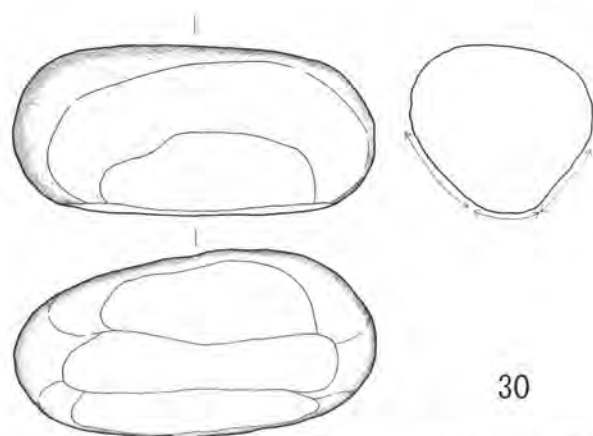
27



28

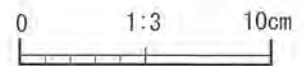


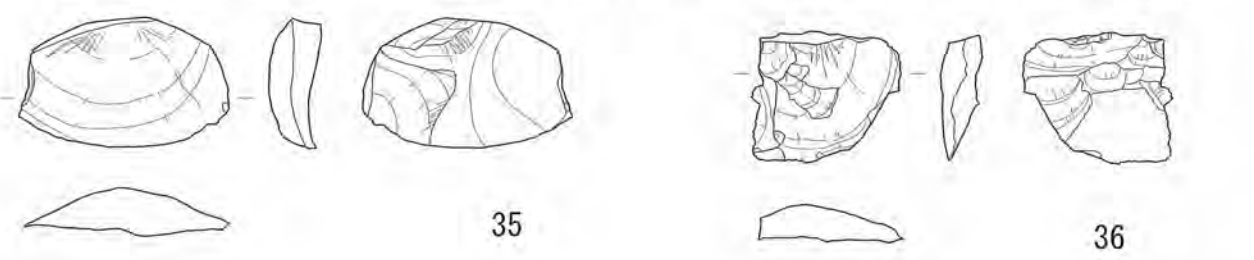
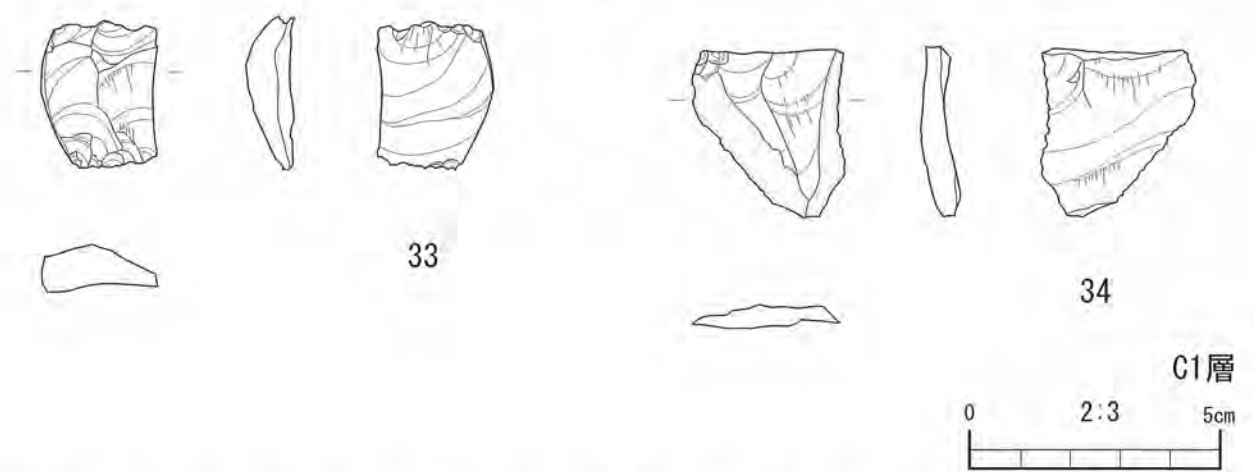
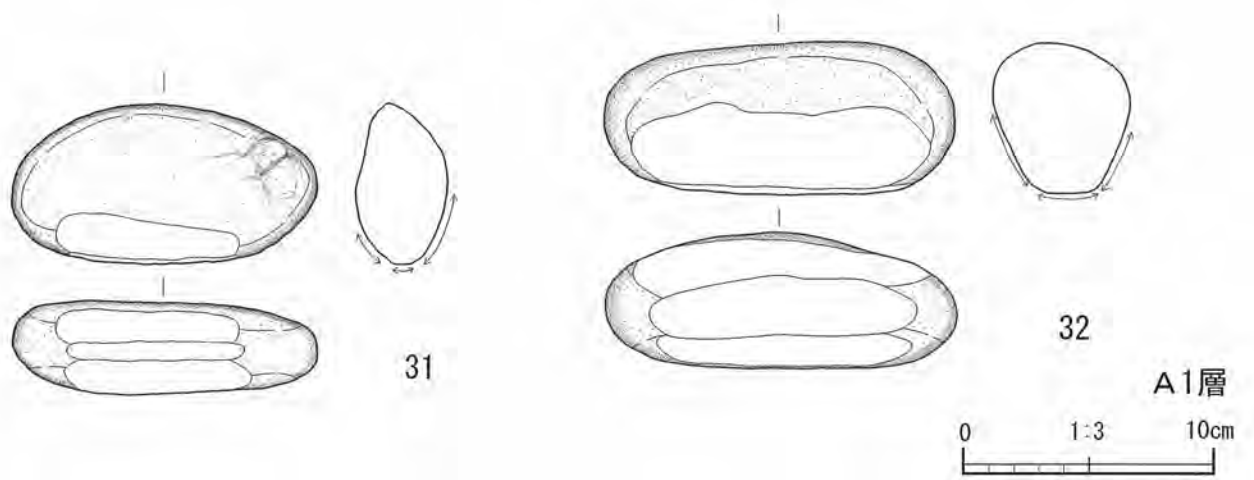
29



30

第60図 東包含層出土遺物A1層 石器(4)





第61図 東包含層出土遺物A1層～C1層 石器

4. 調査のまとめ

今回の調査の成果と前回の調査結果（1999『千鶴IV遺跡』）と比較検討して調査のまとめとした。それに先立って今回の調査区と前回の調査区の位置関係を確認しておきたい。今回の調査区は、前回の調査区A区の北側に当たる（第4図）。

小土坑群について

緩斜面に掘られた土坑群で、3棟の建物跡を想定してみた。いずれも削平面、溝などを伴わない小規模な建物である。前回の調査区A2区で柱穴状の土坑跡が1基検出していること、また周辺に中世の墓碑と伝えられる石碑と関連する可能性は大きい。重茂半島での中世、近世の調査例は加村遺跡で墓壇跡の一例のみである。今後の成果を待ちたい。

古代の竪穴住居跡

調査区の中央で1棟のみ検出した小規模な住居跡である。時期は、土師器甕の形状から、「岩手の土器」で平安時代（Ⅲ-1群）に分類された9世紀前半に伴うものと考えられる。

これまで住居跡の床面に設けた鍛冶炉の報告例は多い。そのなかでも住居の床面を掘りくぼめた例は黒森町（2017「黒森町I遺跡」）でも報告されている。今回の例も炉跡に伴う削平面であり、作業場として平坦部を設けたものと考えられる。竪穴跡の工房的性格をうかがわせるものと考えられる。

今回が重茂半島での古代の初めての調査例であったが、重茂館遺跡群においても古代の遺構群が報告されている（2016「重茂館遺跡群」）。

縄文時代の土坑跡

今回の調査では、縄文時代の土坑跡を35基検出している。内訳は、縄文時代中期末に伴うものが12基（1号～7号、13、14号、24～26号、30号）、縄文時代後期に伴うものが2基（29、32号）、詳細な時期が不明なものが21基である。

形状についてみると、床面中央に小土坑をもつものが10基、そのなかでさらにその小土坑を中心に床面を4等分に分割したものが3基、3等分に分割したものが1基である。いずれも詳細な時期の不明な土坑跡である。

前回の調査区を含めて見てみると、西側の沢筋を境にして地形が変化しており、西側は山裾の平坦面で、東側は山の斜面が続いている。前回の西側の調査区では、弥生時代、縄文時代中期、前期の住居跡が検出し、東側で遺物包含層を確認している。

調査内容を比較してみると、西の弥生時代の竪穴住居跡と東の弥生土器の包含層、西の縄文時代中期後葉の竪穴住居跡と東の縄文時代中期後葉の土坑跡が対応していると考えられる。縄文時代に、住居の区域とは別に山麓の斜面に貯蔵穴を設ける例はこれまでも報告例があり、今回もその一例かと思われる。平成8年の調査では縄文時代後期の遺構は確認されていない。

東斜面の遺物包含層

今回の調査区は、前述したように前回調査区A区の北側にあたり、遺物包含層はA4区の北側で

ある。A4区では厚い遺物包含層を検出し、多量の弥生土器を主体に、縄文時代中期の土器などが出土している。今回の調査でも弥生土器、縄文時代中期の土器を主体にした包含層が検出され、対応関係が確認されたことになる。

参考文献

1999「千鷲IV遺跡」宮古報文 54

2003「大又沢II遺跡」宮古報文 59

1995「笹沢I遺跡・加村遺跡・仲組遺跡・堺ノ神遺跡」宮古報文 45

2017「重茂館遺跡群」宮古報文 88

1982「岩手の土器」岩手県立博物館

写 真 图 版



検出状況（北から）



完掘状況（北から）

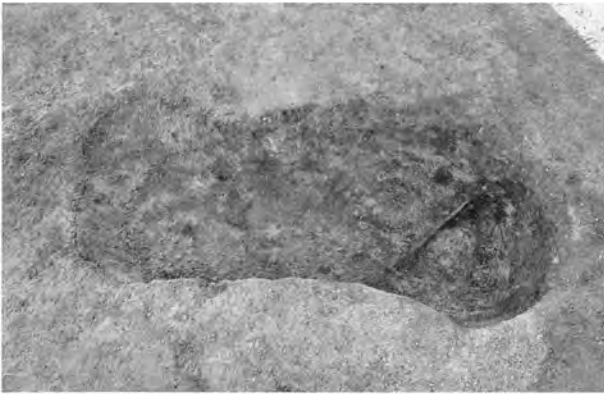
写真図版 2



p92土坑跡



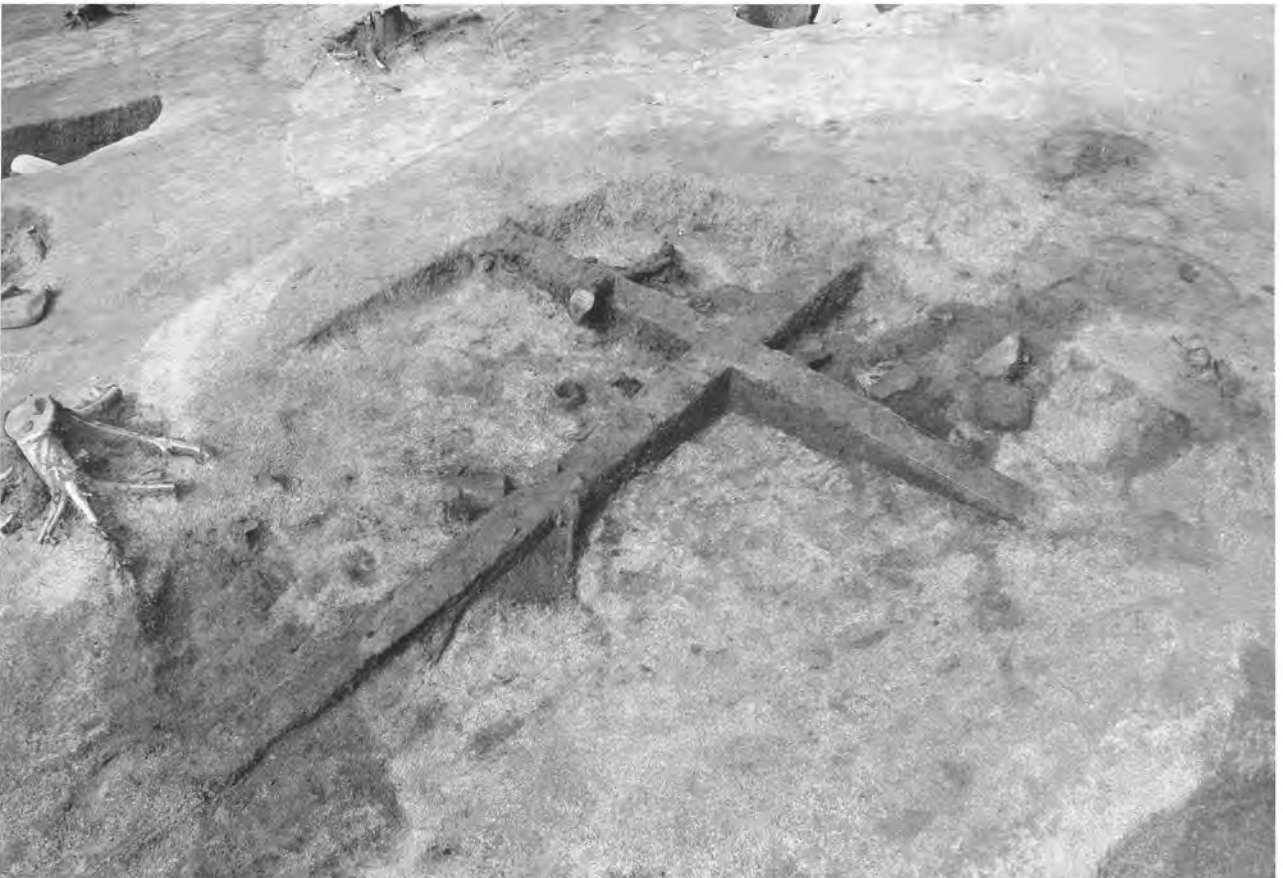
1号、2号焼土検出状況



1号焼土完掘状況



5号焼土検出状況



1号竪穴住居跡堆積状況



1号竖穴住居跡完掘状況



1号竖穴住居跡カマド付近検出状況



1号竖穴住居跡鉄製品出土状況



1号竖穴住居跡 1号炉跡



p110土坑跡

写真图版 4



1号土坑跡



2号土坑跡



4号土坑跡



5号土坑跡



3号土坑跡



6号土坑跡



7号土坑跡



8号土坑跡



9号土坑跡



11号→10号土坑跡



11号→10号土坑跡



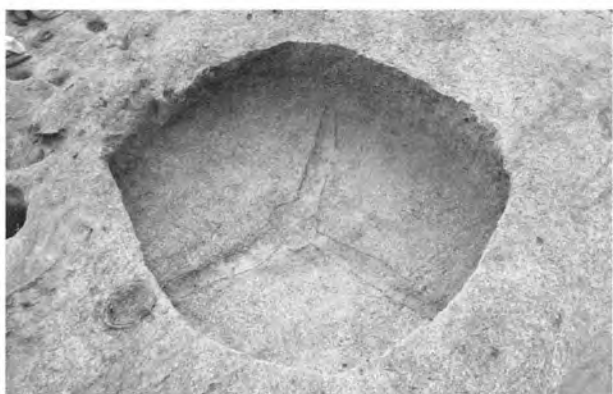
12号土坑跡



13号 (p 5 2) 土坑跡



14号、15号土坑跡



17号土坑跡



19号土坑跡

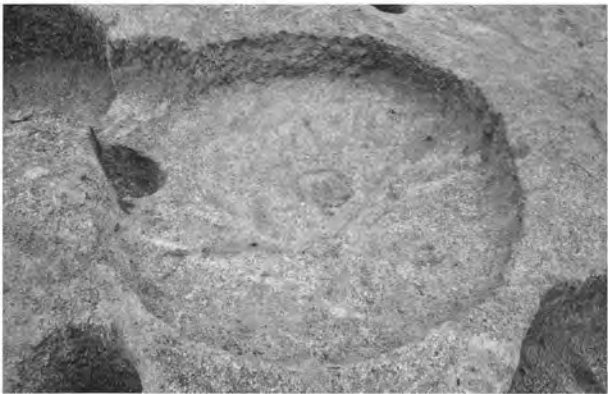
写真图版 6



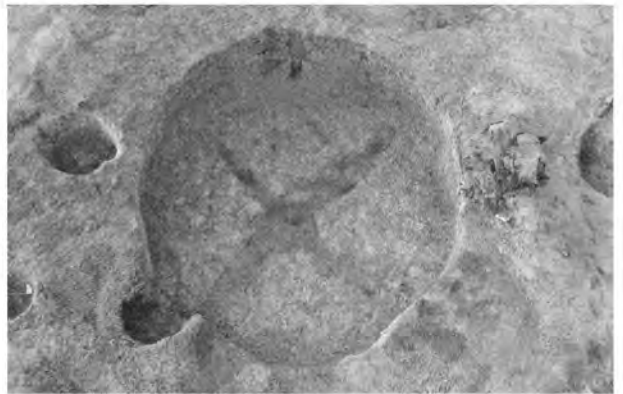
23号土坑跡



20号土坑跡



21号土坑跡



22号土坑跡



24号土坑跡



25号土坑跡



26号土坑跡



27号土坑跡



28号土坑跡



30号土坑跡



29号土坑跡



29号土坑跡



31号土坑跡



32号土坑跡



33号土坑跡



34号土坑跡

写真図版 8



東包含層の範囲



東包含層堆積状況



出土遺物（錢貨、土師器、土製品、鉄製品）、土器

写真図版 10



23-3



23-5



25-24



25-25



25-26



25-27



25-28

出土遺物 土器



28-1



28-2



29-24



29-25



29-26



43-12



46-1



46-2



46-3



46-4



46-5



46-6



46-8



46-12



46-13



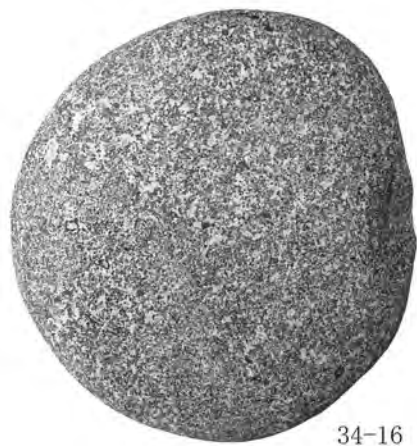
46-9



46-14

出土遺物 土器

写真図版 12



出土遺物 土器 石器

報告書抄録

ふりがな	ちけい4いせき
書名	千鷲IV遺跡
副書名	宮古市震災復興関連遺跡発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	宮古市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	100
編著者名	阿部 豊
編集機関	岩手県宮古市教育委員会
所在地	〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1 TEL 0193-65-7527
発行年月日	平成31年3月20日(2019年)

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° / ′	° / ′		
ちけい4いせき 千鷲IV遺跡	いわてけんみやこしおもえ 岩手県宮古市重茂 だいじふちおり40ばんちた 第12地割40番地他	3202	LG75-0248	39° 31′ 58″ N	142° 01′ 39″ E	試掘調査 230907 ～ 230916	508 m ²
						本調査 231003 ～ 231128	508 m ²

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
千鷲IV遺跡	集落	中～近世 平安時代 弥生時代 縄文時代中期末～後期	小土坑群跡 竪穴住居跡 土坑群跡 遺物包含層	銭貨、土製品 土師器 縄文土器、石器

宮古市埋蔵文化財調査報告書一覧

1	1979	『宮古市大付遺跡発掘調査報告書』	58	2002	『小沢Ⅱ大上遺跡—市内遺跡発掘調査報告書2—』
2	1980	『宮古市千徳遺跡発掘調査概報』	59	2003	『大又沢Ⅵ遺跡—東北電力宮古へりポート移設工事関係発掘調査報告書—』
3	1983	『宮古市遺跡分布調査報告書Ⅰ』	60	2003	『上根井沢Ⅰ遺跡、沼里遺跡—市内遺跡発掘調査報告書3—』
4	1984	『宮古市遺跡分布調査報告書2』	61	2003	『早稲橋Ⅱ遺跡第6次調査—市内遺跡発掘調査報告書4—』
5	1984	『赤前遺跡群第1次・第2次発掘調査報告書』	62	2003	『下在家Ⅰ遺跡—平成14年度発掘調査報告書—』
6	1985	『宮古市遺跡分布調査報告書3』	63	2004	『大程Ⅱ遺跡・平浜遺跡—市道開伊崎線改良工事関係発掘調査報告書—』
7	1985	『金浜館跡発掘調査報告書』	64	2005	『弘川館跡—瑞雲寺裏庭整備関係発掘調査報告書—』
8	1986	『宮古市遺跡分布調査報告書4』	65	2006	『高浜Ⅵ地神遺跡—高浜四丁目宅地造成工事関係発掘調査報告書—』
9	1986	『宮古市遺跡分布図—昭和60年度版—』	66	2006	『崎山貝塚第20次調査・早稲橋Ⅱ遺跡第7次調査—市内遺跡発掘調査報告書5—』
10	1986	『中谷地・島田遺跡調査報告書』	67	2006	『八木沢古館・八木沢中田遺跡・八木沢駒込Ⅰ遺跡—市道岸ノ前ラントノ沢線道路工事関係発掘調査報告書—』
11	1987	『崎山貝塚・トロノ木Ⅳ遺跡調査報告書』	68	2006	『木戸井内Ⅳ遺跡—宮古市生活課市営火葬場整備事業関係発掘調査報告書—』
12	1987	『寒風・早稲橋Ⅳ遺跡調査報告書』	69	2006	『菅ノ沢遺跡発掘調査—市内遺跡発掘調査報告書6—』
13	1987	『崎山遺跡群Ⅰ—昭和60年度発掘調査概報—』	70	2007	『山口館跡—市道北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書—』
14	1988	『青猿Ⅰ・下在家Ⅱ・千徳城遺跡群（堀合館）—昭和62年度発掘調査報告書—』	71	2007	『近内館跡—宮古市都市計画課近内地区土地区画整理事業関係発掘調査報告書—』
15	1988	『崎山遺跡群Ⅱ—昭和62年度発掘調査概報—』	72	2007	『牛沢遺跡・大付遺跡第11次調査—市内遺跡発掘調査報告書7—』
16	1989	『千鶴遺跡—昭和62年度発掘調査報告書—』	73	2007	『弘川館跡第2次調査—宗教法人瑞雲寺住宅建築工事地区発掘調査報告書—』
17	1989	『トロノ木Ⅰ遺跡—第1～7次発掘調査報告書—』	74	2008	『荷竹日向Ⅳ遺跡—市道向川原竹線道路工事関係発掘調査—』
18	1989	『崎山遺跡群Ⅲ—昭和63年度発掘調査概報—』	75	2008	『宮古市遺跡分布調査報告書5』
19	1989	『高根遺跡—昭和63年度発掘調査報告書—』	76	2009	『国指定史跡崎山貝塚 第Ⅳ期内容確認調査概報（骨器器篇）』
20	1989	『狐崎Ⅱ遺跡—昭和63年度発掘調査報告書—』	77	2010	『宮古市遺跡分布調査報告書6』
21	1989	『崎山トロノ木Ⅳ遺跡—昭和63年度調査報告書—』	78	2011	『宮古市遺跡分布調査報告書7』
22	1990	『狐崎遺跡—平成元年度発掘調査報告書—』	79	2012	『重茂館遺跡群—第2次発掘調査報告書—』
23	1990	『崎山遺跡群Ⅳ—平成元年度発掘調査概報—』	80	2014	『八木沢駒込Ⅰ遺跡・八木沢駒込Ⅱ遺跡—市道磯鷲金浜線道路改良工事関係発掘調査報告書—』
24	1990	『磯鷲館山遺跡—昭和63年度発掘調査報告書—』	81	2014	『蜂ヶ沢Ⅰ遺跡・山口駒込Ⅰ遺跡・山口駒込Ⅱ遺跡—市道蜂ヶ沢線道路改良工事関係発掘調査報告書—』
25	1990	『鎌ヶ崎館山貝塚—平成元年度発掘調査報告書—』	82	2014	『赤畑東遺跡—山口病院新棟建設工事関係発掘調査報告書—』
26	1991	『崎山遺跡群Ⅴ—平成2年度発掘調査概報—』	83	2015	『千徳城遺跡群—一条工務店建設工事関係発掘調査報告書—』
27	1991	『青猿Ⅰ・千徳城遺跡群—平成元年・2年度発掘調査報告書—』	84	2015	『黒森町Ⅰ遺跡—宗教法人「先天大道—貫道日本總天壇」研修施設建設工事関係発掘調査報告書—』
28	1990	『熊野町遺跡—昭和63年度発掘調査報告書—』	85	2015	『菅ノ沢遺跡・欄館Ⅰ遺跡—市道長根岩船線道路改良工事関係発掘調査報告書—』
29	1991	『弘川Ⅰ遺跡—平成2年度発掘調査報告書—』	86	2016	『千徳城遺跡群—アパート建築関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』
30	1992	『金浜Ⅰ遺跡(昭和58年度)・大付遺跡(平成2年度)発掘調査報告書』	87	2016	『重茂館遺跡群—重茂小学校校庭グラウンド整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—(第3次調査)』
31	1992	『重茂館遺跡群—第1次調査報告書—』	88	2016	『重茂館遺跡群—重茂漁港地区漁業集落防災機能強化事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—(第4次調査)』
32	1992	『黒森町Ⅰ遺跡—平成2年度発掘調査報告書—』	89	2016	『重茂館遺跡群—重茂漁業協同組合重茂給油所建設関係に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—(第5次調査)』
33	1992	『高根遺跡—平成3年度発掘調査報告書—』	90	2016	『下大谷地Ⅵ、大谷地Ⅰ遺跡—市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』
34	1992	『鯉沢遺跡—平成2年度発掘調査報告書—』	91	2016	『千鶴Ⅲ遺跡—千鶴地区漁業集落防災機能強化事業関係発掘調査報告書—』
35	1992	『大付遺跡—平成3年度発掘調査報告書—』	92	2016	『金浜館跡—市道磯鷲金浜線(金浜工区)道路整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』
36	1992	『細越Ⅰ遺跡、芋野Ⅱ遺跡—農林課関係旧田地区埋蔵文化財発掘調査報告書—』	93	2016	『乙部Ⅱ遺跡—田老地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』
37	1992	『崎山遺跡群Ⅵ—平成3年度発掘調査概報—』	94	2017	『高浜Ⅱ今ヶ洞遺跡—災害公営住宅整備事業(高浜)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』
38	1993	『萩沢Ⅱ遺跡—平成4年度発掘調査報告書—』	95	2017	『刈屋清水野、下刈屋Ⅰ遺跡—市道線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』
39	1993	『早稲橋Ⅱ遺跡—第1次・第2次発掘調査報告書—』	96	2017	『沼里館跡—整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』
40	1993	『崎山遺跡群Ⅶ—平成4年度発掘調査概報—』	97	2017	『日の出町Ⅱ遺跡—災害公営住宅整備事業(日の出町)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』
41	1994	『崎山遺跡群Ⅷ—平成5年度発掘調査概報—』	98	2017	『拜殿峠遺跡—市道北部環状線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』
42	1995	『赤前Ⅰ牛子沢遺跡—平成4年度発掘調査報告書—』	99	2017	『赤前Ⅲ遺跡・赤前Ⅳ八枚田遺跡—市道赤前上下線道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』
43	1995	『磯鷲館山遺跡発掘調査報告書』			
44	1995	『崎山貝塚—範囲確認調査報告書—』			
45	1995	『笹沢Ⅰ・加村・仲組Ⅲ・塚ノ神遺跡—市道浦の沢線改良工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』			
46	1995	『花原市遺跡—平成4年度発掘調査報告書—』			
47	1995	『宮古市内遺跡発掘調査概報Ⅰ 早稲橋Ⅱ遺跡・崎山貝塚』			
48	1996	『大付遺跡—平成5年・6年度発掘調査報告書—』			
49	1997	『花原市遺跡—平成8年度発掘調査報告書—』			
50	1997	『白石遺跡—第6次発掘調査報告書—』			
51	1998	『赤畑・天神山・山口館—北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書—』			
52	1998	『藤畑遺跡—平成9年度発掘調査報告書—』			
53	1999	『赤前Ⅲ・赤前Ⅳ八枚田・赤前Ⅴ柳沢・赤前Ⅵ釜屋ヶ沢・小堀内Ⅲ遺跡—水産課津軽石環境整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』			
54	1999	『千鶴Ⅳ遺跡—水産課千鶴地区漁港漁村総合整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』			
55	1999	『崎山貝塚—第12次・13次内容確認調査概報』			
56	2000	『木戸井内Ⅱ・木戸井内Ⅲ・上村Ⅲ遺跡—特別高圧送電線ラサ工業宮古支線新設工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』			
57	2002	『山口館跡—北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書—』			

宮古市埋蔵文化財調査報告書
千鷲IV遺跡

印刷・発行 平成 31 年 3 月 (2019)
発 行 宮古市教育委員会
〒 027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目 1 番 30 号
編 集 宮古市教育委員会文化課
〒 027-0097 岩手県宮古市崎山第 1 地割 1 6 番地 1
Tel 0193-65-7527
Fax 0193-65-7508
印 刷 株式会社文化印刷
〒 027-0037 岩手県宮古市松山 5 地割 13 番地 6
Tel 0193-62-4578
Fax 0193-64-0333
